B5FK-0331-02

取扱説明書

ARROWS Tab Wi-Fi
QHシリーズ

FUJITSU

サポート 情報のご案内

紙
マニュアル

『箱の中身を確認してください』

添付品の一覧です。 ご購入後、すぐに添付品が揃っているか確認してください。

『取扱説明書』（本書） この1冊でパソコンの取り扱い方法がわかります。

- 使用上のご注意
- 取り扱い方法
- ご購入時の状態に戻す方法
- パソコンを使うための準備
- Q＆A
- 各種お問い合わせ先

お使いの機種により、これ以外にもマニュアルや重要なお知らせなどの紙・冊子類があります。

Web
マニュアル
インターネットに接続してください

Web『補足情報』 『取扱説明書』の補足情報です。細かい設定を変更する方法など説明しています。

「@メニュー」からご覧ください。



FMV
活用情報
インターネットに接続してください

サポートページ http://azby.fmworld.net/support/

お客様のパソコンライフを充実させる情報が満載です。



目次

5. 便利な機能のご紹介

6. バックアップ

7. ご購入時の状態に戻す

8. Q&A

9. サポートのご案内

10. 付録

11. 仕様一覧

このパソコンをお使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをおとりください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間です。

使用許諾契約書 （ライセンス条項）

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、または添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。
なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうち、Windows ストア アプリについては、本契約は適用されず、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項が適用されます。なお、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項に加えて、個別の追加条件が適用される場合があります。上記の他、本ソフトウェアのうち、別途の「使用条件」または「使用許諾契約書」等が添付されている一部ソフトウェアについては、本契約は適用されず、当該「使用条件」または「使用許諾契約書」等が適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
   お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
   お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
   本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
   （1） 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
   本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
   ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
   （2） 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
   お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルおよび予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされた本装置とともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
   お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 壁紙の使用条件
   本製品に「FMV」ロゴ入りの壁紙がインストールされている場合、お客様は、その壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
8. 保証の範囲
   （1） 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
   （2） 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
   （3） 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
9. ハイセイフティ
   本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
   記
   原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日ごろからバックアップをとられることをお勧めします）。

添付品は大切に保管してください

ディスクやマニュアル等の添付品は、本製品をご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

・ 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
・ 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・ 長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
・ 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

・ 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
・ 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1 日約 8 時間、1ヶ月に 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
・ 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液のもれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
・ 摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
・ 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞
LCD、フラッシュメモリディスク、AC アダプタ、電源ユニット

消耗品について

一般的にバッテリパックは、300 ～ 500 回の充放電で寿命となります。（温度条件や使用環境によって異なります。）

24 時間以上の連続使用について

本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

無線 LAN について （無線 LAN （IEEE 802.11a 準拠、 IEEE 802.11b 準拠、 IEEE 802.11g 準拠、 IEEE 802.11n 準拠） 搭載機種の場合）

2.4 DS/OF 4

- 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DSSS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
  （1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  （2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
  （3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
  連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠では見通し半径 15m 以内、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し半径 25m 以内、IEEE 802.11n 準拠では見通し半径 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- 本製品に内蔵の無線 LAN を 5.2/5.3GHz 帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジーについて

2. 4 FH8

- 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FHSS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
  （1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  （2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
  （3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
  連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径 10m 以内（出力 Class2 の最大値）です。
  ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。また、バッテリ残量が不充分な場合は、規定の耐力がないため不都合が生じることがあります。

本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本パソコンにおける特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
http://www.fmworld.net/fmv/jmoss/

クラス 1 レーザ製品　IEC 60825-1:2007

クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

本装置は、VCCI 自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合した文言、またはマークを画面に電子的に表示しています。
表示の操作方法は、「認定および準拠について」（→ P.113）をご覧ください。

本装置は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マークを画面に表示することができます。
表示の操作方法は、「認定および準拠について」（→ P.113）をご覧ください。

マニュアルの表記

このマニュアルの内容は 2013 年 1 月現在のものです。
お問い合わせ先や URL などが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

■本文中での書き分けについて

このマニュアルには、複数の機種の内容が含まれています。機種によっては、記載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は、書き分けています。
お使いの機種に機能が搭載されているかを「各部の名称と働き」、「仕様一覧」、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/）で確認して、機種にあった記載をお読みください。

■安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するためのシンボルマークと警告絵文字を使っています。

□警告レベルを表すシンボルマーク

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

□危険や障害の内容を表す警告絵文字

△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。			
破裂注意	特定の条件において、破裂する可能性について注意を喚起します。	高温注意	特定の条件において、高温による傷害の可能性について注意を喚起します。
レーザー光注意	特定の条件において、レーザー光を直視する危険性について注意を喚起します。	指のケガに注意	特定の条件において、けがする可能性について注意を喚起します。

⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。			
一般禁止	一般的な禁止行為や禁止事項を示します。	火気禁止	特定の条件において、外部の火気によって製品の発火する可能性を示します。
接触禁止	特定の条件において、機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示します。	水場使用禁止	防水処理のない機器を水場で使用して漏電によって傷害が起こる可能性を示します。
分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。	ぬれ手禁止	機器を濡れた手で扱うと、感電する可能性を示します。
水ぬれ禁止	防水処理のない機器を水がかかる場所で使用または、水に濡らすなどして使用すると、漏電して感電や発火する可能性を示します。		

●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。			
アース線を接続せよ	安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示します。	プラグを抜け	故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示します。
一般指示	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。		

■危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。

これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
Point	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
➡	以降の手順が分かれることを表しています。
（冊子の記号）	冊子のマニュアルを表しています。
Web	インターネットで公開している情報を表しています。参照方法は表紙の裏面をご覧ください。
（ディスクの記号）	CD や DVD などのディスクを表しています。
→	参照ページを表しています。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■操作手順について

このマニュアルでは、連続する操作手順を「▶」でつなげて記述しています。

なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

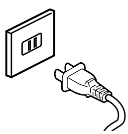
■タッチ操作について

タッチ操作の場合、クリックと記載されている個所はタップと読み替えてください。

■電源プラグとコンセント形状の表記について

このパソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。マニュアルでは「コンセント」と表記しています。



■CD や DVD の使用について

本文中の操作手順において、CD または DVD を使用することがあります。

操作に必要なドライブが搭載されていない場合は、次のポータブル CD/DVD ドライブのご購入をお勧めいたします。

- ●品名／型名
  - ·スーパーマルチドライブユニット／ FMV-NSM53

なお、ポータブル CD/DVD ドライブをお使いになる場合は、添付されている電源ケーブルを接続してください。

他社製品をご購入の場合は、サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「他社周辺機器接続情報」をご覧ください。

また、周辺機器の使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■製品の呼び方

本文中では、製品名称を次のように略して表記することがあります。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th>このマニュアルでの表記</th></tr>
<tr><td>Windows 8</td><td>Windows または Windows 8</td></tr>
<tr><td>Windows 8 Pro</td><td>Windows または Windows 8</td></tr>
<tr><td>Windows Internet Explorer® 10</td><td>Internet Explorer 10 または Internet Explorer</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Office Personal 2010</td><td>Office 2010 または Office Personal 2010</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Office Home and Business 2010</td><td>Office 2010 または Office Home and Business 2010</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Word 2010</td><td>Word 2010</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Excel® 2010</td><td>Excel 2010</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Outlook® 2010</td><td>Outlook 2010</td></tr>
<tr><td>Microsoft® PowerPoint® 2010</td><td>PowerPoint 2010</td></tr>
<tr><td>Microsoft® OneNote® 2010</td><td>OneNote 2010</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Office ナビ 2010</td><td>Office ナビ 2010</td></tr>
<tr><td>Windows Media® Player 12</td><td>Windows Media Player</td></tr>
<tr><td>Windows Live®</td><td>Windows Live</td></tr>
<tr><td>ポータブル CD/DVD ドライブ</td><td>CD/DVD ドライブ</td></tr>
<tr><td>ウイルスバスター クラウド</td><td>ウイルスバスター</td></tr>
<tr><td>ノートン™ インターネット セキュリティ</td><td>ノートン インターネット セキュリティ</td></tr>
<tr><td>マカフィー® マルチアクセス</td><td>マカフィー マルチアクセス</td></tr>
<tr><td>e 解説 Microsoft Office 2010 教室（Excel+Word+PowerPoint）</td><td rowspan="2">e 解説 Microsoft Office 2010 教室</td></tr>
<tr><td>e 解説 Microsoft Office 2010 教室（Excel+Word）</td></tr>
<tr><td>Roxio Creator LJ</td><td>Roxio Creator</td></tr>
</table>

■商標および著作権について

インテル、Intel、インテル Atom は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
Roxio、Roxio のロゴ、Roxio Creator は Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。
Symantec、Symantec ロゴは Symantec Corporation の登録商標であり、各製品名は Symantec Corporation の登録商標または商標です。
TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
McAfee、マカフィー、サイトアドバイザーライブは、米国法人 McAfee,Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
デジタルアーツ /DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター /i- フィルター はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
e 解説は、株式会社イーフロンティアの登録商標です。
デジブックは株式会社トリワークスの登録商標です。
「メモリースティック」は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。

SDXC ロゴは、SD-3C, LLC. の商標です。

ExpressCard™、ExpressCard™ ロゴは、Personal Computer Memory Card International Association（PCMCIA）の商標で、富士通へライセンスされています。
HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、弊社へライセンスされています。
@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

「安全上のご注意」はインターネット上でも公開しています。

http://azby.fmworld.net/support/manual/safety/

ここでは、AC アダプタのケーブルと電源ケーブルを合わせて「電源ケーブル」と表記している箇所があります。

お使いの機種によっては、搭載されていない機能についての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

設置／準備

⚠ 警告

プラグを抜け

コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながるおそれがあります。

一般禁止

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。

一般指示

台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

一般禁止

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。

一般禁止

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因になります。

一般禁止

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因になることがあります。

一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。
ケーブルに足を引っかけ、転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

一般禁止

添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電、火災の原因になります。

一般指示

電池を機器に入れる場合は、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。

一般指示

電源ケーブルは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。
不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。

一般禁止

タコ足配線をしないでください。
感電、火災の原因になります。

アース線を接続せよ

プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。
安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

一般禁止

アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因になります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。

一般禁止

電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。

発熱して、火災の原因になります。

⚠ 注意

一般禁止

本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災の原因になることがあります。

一般禁止

本製品や AC アダプタを直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災、故障の原因になります。

プラグを抜け

本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。

電源ケーブルが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。

・電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

・接続されたケーブルなどを外してください。

・作業は足元に充分注意して行ってください。

一般禁止

電話回線ケーブル（モジュラーケーブル）の取り外しや接続を行うときは、モジュラーコンセントの端子部分に触れないでください。

電話がかかってくると電話回線上に電圧がかかるため、電話回線ケーブルを抜いたときにモジュラーコンセントの端子に触れると感電のおそれがあります。

使用時

⚠ 警告

火気禁止

火中に投入、加熱しないでください。

発煙、発火、破裂の原因になります。

一般禁止

端子をショートさせないでください。

感電、火災の原因になります。

プラグを抜け

発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

プラグを抜け

落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。

バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも取り外してください。

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

一般禁止

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電、火災の原因になります。

一般禁止

本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に載ったり、寄りかかったりしないでください。

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

一般禁止

排気孔付近や AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。

排気孔からの送風に長時間あたらないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

低温やけどの原因になります。

水場使用禁止

風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になります。
防水性能については、「防水性能」（→ P.54）をご覧ください。

水ぬれ禁止

本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。
防水性能については、「防水性能」（→ P.54）をご覧ください。

一般禁止

本製品を持ち上げたり運んだりする場合、液晶ディスプレイや液晶ディスプレイの枠部分を持たないでください。
故障、けがの原因になります。
持ち上げたり運んだりするときは、本製品の底面あるいは本製品中央の両脇を持ってください。

一般禁止

使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないでください。
通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因になります。

一般指示

ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。
誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。

一般禁止

AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。
感電、火災の原因になります。

一般禁止

AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

一般禁止

自転車、バイク、自動車などを運転中に本製品を使用しないでください。
安全走行を損ない、事故の原因になります。安全な所に止めてからお使いください。

一般禁止

バッテリパックや電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。
液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。
・指定された方法以外で使用しない
・分解や改造をしない
・加熱したり、火の中に入れたりしない
・熱器具に近づけない
・火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない
・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
・先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えない
・ショートさせない
・端子部分をぬらしたり、水の中に入れたりしない
・金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに携帯、保管しない
・お子様の手の届く所に保管しない
・乾電池を充電しない
・ハンダ付けしない
特に、バッテリパックは、落下などの衝撃による内部の電池や回路基板の損傷によって発熱・発火し、けがの原因になったり、破裂・液もれによる周囲の汚損の原因になることがあります。
バッテリパックに衝撃を与えた場合、あるいは外観に明らかな変形や破損が見られる場合には、使用をやめてください。

一般禁止

電源ケーブルやACアダプタが傷ついている場合は使用しないでください。
感電、火災の原因になります。

一般禁止

電源ケーブルの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
感電、火災の原因になります。

一般禁止

電源ケーブルは、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

感電、火災の原因になります。

一般禁止

ACアダプタ本体に電源ケーブルをきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。

電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。

一般禁止

電源ケーブルを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源ケーブルが傷つき、感電、火災の原因になります。

一般指示

無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、FeliCa ポート、CLEARSURE の注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。「ワイヤレススイッチ自動オン機能」対応のCLEARSURE 搭載機種の場合は、自動的に無線通信機能がオンにならないようにしてください。無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

・病院内や医療用電子機器のある場所
　特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
・満員電車の中など付近（22cm（FeliCa ポートは 12cm））に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がある場所

レーザー光注意

本製品は、レーザ光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

・光源部を見ないでください。
　光学ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。
　また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザ光線が装置外にもれた場合は、レーザ光線をのぞきこまないでください。
　レーザ光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
・お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。
　レーザ光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。

レーザー光注意

レーザーマウスは底面から、目に見えないレーザ光が出ています。

クラス 1 レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。

⚠ 注意

一般禁止

本製品の上に重いものを置かないでください。
けがの原因となることがあります。

一般指示

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 ～ 15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。

- 画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- 背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
- 手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。

指のケガに注意

液晶ディスプレイを開閉するとき、手などをはさまないよう注意してください。
けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

指のケガに注意

光学ドライブのトレーやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れないでください。
けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

一般禁止

ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因になります。

一般指示

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。
ヘッドホン・イヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。
突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因になります。

高温注意

「ExpressCard™」、「PC カード」、「SD メモリーカード」、「メモリースティック」、「UIM カード」の使用終了直後は、高温になっていることがあります。
これらを取り外すときは、使用後充分に温度が下がるのを待ってから取り出してください。
やけどの原因になります。

一般禁止

マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザ光が出ています。
目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

メンテナンス／増設

⚠ 警告

分解禁止

お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
けが、感電、火災の原因になります。
修理や点検などが必要な場合は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

一般禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。
誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

一般指示

メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。
作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。お子様が手を触れると、けが、故障の原因になります。

メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。

一般指示

カバーをあけた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。

やけど、感電、火災の原因になります。

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

一般禁止

故障や火災の原因になります。

本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。

一般禁止

取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、弊社問い合わせ窓口にご相談ください。

必ず本製品に添付のバッテリパックを使用してください。寿命などでバッテリパックを交換する場合は、必ず指定品を使用してください。

一般指示

指定以外のバッテリパックは、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発熱のおそれがあります。

指定以外の電池は使用しないでください。

一般禁止

新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因になります。

電源ケーブルはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

一般指示

ほこりがたまったままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1 年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

プラグを抜け

バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも外してください。

故障、感電、火災の原因になります。

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

一般指示

誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。

⚠ 注意

周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。

一般禁止

けが、故障の原因になります。

本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。

一般禁止

けが、故障の原因になります。

電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。

高温注意

メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、充分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。

やけどの原因になります。

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。

一般指示

けがの原因になります。

異常時

⚠ 警告

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。

プラグを抜け

バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも取り外してください。

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

一般禁止

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による故障、感電、火災の原因になります。

一般指示

タッチパネルのガラスにヒビ、傷などがあった場合は、すみやかにご使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

そのまま使用するとけがをするおそれがあります。

一般指示

バッテリパックや電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因になります。

液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

⚠ 注意

指のケガに注意

カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

けがや故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

一般指示

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。

中毒を起こすおそれがあります。

液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

保管／廃棄

⚠ 警告

破裂注意

バッテリパックの廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

バッテリパックはリチウムイオン電池を使用しており、一般のゴミといっしょに火中に投じられると破裂のおそれがあります。

⚠ 注意

プラグを抜け

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

バッテリパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。

火災の原因になります。

破裂注意

本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

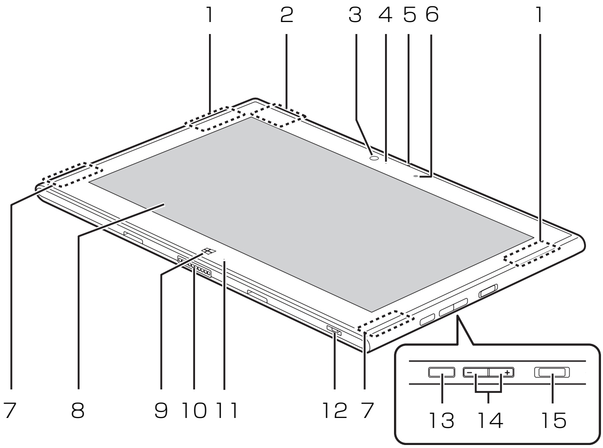
パソコン本体にはリチウム電池を使用しております。

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電池を使用しております。一般のゴミといっしょに火中に投じられると電池が破裂するおそれがあります。

使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

1 各部の名称と働き

パソコン本体表面



（イラストは機種や状況により異なります）

1 **内蔵無線 LAN・内蔵 Bluetooth ワイヤレステクノロジー兼用アンテナ**
無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジー兼用のアンテナが内蔵されています。

Point

- 無線LAN、Bluetooth ワイヤレステクノロジーについて、詳しくは次のマニュアルをご覧ください。
 Web『補足情報』

2 **GPS アンテナ**

3 **イン Web カメラ**
自分を撮影するときなどに使います。
このイン Web カメラは、次の機能で使用します。
・Skype（→ P.61）

4 **イン Web カメラ状態表示 LED**
インWebカメラが動作しているときに点灯します。

5 **内蔵マイク**
テレビ電話用アプリを利用して音声通話するときに使います。

6 **明るさセンサー**
周囲の明るさを検知して、自動で最適な明るさに調節します（→ P.51）。

7 **スピーカー**
パソコンの音声を出力します（→ P.51）。

8 **液晶ディスプレイ（タッチパネル）**
入力した内容や、パソコン内のデータなどを表示します。画面に触れて操作することができます（→ P.48）。

> 液晶ディスプレイに強い圧力が加わると、画面にムラが発生する場合があります。

9 **Windows ボタン**
スリープから復帰（レジューム）したいときや、スタート画面を表示したいときに押します。

10 **クレードル接続コネクタ（→ P.54）**
クレードルにある本体接続コネクタを接続します。

11 **充電ランプ**
クレードルに接続されている場合に、バッテリの充電状態を表示します。

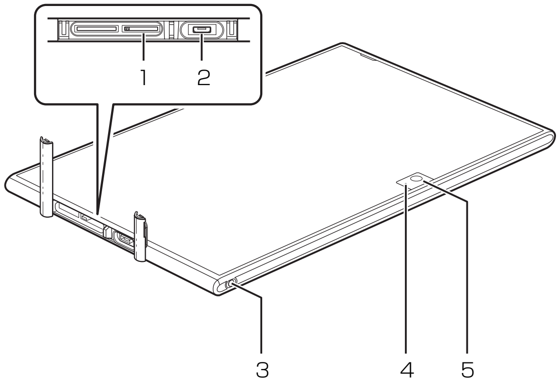
12 **ストラップホール**

13 **ローテーションロックボタン（🔒）**
自動回転のオン／オフを切り替えます。

14 **音量調節ボタン（＋／－）**
音量を調節します。

15 **電源ボタン**
Windows をスタート／終了します。なお、設定によって動作を変更することができます（→ P.44）。

パソコン本体裏面



（イラストは機種や状況により異なります）

1 **ダイレクト・メモリースロット**
microSD メモリーカードを差し込みます（→ P.52）。

2 **microUSB コネクタ**
USB 変換ケーブル を接続します。
接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

3 **ヘッドホン・ラインアウト兼用端子（防水）（🎧）**
外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホンを接続します。

4 **アウト Web カメラ状態表示 LED**
アウト Web カメラが動作しているときに点灯します。

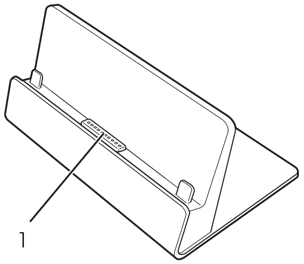
5 **アウト Web カメラ**
静止画や動画を撮影するときに使用します。
このアウトWeb カメラは、次の機能で使用します。
・Skype（→ P.61）

クレードル

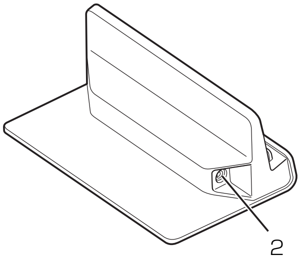
どちらか一方のクレードルが添付されています。

■充電専用クレードル

●前面



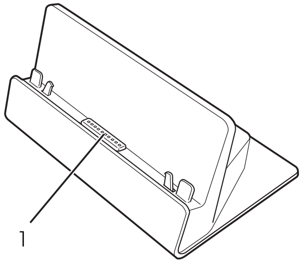
●背面



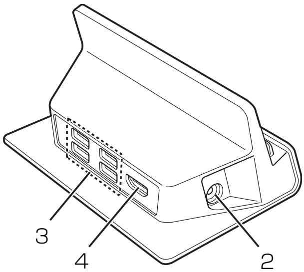
（イラストは機種や状況により異なります）

■USB/HDMI 付きクレードル

●前面



●背面



（イラストは機種や状況により異なります）

1 **本体接続コネクタ**
パソコン本体にあるクレードル接続コネクタを接続します。

2 **DC-IN コネクタ（⎓）**
添付の AC アダプタを接続します。

3 **USB2.0 コネクタ（•⊷）**
USB 規格の周辺機器を接続します。
接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

4 **HDMI 出力端子**
デジタルテレビや、デジタル接続の外部ディスプレイを接続します。

Point

- 同時表示やマルチモニター表示、HDMI 出力端子接続時の出力方式などについては、次のマニュアルをご覧ください。
  Web『補足情報』
- パソコン本体をクレードルに接続した場合は、オプションのHDMI変換ケーブルからの出力は使用できません。クレードルの HDMI からの出力のみ使用できます。

2 初めて電源を入れる

パソコンの使用環境についての注意

パソコンは精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。
内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

- パソコンをお使いになる環境の温度と湿度は、次の範囲内としてください。
  - ・動作時：温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH
  - ・非動作時：温度 10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH
- 動作時、非動作時にかかわらず、パソコン本体が結露しないようにご注意ください。
  結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所から、温度の高い場所へ移動したときに起こります。
- 直射日光のあたる場所ではお使いにならないでください。
  感電、火災、破損や故障の原因となります。
- 棚、ドア付 AV ラック、ふとんやクッションの上など熱がこもりやすい場所ではお使いにならないでください。
  放熱が妨げられ、故障の原因となります。
  パソコン本体および AC アダプタは平らで堅い机の上などに置いてください。
- パソコンを長時間同じ場所に設置すると、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがありますので、ご注意ください。
- 静電気の発生しやすい場所ではお使いにならないでください。
  パソコンは、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。使用する前には、アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。
- テレビやラジオなど、電磁波の影響を受けやすいものの近くではお使いにならないでください。
  故障や機能低下の原因となります。
- モーターやスピーカーなど、磁気を発生するものの近くではお使いにならないでください。
  故障や機能低下の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。
  感電・火災の原因となります。
- 腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所ではお使いにならないでください。
  パソコン本体が腐食する可能性があります。
- 次の無線通信機能が搭載されている機種でこれらの機能をお使いになるときは、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。
  - ・無線 LAN
  - ・Bluetooth ワイヤレステクノロジー
- GPS は人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、GPS アンテナの付近を手で覆わないようにしてお使いください（→ P.18）。
  - ・建物の中や直下
  - ・地下やトンネル、地中、水中
  - ・かばんや箱の中
  - ・ビル街や住宅密集地
  - ・密集した樹木の中や下
  - ・高圧線の近く
  - ・自動車、電車などの室内
  - ・大雨、雪などの悪天候
  - ・パソコン本体の周囲に障害物（人や物）がある場合

使用上のお願い

パソコン本体の取り扱い上の注意

- ●衝撃や振動を与えないでください。
- ●操作に必要のない部分を押したり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- ●磁気ブレスレットや磁気ネックレスなど、磁気を発生するものを身につけたまま、操作しないでください。画面が表示されなくなるなどの故障の原因となるおそれがあります。
- ●マニュアルに記述されている箇所以外は絶対に開けないでください。
- ●水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。故障の原因になる可能性があります。
- ●パソコン本体を立てたり傾けて置いたりしないでください。パソコン本体が倒れて、故障の原因となることがあります。
- ●パソコン本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

パソコンの温度上昇に関して

- ●長時間使用すると、パソコン表面の温度が上昇して、温かく感じることがありますが、故障ではありません。
  これは、パソコン内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するためです。
- ●ひざの上など直接肌に触れた状態では、長時間使用しないでください。パソコンが熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。

パソコンを持ち運ぶ場合の注意

- ●パソコン本体にメモリーカードをセットしている場合は必ず取り外してください。
- ●パソコン本体を持ち上げたり移動させたりするときは、両手で掴んでください。
- ●パソコン本体や AC アダプタを運ぶ場合は、ぶつけたり落としたりしないでください。かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。
- ●パソコン本体をかばんなどに入れて持ち運ぶ場合には、次のような点に注意してください。
  パソコン本体を立てた状態で、かばんなどに入れてください。また、AC アダプタをいっしょに入れて持ち運ぶと、AC アダプタでパソコン本体を傷つけたり、破損したりするおそれがあります。
- ●パソコン本体を自動車内に設置した状態での使用は、保証しておりません。

液晶ディスプレイの取り扱い上の注意

- ●液晶ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。また、ひっかいたり先のとがったもので押したりしないでください。
- ●液晶ディスプレイに強い圧力が加わると、画面にムラが発生する場合があります。
- ●液晶ディスプレイにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。

雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。
また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。
安全のため、避雷器の設置をお勧めします。
ただし、どのような避雷器をお使いになってもパソコン本体を保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。

■落雷について

落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類あります。直撃雷と誘導雷のどちらでも避雷器で保護できない可能性があります。

●直撃雷
避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できます。ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもパソコン本体を保護できないことがあります。

●誘導雷
パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、テレビのアンテナ線、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどから誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

■落雷時の故障について

落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。

故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

また、場合によっては、落雷によってパソコン本体だけでなく周辺機器などが故障することもあります。

疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面を見続けることです。パソコンをお使いになるときは姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。

●直射日光があたらない場所や、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしない場所に設置し、画面の向きや角度を調節しましょう。

●画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調節しましょう。

●目と画面との距離をとり、疲れない位置を保って利用しましょう。

●1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。
- 続けて作業をする場合には、1 時間に 10 〜 15 分程度の休憩時間をとりましょう。
- 休憩時間までの間に 1 〜 2 分程度の小休止を 1 〜 2 回取り入れましょう。

セットアップをするうえでの注意

初めて電源を入れるときには、Windowsのセットアップが必要です。次のような点に注意してください。

■操作の途中で絶対に電源を切らないでください

途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。「Windows のセットアップをする」（→ P.28）が終わるまでは、絶対に電源を切らないでください。

■時間に余裕をもって作業してください

セットアップには余裕をもって時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

■電源を入れる前に、必ず AC アダプタをクレードルに接続してください

Windows のセットアップを行うときは、必ず AC アダプタをクレードルに接続して、クレードルをパソコン本体に接続してください。途中でバッテリ残量がなくなると電源が切れてしまい、Windows が使えなくなる場合があります。

■インターネットに接続する準備をしてください

Windows 8では、インターネットに接続し、Microsoft アカウント（→ P.27）を取得する必要があります。

- プロバイダーと契約し、インターネットに接続できる環境が整っていて、無線 LAN でインターネットに接続する場合は、何もする必要はありません。ご購入時の状態では、無線 LAN の電波を発信するよう設定されています。セットアップ中にインターネットに接続し、Microsoft アカウントを取得します。
- インターネットに接続できる環境が整っていない場合は、何もする必要はありません。セットアップ終了後に、インターネットに接続し、Microsoft アカウントを取得してください。

■セットアップ前に周辺機器を接続しないでください

別売の周辺機器（マウス、プリンター、USB メモリ、メモリーカードなど）は、「Windows のセットアップをする」（→ P.28）が終わるまで接続しないでください。周辺機器の設定方法については、周辺機器のメーカーへお問い合わせください。

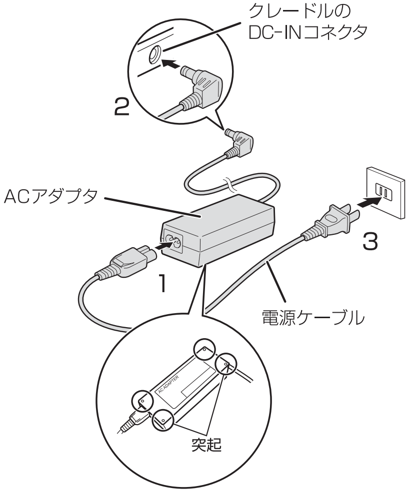
初めて電源を入れる

1 AC アダプタに電源ケーブルを接続します。

2 クレードルの DC-IN コネクタ（→ P.20）に接続します。

3 電源プラグをコンセントに接続します。

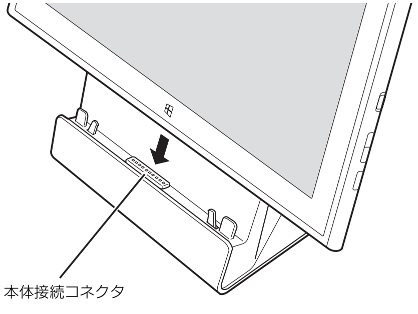
AC アダプタに突起がある場合は、その面を下にして設置します。



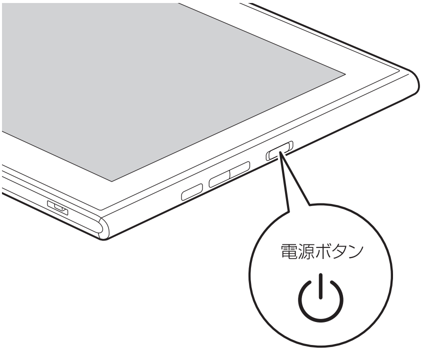
（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

4 パソコン本体をクレードルに接続します。

本体接続コネクタの位置を合わせてパソコン本体をクレードルに沿って下ろし、しっかりと取り付けます。



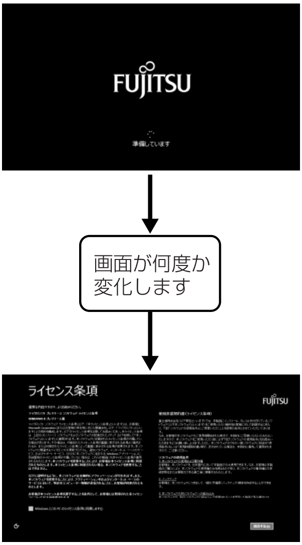
5 電源ボタンを押します。



6 そのまましばらくお待ちください。

画面が何度か変化します。

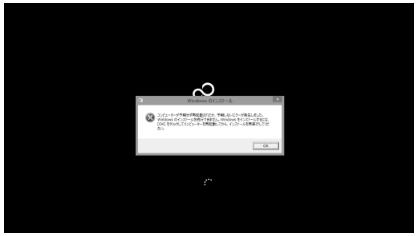
ライセンス条項画面が表示されるまでお待ちください。



（画面は機種や状況により異なります）

重要

- ライセンス条項画面が表示されるまでは、絶対に電源を切らないでください。
- しばらく操作をしないと省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがありますが、電源が切れたわけではありません。タッチパネルを操作すると元の画面に戻ります。
  画面が戻らなかった場合は、電源ボタンを押してください。
  ※電源ボタンは 4 秒以上押さないでください。電源が切れ、パソコンが使えなくなる場合があります。
- まれに、ライセンス条項画面が表示されず、次のような画面が表示される場合があります。

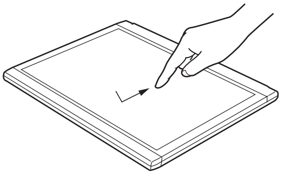


この場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、「ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」（→ P.72）をご覧になり、リカバリを行ってください。

■操作方法の確認

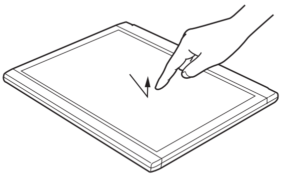
セットアップでは、タッチパネルを使います。ここでは、セットアップに必要なタッチパネルの使い方を説明します。

1 指の動きに合わせて、マウスポインター（ ）が画面の上を動きます。



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 目的の位置にマウスポインター（ ）を合わせ、1 回軽くたたきます。この操作のことを、「タップ」といいます。



Point

- タッチパネルの基本的な使い方は、「タッチ機能」（→ P.48）をご覧ください。

この後は「セットアップする」（→ P.27）をご覧になり、セットアップを行ってください。

3 セットアップする

セットアップの流れを確認する

Windows 8 を充分に活用するためには、パソコンをインターネットに接続し、Microsoft アカウントを取得して Windows 8 にサインインする必要があります。

■インターネット接続について

- ●プロバイダーと契約し、インターネットに接続できる環境が整っている方
  セットアップ中にインターネットに接続し、Microsoft アカウントを取得します。
- ●インターネットに接続する環境がまだ整っていない方
  セットアップ中はローカルアカウントを取得します。その後、インターネットの環境を整えてから、Microsoft アカウントを取得し、最初に取得したローカルアカウント（ユーザー名）と切り替えてください。

■Microsoft アカウントについて

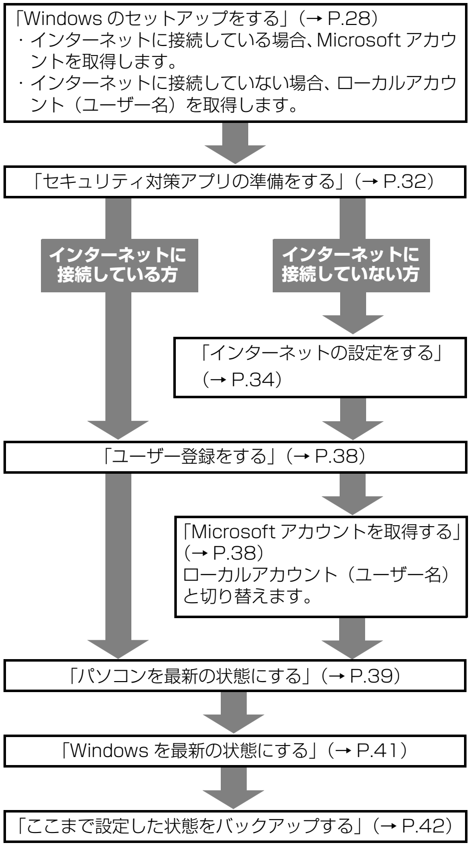
Windows を使用するときのアカウントで、インターネットのサービス（一部のアプリ、Windows ストア、クラウドサービスなど）を利用するときのアカウントにもなります。

- ●Windows 8 では Microsoft アカウントでパソコンにサインインします。
- ●メールアドレスを Microsoft アカウントとして設定します。
  - ・新規に Microsoft アカウントに使用するメールアドレスを作成することもできます。
  - ・すでにお持ちのメールアドレスを Microsoft アカウントとして設定することもできます。
  - ・すでにお持ちの Microsoft アカウントでサインインすることもできます。

重要

- ▶ Microsoft アカウントは、パスワードの設定が必須です。
  設定したパスワードは絶対に忘れないように注意してください。
- ▶ 携帯電話のメールアドレスは Microsoft アカウントに設定することができません。

■セットアップの流れ



Point

- ▶ 万が一に備え、セットアップ終了後、できるだけ早くリカバリディスクセットを作成してください（→ P.43）。
- ▶「Office 2010」搭載機種の場合、「Windows を最新の状態にする」（→ P.41）の後に、プロダクトキーの入力とライセンス認証を行ってください（→ P.42）。
- ▶ このパソコンをお使いになるうえでの注意事項があります。できるだけ早く確認してください。
  「富士通からのお知らせを確認する」（→ P.43）

Windows のセットアップをする

初めてパソコンに電源を入れると、Windows のセットアップが始まります。
「初めて電源を入れる」（→ P.24）から引き続き操作を行ってください。

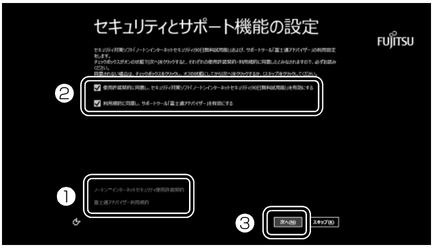
1 次の画面の操作をします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

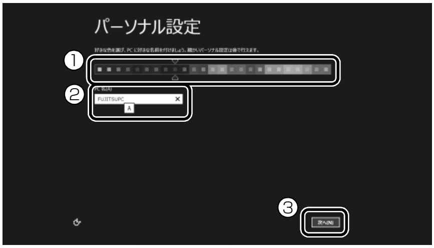
① ライセンス条項の内容を確認したら、タップして☑にします。
ライセンス条項に同意しないと Windows をお使いになれません。
②「同意する」をタップします。

2 次の画面の操作をします。



① タップして、セキュリティ対策アプリの使用許諾契約、および「富士通アドバイザー利用規約」を表示します。内容をご確認ください。
右端の ⌄ をタップするとスクロールできます。
表示された画面以外の場所をタップすると閉じることができます。
② 2箇所とも☑になっていることを確認します。
③「次へ」をタップします。

3 次の画面の操作をします。



① 好きな色をタップします。
②「コンピューター名」を入力します。
STYLISTIC QH シリーズでドッキングステーションを接続していない場合、および ARROWS Tab Wi-Fi QH シリーズの場合はタッチキーボートを使用します。入力する場所をタップすると、画面上にタッチキーボードが表示されれます。
12 文字以内の半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）でお好きな名前を入力してください。数字を使う場合は、英字と組み合わせてください。
③「次へ」をタップします。

重要

- 次の文字や文字列はコンピューター名に使えませんので、入力しないでください。
  - ・@、%、/、－などの記号や空白（スペース）
  - ・CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9 の文字列
  - ・ひらがな、カタカナ、漢字など

4 ワイヤレスの画面が表示された場合は、次のように操作します。



■ ここで無線 LAN の設定をする場合

① 受信したネットワークのリストが表示されるので、接続したいネットワークをタップします。
③「接続」をタップします。
手順 5 に進んでください。

■ここでは無線 LAN の設定をしない場合

②「後でワイヤレスネットワークに接続する」をタップします。
手順 6 に進んでください。

Point

- すでに別売の無線 LAN アクセスポイントの用意ができている場合はここで設定をすることをお勧めします。
- 有線 LAN のみ使用する場合は、設定不要です（STYLISTIC QH シリーズでドッキングステーションを使用する場合）。
- プロバイダーなどの契約が済んでおらず、インターネットに接続する用意ができていない場合は、ここでは設定せず、後で設定してください。
- LIFEBOOK の場合、セットアップ完了後、お使いになる場所によっては電波を停止する必要があります（→ P.11）。無線 LAN の電波の発信を止めるには、「PC 設定」画面で「ワイヤレス」をタップし、「機内モード」の（オフ）をタップして（オン）にします。
「PC 設定」画面の表示方法は「無線 LAN の電波を発信する（LIFEBOOK の場合のみ）」（→ P.35）をご覧ください。
- ネットワークを非表示に設定している場合は「非表示のワイヤレスネットワークに接続する」をタップし、画面の表示に従って操作してください。

5 次の画面の操作をします。



① 無線 LAN のパスワードを入力します。
②「接続」をタップします。

6 次の画面の操作をします。
ここでは「簡単設定を使う」を選択することをお勧めします。



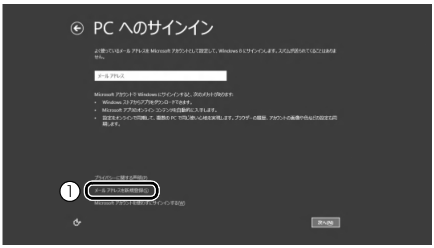
① タップすると、「簡単設定の詳細」が表示されます。内容をご確認ください。
② タップすると、プライバシー情報が表示されます。この後、Microsoft アカウント取得時に入力する情報を、日本マイクロソフト株式会社がどのように取り扱うかなどが説明されています。内容をご確認ください。
③「簡単設定を使う」をタップします。

7「PC へのサインイン」をします。
お客様の状況により、サインインの方法が異なります。

・「インターネットに接続している場合」（→ P.29）
・「インターネットに接続していない場合」（→ P.30）

■インターネットに接続している場合

新規に Microsoft アカウントに使用するメールアドレスを取得します。



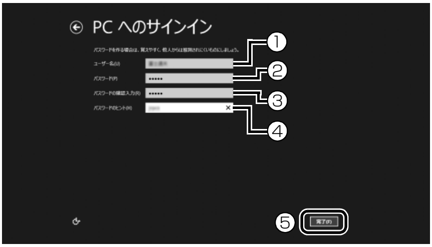
①「メールアドレスを新規登録」をタップします。
手順 8 に進んでください。

Point

- お持ちのメールアドレスを使用する場合は、設定後に届くメールで、本人確認を完了する必要があります。
  メールを受信できる環境のあるメールアドレスを使用してください。
  よくわからない場合は、新規に Microsoft アカウントに使用するメールアドレスを取得することをお勧めします。
- すでに Microsoft アカウントをお持ちの場合は、そちらを使用してサインインできます。

■インターネットに接続していない場合

Windows のセットアップ完了後に Microsoft アカウントを取得します。



①「ユーザー名」を入力します。
- ・手順 3 で入力したコンピューター名と同じ名前は入力できません。
- ・12 文字以内の半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）でお 好きな名前を入力してください。数字を使う場合は、英字と組み合わせてください。

②「パスワード」を入力します。
12 文字以内 の半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）でお好きなパスワードを入力してください。数字を使う場合は、英字と組み合わせてください。

③ ②で入力したものと同じものを入力します。

④ 自分だけがパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。かなも漢字も使用できます。

⑤「完了」をタップします。

重要

- 次の文字や文字列はユーザー名およびパスワードに使えませんので、入力しないでください。
  - ・@、%、/、－などの記号や空白（スペース）
  - ・CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9 の文字列
  - ・ひらがな、カタカナ、漢字など

Windows のセットアップが完了しました。
スタート画面が表示されます。

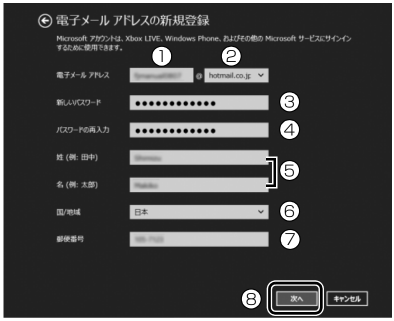
Point

- LIFEBOOK の場合、これ以降マウスをお使いいただけます。

「セキュリティ対策アプリの準備をする」（→P.32）に進んでください。

8 新規にMicrosoftアカウントとしてメールアドレスを取得します。

1. 次の画面の操作をします。



① 使用したい @ の前の文字列を入力します。
半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）およびピリオド (.)、ハイフン (-)、下線 (_) のみ使用できます。

② をタップし、ドメインを選択します。

③「パスワード」を入力します。
安全性を高めるため、8 文字以上で、半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）および記号を 2 種類以上組み合わせて作成してください。

④ ③で入力したものと同じものを入力します。

⑤ 姓名を入力します。
入力した姓名は、サインイン時の表示名になります。
スタート画面に常に表示されることを考えて入力することをお勧めします。

⑥ ⌄ をタップし、「日本」を選択します。

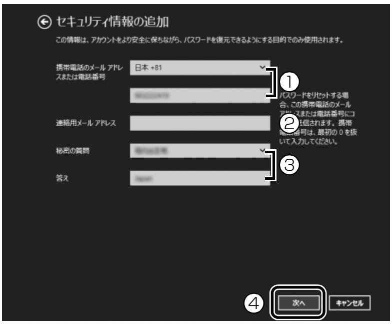
⑦ 郵便番号は、半角数字7文字を入力してください。間の半角ハイフン「-」は入れても入れなくてもかまいません。

⑧「次へ」をタップします。

重要

- Microsoft アカウントは、パスワードの設定が必須です。
設定したパスワードは絶対に忘れないように注意してください。
- ドメインとは、どのネットワークを使っているか識別するインターネット上の住所のようなものです。よくわからない場合は、最初に表示されているものを選択してください。
- 次の文字や文字列はパスワードおよび姓名に使えませんので、入力しないでください。
・@、%、/、-などの記号や空白(スペース)
・CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9 の文字列
パスワードは、ひらがな、カタカナ、漢字なども使えません。

2. 次の画面の操作をします。
①②③のうち2つ以上を入力してください。ここで入力した情報で、パスワードを忘れても復元することができます。



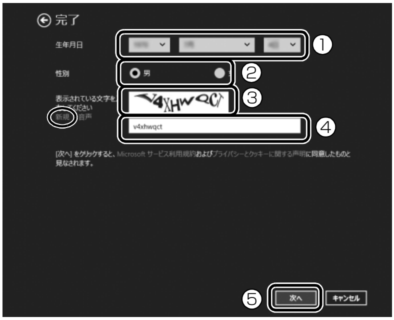
① ⌄ をタップし、「日本 +81」を選択し、2段目に携帯電話のメールアドレス、または最初の0と間のハイフン「-」を抜いた電話番号を入力します。

② Microsoft アカウントに使用していないアドレスを入力します。
携帯電話のメールアドレスは使用できません。

③ ⌄ をタップし、秘密の質問を選択し、2段目に答えを入力します。

④「次へ」をタップします。

3. 次の画面の操作をします。



① ⌄ をタップし、生年月日を選択します。

② 該当する性別をタップして◉にします。

③ 文字を読み取ります。
・読み取れなかった場合は左側の「新規」をタップし、新しい文字を表示させてください。読み取れる文字が表示されるまで何回か新規をタップしてください。
・文字は大文字と小文字が区別されないため、大文字または小文字のどちらでも入力できます。
・複数の画像の文字を入力する場合でも、文字間にスペースは入力しないでください。

④ 読み取った文字を入力します。

⑤「次へ」をタップします。

Point

- 読み取った文字の入力が失敗した場合、「入力した文字が画面の文字と一致しません」というメッセージが表示され、新しい文字が表示されるので、再度読み取って入力してください。

- 入力したメールアドレスが、すでに他の人に使用されていた場合、手順 1「電子メールアドレスの新規取得」の画面に戻ります。
  入力した情報はそのまま残りますが、手順 3 の表示された文字を読み取って入力はやり直しになります。

4. 「Microsoft アカウントでのサインイン」という画面が表示された場合は、「完了」をタップします。
   「PC 設定」の画面が表示されたら、Windows ボタンを押してください。

Windows のセットアップが完了しました。
スタート画面が表示されます。

Point

- LIFEBOOK の場合、これ以降マウスをお使いいただけます。

「セキュリティ対策アプリの準備をする」(→P.32)に進んでください。

セキュリティ対策アプリの準備をする

コンピューターウイルスや不正アクセスなど、さまざまな脅威からパソコンを守るためには、セキュリティ対策アプリをお使いになることをお勧めします。
このパソコンには、90 日間無料でお使いになれるセキュリティ 対策アプリが用意されています。

重要

- セキュリティ対策アプリを最新の状態にアップデートして使うには、インターネット接続環境が必要になります。
  インターネットに接続していない方は「インターネットの設定をする」(→ P.34)をご覧になり、インターネットに接続後、お使いのセキュリティ対策アプリを最新の状態にしてください。
- セキュリティ対策アプリは、初期設定が完了してから 90 日間アップデートしてお使いいただけます。その後もお使いいただくには、更新手続き（有料）が必要です。
- 「富士通ショッピングサイト WEB MART」で、「ノートン TM インターネット セキュリティ 15ヶ月版」または「ノートン TM インターネット セキュリティ 24ヶ月版」をご購入された方は、「ノートン インターネット セキュリティ」の初期設定をしてください。
  更新サービスの期間は15ヶ月間または24ヶ月間になります。同梱されている「アクティブ化ガイド」の内容を確認し、プロダクトキーを入力してアクティブ化してください。

その他のセキュリティ対策アプリを使うときは

あらかじめインストールされているセキュリティ対策アプリの削除が必要です。次の手順で削除してください。

1. 画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップします。
 『Windows 8 基本操作クイックシート』
2. 「コントロールパネル」をタップします。
 コントロールパネルが見つからない場合は、画面上で左方向にスワイプし、隠れている画面を表示してください。
3. 「プログラムのアンインストール」をタップします。
4. 「Norton Internet Security」または「マカフィー マルチアクセス - インターネットセキュリティ」をタップして選択し、「アンインストールと変更」をタップします。

この後は画面の指示に従って操作してください。

セキュリティ対策アプリの初期設定をする

1 スタート画面で「パソコンの準備」をタップします。

「パソコンの準備」が見つからない場合は、画面上で左方向にスワイプし、隠れている画面を表示してください。

隠れている画面に「パソコンの準備」があります。



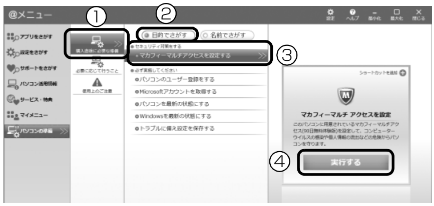
（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

「@メニュー」が起動します。初めて起動した場合は、初期設定が行われるためしばらく時間がかかります。

Point

- ロック画面になった場合は、画面の下端から中央に向かってスワイプしてパスワードの入力画面に戻り、パスワードを入力してスタート画面を表示してください。
- アプリを起動したり、デスクトップ画面を表示したりしている場合は、Windows ボタンを押してスタート画面を表示してください。

2 次の画面の操作をします。



①「購入直後に必要な準備」をタップします。
②「目的でさがす」をタップします。
③「セキュリティ対策をする」に表示されたお使いになりたいセキュリティ対策アプリのメニューをタップします。
④「実行する」をタップします。

この後は画面の指示に従って操作してください。

Point

- 「ノートン インターネット セキュリティ」、「ウイルスバスター」、または「マカフィー マルチアクセス」のいずれかが搭載されています。ご利用いただけるセキュリティ対策アプリは、いずれか 1 つとなります。
- 「マカフィー マルチアクセス」をお使いの場合、「マカフィー更新」をタップし、表示された画面で「更新の確認」をタップしてください。
 ・「マカフィー更新」が表示されてない場合は、「セットアップ」をタップし、画面の指示に従ってセットアップしてください。
- 「マカフィー マルチアクセス」の機能を充分にお使いになるには登録が必要です。インターネットに接続した状態で「契約」をタップし、画面の指示に従って登録してください。
 登録を行うと、このパソコン以外に、最大 2 台までのパソコンやスマートフォンなどの機器で、「マカフィー マルチアクセス」をご利用いただけます。ご利用いただける期間は、このパソコンの試用期間と同じです。
- 「ウイルスバスター」を選択した場合、インストール途中で再起動します。その後は、スタート画面で「デスクトップ」をタップし、デスクトップ画面を表示して操作を進めてください。

セキュリティ対策アプリをお使いになるうえでの注意

■セキュリティ対策アプリの更新について

ウイルスや不正アクセスからパソコンを守るために、インターネットに接続し、お使いのセキュリティ対策アプリやパターンファイルなどを最新の状態にしてお使いください。

■試用期間について

セキュリティ対策アプリの初期設定を完了した日から 90 日間は、無料で最新のウイルスやスパイウェアに対するパターンファイルなどの更新サービスを受けることができます。それ以降も継続して利用される場合は、有料で更新サービスの延長をお申し込みになるか、パッケージ版をご購入ください。
試用期間の満了日が近づくと、画面にメッセージが表示されます。更新サービスの延長を申し込む場合は、画面の指示に従って操作してください。

■お問い合わせ先

「アプリのお問い合わせ先」（→ P.89）の「セキュリティ対策アプリ」をご覧ください。

この後は、お使いの状況によって操作が異なります。

➡ **インターネットに接続している場合**

「ユーザー登録をする」（→ P.38）に進んでください。

➡ **インターネットに接続してない場合**

「インターネットの設定をする」（→ P.34）に進んでください。

インターネットの設定をする

■お使いの状況にあわせて必要な準備をしてください

- プロバイダーと契約している場合
  インターネット接続の設定方法について、ご契約のプロバイダーの指示に従って接続してください。
- 初めてインターネットを使う場合
  インターネットに接続するには、プロバイダーとの契約が必要です。プロバイダーとは、インターネットに接続するためのサービスを提供している企業や団体です。
  プロバイダーと契約すると、インターネットに接続するために必要な情報などが送られてきます。プロバイダーの指示に従って、パソコンの設定をしてください。

重要

- 有線 LAN でインターネットに接続する場合は、LAN コネクタ（品）に、別売の LAN ケーブルを接続してください(STYLISTIC QH シリーズでドッキングステーションを使用する場合)。LAN コネクタの場所は、「各部の名称と働き」（→P.18）をご覧ください。設定方法については、ご契約のプロバイダーにご確認ください。
- 無線LANでインターネットに接続する場合は、「無線LANでインターネットに接続する」（→ P.35）をご覧ください。
- データ通信カードやアダプターをお使いになりインターネットに接続する場合、設定および使用方法については、データ通信カードやアダプターに添付のマニュアルをご覧ください。データ通信カードやアダプターに関しては、ご契約のデータ通信サービス会社にお問い合わせください。

■インターネットに接続できたら

ウイルスや不正アクセスからパソコンを守るために、お使いのセキュリティ対策アプリを最新の状態にしてお使いください。
この後は、「ユーザー登録をする」（→ P.38）に進んでください。

無線 LAN でインターネットに接続する

ここでは、無線LANアクセスポイントと内蔵無線LANを使って、無線LANでインターネットに接続する方法を説明します。

Step1　無線 LAN アクセスポイントを設定する

別売の無線LANアクセスポイントを用意し、インターネットに接続する設定を行ってください。設定方法は、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

重要

- 無線LANアクセスポイントは、セキュリティの設定をしてお使いになることをお勧めします。セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。

Step2　無線 LAN アクセスポイントの設定を記入する

無線LANアクセスポイントに設定した情報を、次の欄に記入してください。パソコンに無線の接続設定をするときに、必要になります。
記入後は第三者に漏れないよう注意してください。
無線LANアクセスポイントの設定情報がわからない場合は、**無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。**

●ネットワーク名（SSID）

無線LANアクセスポイントの名前のようなものです。パソコンから接続する無線LANアクセスポイントを識別するために利用されます。

●セキュリティの種類

無線LANアクセスポイントに設定するセキュリティは、「WPA2-パーソナル（WPA2-PSK）」や「WEP」などいくつかの種類があります。
設定できるセキュリティの種類は、無線LANアクセスポイントにより異なります。

●暗号化の種類

「AES」または「TKIP」です。セキュリティの種類によっては、暗号化の種類を設定しない場合があります。

●セキュリティキー（PSK または WEP キー）

無線LANアクセスポイントにセキュリティをかけるときに設定するパスワードです。

Step3　無線 LAN の電波を発信する

1 画面の右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示して、（設定）をタップします。

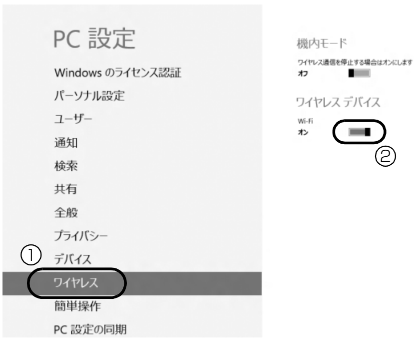
『Windows 8 基本操作クイックシート』

2「設定チャーム」で「PC 設定の変更」をタップします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

3 次の画面の操作をします。



①「ワイヤレス」をタップします
②「ワイヤレスデバイス」の「Wi-Fi」の（オフ）をタップして（オン）にします。

重要

- パソコンを屋外で使う場合、電波法の定めにより5GHz 帯の電波を停止する必要があります。

Step4 パソコンの設定をする

Windows 8の標準機能を使って無線LANの設定を行う方法を説明します。

1 **無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。**

無線LANアクセスポイントの電源の入れ方については、無線LANアクセスポイントに添付されているマニュアルをご覧ください。

2 **画面の右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示して、(設定) をタップします。**

『Windows 8 基本操作クイックシート』

3 **「設定チャーム」で「ワイヤレス」アイコンをタップします。**



4 **次の画面の操作をします。**



① Step2 で記入した無線 LAN アクセスポイントのネットワーク名を選択します。

② 「自動的に接続する」の□をタップして☑にします。

③ 「接続」をタップします。

5 **次の画面の操作をします。**



① Step2 で記入した無線 LAN アクセスポイントのセキュリティキー（PSK または WEP キー）を入力します。

② 「次へ」をタップします。

6 **PC の共有設定について選択します。**



① 公共の場所にあるネットワークへ接続する場合はこちらをタップします。

② ホームネットワークや社内ネットワークへ接続する場合はこちらをタップします。

7 **正しく設定できたか確認します。**

正しく設定できると、「接続済み」と表示されます。



Point

- 「ワイヤレスネットワーク接続」が「接続中です」にならなかった場合は、もう一度、Step2で記入した無線 LAN アクセスポイントの設定情報と、手順 5 で入力したセキュリティキーを確認してください。
- 無線LANアクセスポイントで設定した内容と同じ情報をパソコンに設定しないと、ネットワークに接続できません。無線LANアクセスポイントの設定がわからない場合は、無線LANアクセスポイントのメーカーにお問い合わせください。
- プロバイダーから提供されるインターネット接続に必要な情報が正しく設定されているか確認してください。設定する情報がわからない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

8 すべてのウィンドウを閉じます。

これで無線 LAN を使ったインターネット接続は完了です。

メールの設定をする

このパソコンには、メールアプリとして「Windows メール」や「Outlook 2010」(Office 2010 搭載機種のみ)が用意されています。
メールを始めるには、お使いになるメールアプリの設定を行う必要があります。「Outlook 2010」の設定方法については、サポートページから Q&A ナンバー「3008-7740」を検索してご覧ください。
サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます(→ P.75)。

Windows ストア アプリの「メール」を使うには

Hotmail や Gmail のアカウント、または IMAP に対応したプロバイダーが提供するアカウントでメールの送受信ができます。
次の情報を「メール」に設定してください。設定する情報がわからない場合は、サービスの提供会社や、ご契約のプロバイダー、データ通信サービス会社などにお問い合わせください。

Hotmail や Gmail の場合
・メールアドレス
・パスワード

IMAP に対応したプロバイダーの場合
・受信(IMAP)サーバー
・送信(SMTP)サーバー
・メールアドレス
・メールアカウント名
・パスワード

「Outlook 2010」を使うには

プロバイダーから提供される次の情報を「Outlook 2010」に設定してください。設定する情報がわからない場合は、ご契約のプロバイダーやデータ通信サービス会社にお問い合わせください。

・受信(POP)サーバー
・送信(SMTP)サーバー
・メールアドレス
・メールアカウント名
・メールパスワード

ユーザー登録をする

お客様の情報、およびこのパソコンの機種情報を登録いただくことで、お客様 1 人 1 人に、よりきめ細かなサポート・サービスを提供します。

■ユーザー登録をすると

●お客様専用の「ユーザー登録番号」が発行されます。
●ユーザー登録をすると、1 年間の無料電話相談などの手厚いサポートや専用の充実したサービスをご利用いただけます。

ユーザー登録については、「ユーザー登録のご案内」（→ P.86）をご覧ください。

この後は、お使いの状況によって操作が異なります。

➡ **すでにMicrosoftアカウントを取得している場合**
「パソコンを最新の状態にする」（→ P.39）に進んでください。

➡ **ローカルアカウントを取得し、まだ Microsoft アカウントに切り替えていない場合**
「Microsoft アカウントを取得する」（→ P.38）に進んでください。

Microsoft アカウントを取得する

「Windows のセットアップをする」（→ P.28）を、インターネットに接続せず行った方は、Microsoft アカウントを取得して、ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替えます。

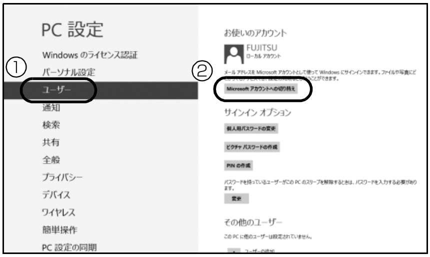
1 画面の右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示して、⚙（設定）をタップします。
『Windows 8 基本操作クイックシート』

2 「設定チャーム」で「PC 設定の変更」をタップします。



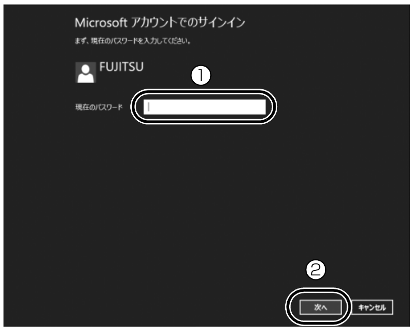
（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

3 次の画面の操作をします。



①「ユーザー」をタップします。
②「Microsoft アカウントへの切り替え」をタップします。

4 次の画面の操作をします。



①「Windows のセットアップをする」（→ P.28）の手順7で入力したローカルアカウントのパスワードを入力します。

②「次へ」をタップします。

5 すでにお持ちのメールアドレスを使うか、新規に登録するかどちらかを選択し、ローカルアカウントと切り替えます。



この後は、「Windows のセットアップをする」（→ P.28）の手順 8 の操作をしてください。

スタート画面が表示されたら、「パソコンを最新の状態にする」（→ P.39）に進んでください。

Point

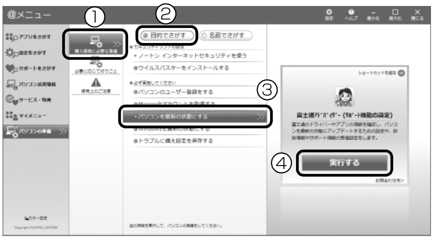
- お持ちのメールアドレスを使用する場合は、設定後に届くメールで、本人確認を完了する必要があります。
  メールを受信できる環境のあるメールアドレスを使用してください。
  よくわからない場合は、新規に Microsoft アカウントに使用するメールアドレスを取得することをお勧めします。
- すでに Microsoft アカウントをお持ちの場合は、そちらを使用してサインインできます。

パソコンを最新の状態にする

富士通のドライバーやアプリの情報を確認し、パソコンを最新の状態にアップデートするための設定や、診断情報やサポート情報の受信設定をします。

1 スタート画面で「パソコンの準備」をタップします。

2 次の画面の操作をします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

①「購入直後に必要な準備」をタップします。

②「目的でさがす」をタップします。

③「パソコンを最新の状態にする」をタップします。

④「実行する」をタップします。

3 富士通アドバイザーの画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、「同意する」をタップします。



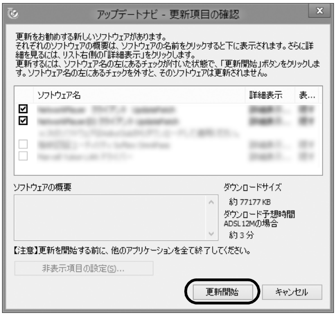
4 ①「更新する」をタップして、「アップデートナビ」を起動します。



富士通のドライバーやアプリの最新情報を確認します。しばらくお待ちください。お使いの機種や状況によっては、20分程度時間がかかる場合があります。

5 更新項目を確認し、「更新開始」をタップします。

通常は、すべての項目を更新することをお勧めします。



Point

- 「お使いの環境がお勧めの状態です」と表示された場合は、更新は必要ありません。「閉じる」をタップして終了させてください。

6「更新開始確認」画面が表示されたら、「アップデートナビ」以外のアプリを終了させ、画面の指示に従って操作を進めます。

パソコンの再起動を要求するメッセージが表示された場合は、「再起動」をタップしてください。

Point

- 次回以降は次の手順で「富士通アドバイザー」を起動できます。
  1. 画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップします。
     『Windows 8基本操作クイックシート』
  2. 「富士通アドバイザー」をタップします。
- 次回以降、「富士通アドバイザー」を起動したときは、手順４の画面の②アップデート情報に表示されるメッセージに従って操作してください。
  - ・「最新の状態にアップデートしてください」と表示された場合は、①「更新する」をタップした後、手順５以降の操作をしてください。
  - ・「お使いのソフトウェアは最新の状態です」と表示された場合は、更新の必要はありません。③「終了」をタップしてください。

Windows を最新の状態にする

「Windows Update」は、マイクロソフト社が提供するサポート機能です。Windows やアプリなどを最新の状態に更新・修正できます。ウイルスや不正アクセスを防ぐための対策もされるので、定期的に実行してください。

重要

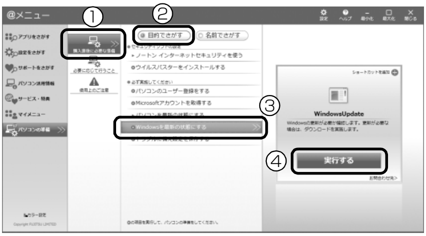
- 「Windows Update」でマイクロソフト社から提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作、および実施後のパソコンの動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

Point

- 手順 3、4 は初回のみ必要です。

1 スタート画面で「パソコンの準備」をタップします。

2 次の画面の操作をします。

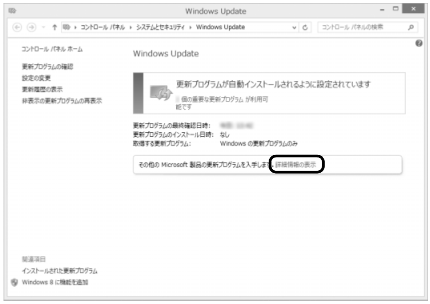


（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

① 「購入直後に必要な準備」をタップします。
② 「目的でさがす」をタップします。
③ 「Windows を最新の状態にする」をタップします。
④ 「実行する」をタップします。

3 「詳細情報の表示」をタップします。

初めて「Windows Update」を行う場合は、「Microsoft Update」の設定を行います。



4 「使用条件」をご覧になったうえで使用条件に同意し、「インストール」をタップします。



① 「使用条件」をタップすると、「使用条件　マイクロソフト」タブが表示されます。
② □をタップして、☑にします。
③ 「インストール」をタップします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。

5 この後は画面の指示に従って操作してください。

「Office 2010」のプロダクトキーの入力とライセンス認証をする

「Office Home and Business 2010」搭載機種

「Office 2010」の初回起動時にプロダクトキーの入力とライセンス認証が必要です。詳しくはパッケージに同梱されている「お使いになる前に」をご覧ください。

Point

- パソコンをご購入時の状態に戻すリカバリ後、「Office 2010」をインストールする場合、プロダクトキーの入力はインストール中に行います。初回起動時にはライセンス認証のみ行います。

- ●プロダクトキーはパッケージ内のディスクケース裏面に貼付されています。絶対に紛失しないように大切に保管してください。
- ●ライセンス期間中にパソコン本体を修理した場合は、再度ライセンス認証が必要になることがあります。
- ●ライセンス認証ができない場合には、「アプリのお問い合わせ先」（→ P.89）をご覧になり日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。
- ●「Office 2010」の初回起動時にプロダクトキーの入力をする場合、途中でキャンセルし、再度プロダクトキーの入力をしようとするとパソコンが予期せず再起動する場合があります。プロダクトキーの入力を始めたら「Office 2010」を使えるようになるまで操作を中断しないでください。

ここまで設定した状態をバックアップする

いざというときに正常な状態のCドライブに戻すことができるように「バックアップナビ」で「パソコンの状態」をバックアップしてください。

「パソコンの状態」（→ P.66）をご覧になり、外付けハードディスクなどに「パソコンの状態」を保存してください。

「リカバリディスクセット」を作る

「リカバリディスクセットを作っておく」（→ P.107）をご覧になり、できるだけ早く「リカバリディスクセット」を作ってください。

このパソコンには、トラブルに備えて、SSD の「リカバリ領域」という場所に、ご購入時の C ドライブの中身が保存されています。パソコンにトラブルが起こったときは、このリカバリ領域から C ドライブをご購入時の状態に復元できます。
万が一リカバリ領域のデータを利用できなくなる場合に備え、「リカバリディスクセット」を作成することをお勧めします。

Point

- リカバリディスクセットの作成には長時間かかります。時間に余裕をもって作業をしてください。
  またリカバリディスクセットは購入できます。購入方法については「ディスクが必要な場合」（→ P.71）をご覧ください。

富士通からのお知らせを確認する

このパソコンをお使いになるうえで知っておいていただきたいことを記載した文書が、パソコンにご用意されています。
できるだけ早くご確認ください。

1 スタート画面で「パソコンの準備」をタップします。

2 次の画面の操作をします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

①「使用上のご注意」をタップします。
②「目的でさがす」をタップします。
③「富士通からのお知らせを確認する」をタップします。
④「実行する」をタップします。

3 「重要なお知らせ」という画面が表示されたら、よくお読みください。

読み終わった後は、Windows ボタンを押してスタート画面を表示してください。

4 取り扱い

Windows をスタートする／終了する

Windows をスタートする

⚠ 注意

- 落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による感電、火災の原因となります。
  雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

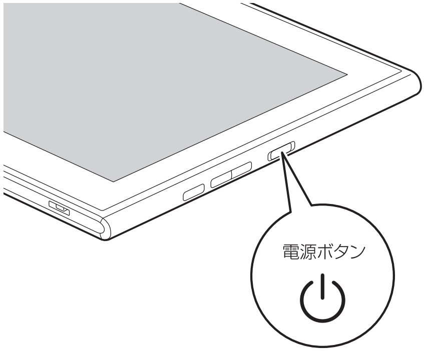
- AC アダプタは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
  誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体が故障する原因となります。

重要

- パソコンを長時間お使いになる場合は、バッテリ切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。
- ACアダプタを取り付けるときは、変形や破損のないことを確認してください。
- 電源を入れてから Windows がスタートするまでは、画面をタップしないでください。正常にスタートできない場合があります。

1 電源ボタンを押します。

電源ボタンを 4 秒以上押すと、パソコンの電源が強制的に切れてしまいます。データが失われる場合もありますので、ご注意ください。



ロック画面が表示されます。

2 画面の下端から中央に向かってスワイプします。

パスワードを入力する画面が表示されます。

3 パスワードを入力し、 をタップします。

スタート画面が表示されます。

Point

- 手順 3 で入力するパスワードは、Windows のセットアップのときに入力したパスワードです。パスワードについて、詳しくは「すべてのアプリ画面」の「ヘルプとサポート」をタップして Windows のヘルプを表示し、「パスワード」で検索して「パスワードを変更する」をご覧ください。
  「すべてのアプリ画面」の表示方法は、『Windows 8 基本操作クイックシート』をご覧ください。

- Windows がスタートしないときは
  - ・AC アダプタを接続している場合
    ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。
  - ・バッテリのみで使う場合
    バッテリ残量が少ないと電源を入れてもWindows が起動しないことがあります。残量が少ない場合は、AC アダプタを接続してください。

  それでも Windows がスタートしない場合は、「起動・終了時」（→ P.78）をご覧ください。
- 「Windows のライセンス認証」の青い画面が表示されたときは「Windows・アプリ関連」（→ P.79）をご覧ください。

Windows を終了する

重要

- Windowsを終了する前に、作業中のデータがある場合は保存してください。また、CD/DVD ドライブにディスクが入っている場合は取り出してください。
- 次のような場合は、「パソコンの電源を切る（シャットダウンする）」（→ P.46）をご覧になり、電源を切ってください。
  - ・トラブル解決ナビを起動する
  - ・BIOS セットアップを起動する
- Windows がスタートして 1 分以上たってから終了するようにしてください。

1 画面の右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示します。
『Windows 8 基本操作クイックシート』

2 「設定」をタップします。

3 「電源」▶「シャットダウン」の順にタップします。

しばらくすると Windows が終了します。

Point

- Windows が終了できないときは、「起動・終了時」（→ P.78）をご覧ください。
- パソコンは Windows を終了した状態でも少量の電力を消費します。バッテリ残量を減らさないためには、AC アダプタを接続してください。
- 長期間パソコンを使用しない場合は、パソコンの電源を切ってから AC アダプタを取り外してください。
  - ・AC アダプタや電源ケーブルは、変形したり、割れたり、傷が付かないように保管してください。保管するときは、AC アダプタにケーブル類を巻きつけたりしないでください。

パソコンの電源を切る（シャットダウンする）

電源を切ることをシャットダウンといいます。

重要

- 次のような場合は、ここで説明している手順でパソコンの電源を切ってください。
  - ・トラブル解決ナビを起動する
  - ・BIOS セットアップを起動する

1. 画面の右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示します。
   『Windows 8 基本操作クイックシート』
2. 「設定」をタップします。
3. 「PC 設定の変更」をタップします。
4. 画面左側のメニューで「全般」をタップします。
5. 画面右側のメニューで「今すぐ再起動する」をタップします。
   表示されない場合は画面をスクロールします。
6. 「PC の電源を切る」をタップします。

スリープにする／復帰させる

スリープとは、Windows を終了せずに、作業中のデータなどをメモリに保存して、パソコンを待機状態にすることです。
スリープにしておくと、次にパソコンを使うときにすぐに使い始めることができます。

パソコンをスリープにするときの注意

次の場合は、いったんパソコンの電源を切り、電源を入れ直してください。

- パソコンを長期間使わないとき
- パソコンの動作が遅くなったり、正常に動作しなくなったりするとき

Point

- スリープ中は、メモリに保存したデータなどを保持するために少しずつ電力を消費しています。
- ご購入時は、スリープしてから一定時間経過するか、バッテリの残量が少なくなると、休止状態に移行するように設定されています。休止状態について、詳しくは次のマニュアルをご覧ください。
  Web『補足情報』
- Web カメラを使用するアプリを起動中は、一定時間パソコンを操作しない場合に自動的にスリープや休止状態になる機能はご使用になれません。

スリープにする

1. 画面の右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示します。
   『Windows 8 基本操作クイックシート』
2. 「設定」をタップします。
3. 「電源」▶「スリープ」の順にタップします。
   ディスプレイの表示が消えスリープになります。

スリープから復帰する

1 電源ボタンを押します。

ロック画面が表示されます。

電源ボタンは 4 秒以上押さないでください。パソコンの電源が切れてしまいます。

2 画面の下端から中央に向かってスワイプします。

パスワードを入力する画面が表示されます。

3 パスワードを入力し、➔ をタップします。

スタート画面が表示されます。

Point

- スリープにした後は、必ず10秒以上たってから復帰（レジューム）するようにしてください。
- 復帰（レジューム）させた後は、必ず 10 秒以上たってから、スリープにするようにしてください。
- ⊞ を押すことで、復帰（レジューム）することもできます。
- 電源ボタンを押す以外の方法でスリープからレジュームさせると、Windows の仕様により、画面が表示されない場合があります。
  画面が表示されない場合は、画面をタップすると画面が表示されます。
- レジューム後、画面が表示されないままの状態で一定時間経過すると、再度スリープになります。

バッテリ

このパソコンは、バッテリのみで動作させることができます。

重要

- バッテリのみで使用する場合は、バッテリが充電されているか確認してください。特にご購入時にはバッテリが充電されていない場合があるので、ご注意ください。

バッテリの充電

●クレードルを接続すると、バッテリの充電を開始します。充電が始まると、バッテリ充電ランプが点灯します。

充電状態や残量の確認

バッテリの充電の確認は、充電ランプで行います。

■充電ランプ

●クレードル接続時

充電ランプの表示	状態
赤色点灯	充電中

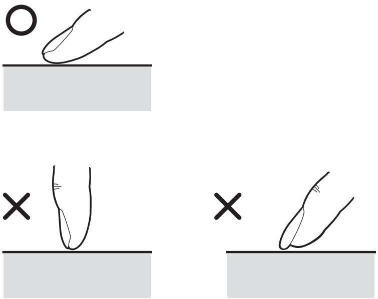
●バッテリ残量が少なくなると、バッテリの残り時間とバッテリ残量の不足を案内するポップアップや、「省電源移行バッテリレベル」ウィンドウが表示されます。表示された場合は、クレードルを接続してください。

タッチ機能

このパソコンは、液晶ディスプレイ（タッチパネル）を直接指先でタッチして操作できるタッチ機能を搭載しています。画面を指でタッチするだけで、マウスポインターを操作することができます。画面上で直接操作できるので、直感的でスピーディな操作が可能です。

タッチ機能をお使いになる上での注意事項

- ●液晶ディスプレイを強く押さないでください。
- ●液晶ディスプレイ表面をひっかいたり、金属製のものや固いもので突いたりしないでください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
- ●濡れた手や、指先が汚れた状態で操作しないでください。
- ●アプリによっては、タッチ機能の反応が悪かったり、タッチ機能に対応していない場合があります。
- ●つめや手袋をした指では操作できません。必ず、指の皮膚の部分が画面に触れるようにしてください。



（イラストは機種や状況により異なります）

- ●液晶ディスプレイ（タッチパネル）に、ほこりや皮脂が付着していると、タッチ機能が正しく動作しない場合があります。液晶ディスプレイは、ときどき清掃してください。

Point

- 「タブレット PC 設定」ウィンドウの「画面」タブにある「調整」をタップして表示される画面で、タッチする位置を調整しないでください。
調整してしまった場合は、ご購入時の設定に戻してください。ご購入時の設定に戻す方法は、次のとおりです。
  1. 画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップします。
  『Windows 8基本操作クイックシート』
  2. 「コントロールパネル」をタップします。
  3. 「ハードウェアとサウンド」▶「タブレット PC設定」の順にタップします。
  「タブレット PC 設定」ウィンドウが表示されます。
  4. 「画面」タブで、「リセット」をタップします。
  ご購入時の設定に戻ります。
- このパソコンのタッチパネルでは、複数箇所を同時にタッチして操作することができます。

タッチ機能を使う

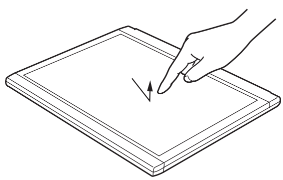
画面上でタップ（マウスのクリックと同様の操作）をする場合は、指で操作します。

マウスポインターは、画面上をなぞった方向に移動します。

タッチ機能を使った主な操作は次のとおりです。

■タップ

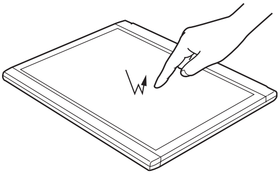
画面を 1 回素早くたたきます。



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

■ダブルタップ

画面を素早く 2 回連続して軽くたたきます。

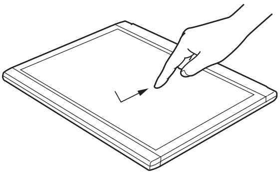


■右タップ

１本指で画面を触れた状態でしばらく待ち、四角い枠が表示されたら画面から指を離します。

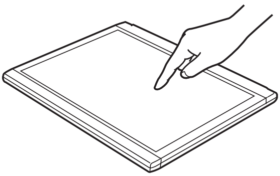
■ドラッグ

画面に指を軽く押しつけながらなぞります。



■ポイント

画面に軽く触れます。

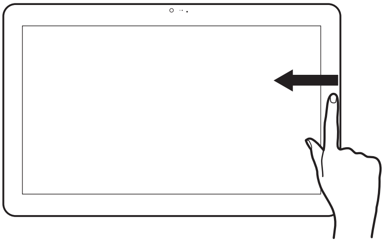


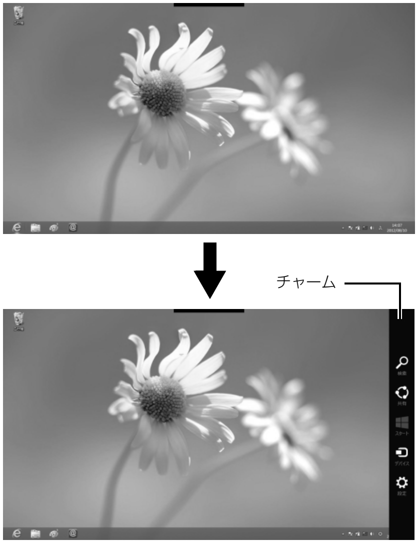
■拡大／縮小

2 本指を画面に軽く押しつけながら指をつまんだりひらいたりします。つまむと画像やウィンドウ内の画面が縮小表示され、ひらくと拡大表示されます。

■「チャーム」を表示する

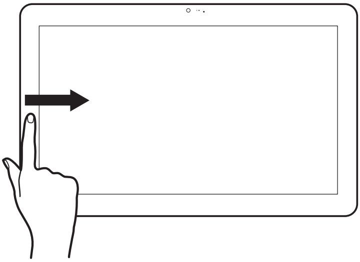
1本指を右端の枠の外から中へスライドすると「チャーム」が表示されます。





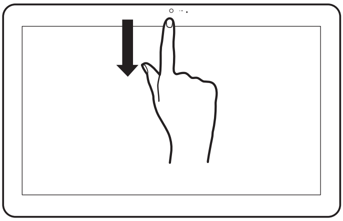
■アプリを切り替える

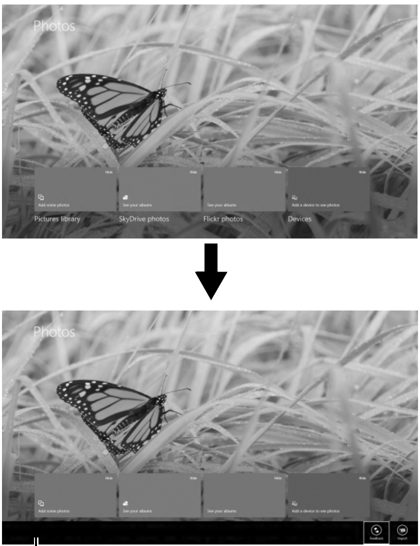
1 本指を左端の枠の外から中へスライドすると起動中のアプリが切り替わります。



■「アプリバー」を表示する

1 本指を上端または下端の枠の外から中へスライドすると、「アプリバー」が表示されます。





アプリバー

タッチ文字入力

1 文字入力する領域を 1 回タッチします。

文字入力する場所の近くに あ が表示されます。

2 あ にタッチします。

「タッチ文字入力」画面が表示されます。

3 「タッチ文字入力」画面で文字にタッチして入力していきます。

文字を入力していくと、変換候補の単語がいくつか表示されます。候補の中に目的の単語があれば、タッチして選択します。

4 文字入力が終わったら、「閉じる」をタッチして「タッチ文字入力」画面を閉じます。

タッチ文字入力で「手書き」を選択すると、手書き入力した文字を認識させて文字入力をすることができます。

Point

- タッチしても あ が表示されない場合、次のことをご確認ください。
  - ・Windows ストア アプリではご使用いただけません。
  - ・タッチで あ を表示するには、タッチ文字入力の自動起動の設定が必要です。@メニューの「パソコンの準備」をご覧ください。
- Windows のタッチキーボードや手書きパネルを使用して文字を入力することもできます。詳しくは「すべてのアプリ画面」の「ヘルプとサポート」をタップして Windows のヘルプを表示し、「ヘルプを参照」▶「はじめに」▶「タッチキーボードを使用する方法」の順にタップして表示される説明をご覧ください。
  「すべてのアプリ画面」の表示方法は、『Windows 8 基本操作クイックシート』をご覧ください。

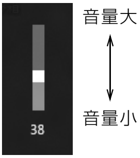
音量

重要

- 音量はスピーカーから聞こえる音がひずまない範囲に設定・調節してください。スピーカーが故障する原因となる場合があります。

●音量を調節する

音量調節ボタンの「−」を押すと小さく、「＋」を押すと大きくなります。



（イラストは機種や状況により異なります）

●音を消す

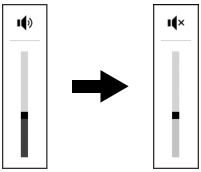
1 画面の右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示します。

『Windows 8 基本操作クイックシート』

2 （設定）をタップします。

3 をタップします。

4 をタップします。



（イラストは機種や状況により異なります）

もう一度タップすると音が出るようになります。

音量はデスクトップ画面右下の通知領域にあるでも調節できます。

画面の明るさ

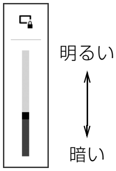
1 画面の右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示します。

『Windows 8 基本操作クイックシート』

2 （設定）をタップします。

3 「設定チャーム」で「ディスプレイ」をタップします。

4 スライダーを上下に動かします。



（イラストは機種や状況により異なります）

Point

- 明るさの設定について
  - ・パソコンを再起動したり、スリープから復帰（レジューム）したり、AC アダプタの接続や取り外しを行った直後は、明るさを変更しても有効にならないことがあります。このような場合は、しばらく時間をおいてから変更してください。
  - ・ご購入時は、ACアダプタを接続している場合は明るく、バッテリで使っている場合は少し暗くなるように設定されています。
  - ・明るさは、ACアダプタを接続している場合と、バッテリで使っている場合とで別々に設定できます。設定を変更する場合は、次の手順で操作してください。
    1. 画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップします。

       『Windows 8基本操作クイックシート』
    2. 「コントロールパネル」をタップします。
    3. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にタップします。
    4. 設定を変更するプランの「プラン設定の変更」をタップします。
    5. 明るさを変更し、「変更の保存」をタップします。

メモリーカード

ダイレクト・メモリースロットは、デジタルカメラなどに使われているメモリーカードに直接データを読み書きするためのスロットです。

お使いになるうえでの注意

- **メモリーカードは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリーカードを取り扱う前は、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。**
- Windows の ReadyBoost には対応していません。
- メモリーカードや記録されているデータの取り扱いについては、メモリーカードや周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- メモリーカードをデジタルカメラなどで使っている場合は、お使いの機器でフォーマットしてください。このパソコンでフォーマットすると、デジタルカメラなどでメモリーカードが使えなくなります。デジタルカメラなどでのフォーマットの方法については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。

使えるメモリーカード

ダイレクト・メモリースロットが対応しているメモリーカードと、その最大容量は次のとおりです。
ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

SDXC I [注]	・microSD カード（2GB） ・microSDHC カード（32GB） ・microSDXC カード（64GB）

注：・マルチメディアカード、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
・SDIO カードには対応していません。
・著作権保護機能（CPRM［シーピーアールエム］）に対応していません。

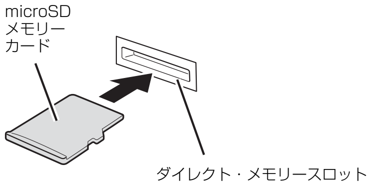
メモリーカードを差し込む／取り出す

■メモリーカードを差し込む

⚠ 注意

- メモリーカードを差し込む場合は、ダイレクト・メモリースロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

1 メモリーカードをダイレクト・メモリースロットに差し込みます。



※ 製品名のある面を上側にして、まっすぐに差し込みます。

（イラストは機種や状況により異なります）

■メモリーカードを取り出す

⚠注意

- メモリーカードを取り出す場合は、ダイレクト・メモリースロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

重要

- ダイレクト・メモリースロットからメモリーカードを取り出す場合は、次のことに注意してください。
  - ・メモリーカードを強く押さないでください。指を離したときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。
  - ・メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
  - ・ダイレクト・メモリースロットを人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出して、思わぬけがをするおそれがあります。
  - ・必ずメモリーカードを一度押して、少し飛び出した状態にしてから引き抜くようにしてください。そのまま引き抜くと誤動作の原因になります。

1 **デスクトップ画面右下の通知領域にある▲をタップし、表示された（ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）をタップします。**
メモリーカードによっては、（ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）が表示されないものもあります。アイコンが表示されない場合には、メモリーカードのマニュアルをご覧になり、確認してください。

2 **「nnn の取り出し」をタップします。**
nnn にはお使いのメモリーカードの名称が表示されます。

3 **「nnn はコンピューターから安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されたら、メモリーカードをパソコンから取り出します。**
メモリーカードを一度押すと、少し飛び出します。飛び出したメモリーカードを引き抜きます。

周辺機器の取り扱い

周辺機器とは、USB マウス、プリンター、デジタルカメラ、USB メモリ、携帯オーディオプレーヤーなどのパソコン本体に接続する装置の総称です。

⚠警告

- 周辺機器のなかには、取り付け／取り外しを行うときに、パソコンや周辺機器の電源を切り、AC アダプタや電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行わなければならない場合があります。必ず添付のマニュアルでご確認ください。感電の原因となります。

- 周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコンおよび周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器の取り扱い上の注意

- **周辺機器の接続は、取り付ける周辺機器のマニュアルをよくご覧になり、正しく行ってください**
- **弊社純正品をお使いください**
弊社純正の周辺機器については、販売店にお問い合わせいただくか、富士通ショッピングサイト「WEB MART」(http://www.fujitsu-webmart.com/) をご覧ください。
他社製品につきましては、このパソコンで正しく動作するかどうか、保証いたしかねます。他社製品をお使いになる場合は、製造元のメーカーにお問い合わせくださいますようお願いいたします。
- **一度に取り付ける周辺機器は 1 つだけにしてください**
一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバーのインストールなどが正常に行われないおそれがあります。1 つの周辺機器の取り付けと動作確認が完了してから、別の周辺機器を取り付けてください。
- **コネクタの向きを確認し、まっすぐ接続してください**

クレードル

Point

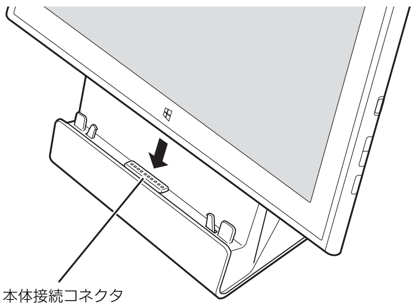
- USB/HDMI 付きクレードルの場合
  パソコン本体にクレードルを取り付けると、クレードルに搭載されているコネクタを使用できるようになります。

クレードルをお使いになるうえでの注意

- クレードルを取り付けた状態では、本パソコンを持ち運ばないでください。パソコン本体およびクレードルのコネクタの破損の原因となります。
- クレードルをお使いになる場合は、必ずクレードルの DC-IN コネクタ（→ P.20）に、パソコン本体に添付の AC アダプタを接続してください。

クレードルを取り付ける

1. USB/HDMI 付きクレードルの場合は、パソコン本体のコネクタから、周辺機器を取り外します。
2. 本体接続コネクタの位置を合わせてパソコン本体をクレードルに沿って下ろし、しっかりと取り付けます。



（イラストは機種や状況により異なります）

クレードルを取り外す

1. USB/HDMI 付きクレードルの場合は、クレードルのコネクタに接続されている周辺機器の電源を切ります。
2. パソコン本体をクレードルから取り外します。
   クレードルを押さえながら、クレードルに沿ってパソコン本体を持ち上げます。

防水性能

端子キャップとスロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5、IPX7、IPX8 の防水性能を有しています。

・IPX5 とは、内径 6.3mm の注水ノズルを使用し、約 3m の距離から 12.5L ／分の水を最低 3 分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、パソコンとしての機能を有することを意味します。
・IPX7 とは、常温で水道水、かつ静水の水深 1.0m のところに本パソコンを静かに沈め、約 30 分間放置後に取り出したときにパソコンとしての機能を有することを意味します。
・IPX8 とは、常温で水道水、かつ静水の水深 1.5m のところに本パソコンを静かに沈め、約 30 分間放置後に取り出したときにパソコンとしての機能を有することを意味します。

防水性能でできること

- 1 時間の雨量が 20mm 程度の雨の中で、傘をささずに通信ができます。
  - 手が濡れているときやパソコンに水滴がついているときには、端子キャップやスロットキャップの開閉はしないでください。
- 水深 1.5m のプールの中に沈めることができます。
  - 水中で操作しないでください。
  - プールの水につけるときは、30 分以内としてください。
  - プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、洗い流して水抜きしてください（→ P.56）。
- お風呂場で使用できます。
  - 湯船にはつけないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って水抜きしてください（→ P.56）。
  - 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対につけないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、ただちに洗い流して水抜きしてください（→ P.56）。
  - お風呂場では、温度は 5 ℃～ 45 ℃、湿度は 45% ～ 99%、使用時間は 2 時間以内の範囲でご使用ください。

・急激な温度変化は結露の原因となります。寒い所から暖かいお風呂などに本パソコンを持ち込むときは、本パソコンが常温になるまで待ってください。
・蛇口やシャワーから水やお湯などをかけないでください。

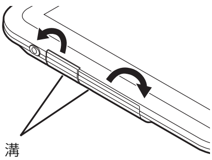
●洗面器などに張った静水につけて、ゆすりながら汚れを洗い流すことができます。
・洗うときは、端子キャップとスロットキャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず洗ってください。

防水性能を維持するために

水の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

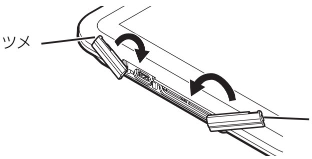
●常温の水道水以外の液体をかけたり、つけたりしないでください。

●microSDカードの取り付け／取り外し時や外部接続端子を使用するときには、次の図に示す溝に指を掛けてキャップを開け、矢印のように回してください。



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

また、microSD カードの取り付け／取り外し後や外部接続端子使用後は、矢印のように回してキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。



●端子キャップとスロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛 1 本、砂粒 1 つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。

●スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。

●落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。

●端子キャップ、スロットキャップのゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

Point

▶ 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず必ず 2 年に 1 回、部品の交換が必要となります。
部品の交換はパソコンをお預かりして有料にて承ります。「修理や故障に関する受付窓口」までお問い合わせください。

防水性能をお使いになるうえでの注意

次のような行為は行わないでください。

●石けん、洗剤、または入浴剤をつける
●ブラシやスポンジで洗う
●洗濯機で洗う
●強すぎる水流を当てる
●海水につける
●温泉で使う
●砂や泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

●付属品は防水性能を有していません。付属のクレードルにパソコンを差し込んだ状態で動画再生などをする場合、AC アダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

●防水性能以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。本パソコンは IPX5 の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。

●熱湯につけたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。

●本パソコンを水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。

●水道水やプールの水につけるときは、30 分以内としてください。

●プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。

●本パソコンは水に浮きません。

- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- スピーカーに水滴を残さないでください。
  動作不良となるおそれがあります。
- 端子キャップやスロットキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「修理や故障に関する受付窓口」までお問い合わせください。
- 端子キャップやスロットキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、「修理や故障に関する受付窓口」までお問い合わせください。

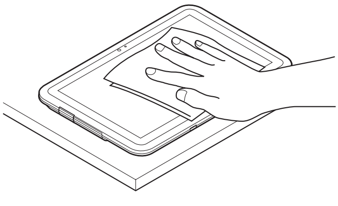
Point

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水抜き

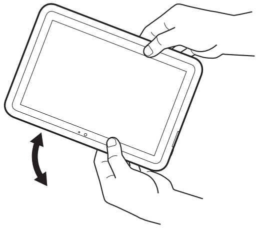
本パソコンを水に濡らすと、拭き取れなかった水が後からもれてくることがありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

1 本パソコンを安定した台などに置き、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

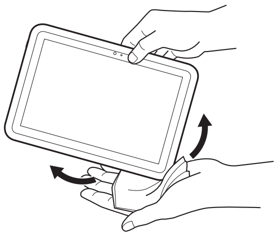


（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

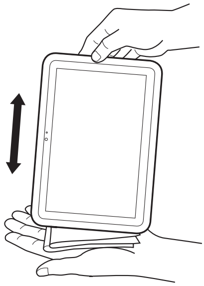
2 本パソコンのディスプレイ面を下にして、長い辺を両手でしっかりと持ち、10 回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。その後、180 度持ち替えて同様に 10 回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



3 外周部の隙間にたまった水は、乾いた清潔な布などに本パソコンの四隅を各 10 回程度振るように押し当てて拭き取ってください。



4 スピーカーなどの隙間にたまった水は、乾いた清潔な布などに本パソコンを 10 回程度振るように押し当てて拭き取ってください。



5 本パソコンから出てきた水分を乾いた清潔な布などで充分に拭き取り、自然乾燥させてください。
- ・水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- ・隙間にたまった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

充電のときの注意

充電時および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- ●充電時は、本パソコンが濡れていないか確認してください。本パソコンが濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- ●付属品は防水性能を有していません。
- ●本パソコンが濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属のクレードルに差し込んだり、端子キャップを開いたりしてください。
- ●端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、クレードルを使用して充電することをお勧めします。
- ●AC アダプタ、クレードルは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。
  火災や感電の原因となります。
- ●濡れた手で AC アダプタ、クレードルに触れないでください。
  感電の原因となります。

お手入れ

このパソコンを快適にお使いいただくための、日ごろのお手入れについて説明します。

⚠ 警告

- ● 感電やけがの原因となるので、お手入れの前に、次の事項を必ず行ってください。
  - ・パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外してください。
  - ・プリンターなど、周辺機器の電源を切り、パソコン本体から取り外してください。
- ● 清掃するときは、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。故障・火災の原因となります。

パソコン本体のお手入れ

- ●パソコン本体の汚れを取る場合
  - ・爪や指輪などで傷を付けないように注意してください。
  - ・OA クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布を使って軽く拭き取ってください。
  - ・汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取り、中性洗剤を使用した場合は、水に浸した布で拭き取ってください。また、拭き取るときは、パソコン本体に水が入らないよう充分に注意してください。
  - ・シンナーやベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきん、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は絶対に使わないでください。
  - ・クレードル接続コネクタにたまったほこりやゴミは、乾いた布で拭き取ってください。

液晶ディスプレイのお手入れ

- クレードルに接続している場合は、液晶ディスプレイの背面を手で支えてください。パソコンが倒れるおそれがあります。
- OA クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布かメガネ拭きを使って軽く拭き取ってください。水や中性洗剤を使用して拭かないでください。
- 市販のクリーナーや化学ぞうきんを使うと、成分によっては、画面の表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは、使わないでください。
  - ・アルカリ性成分を含んだもの
  - ・界面活性剤を含んだもの
  - ・アルコール成分を含んだもの
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - ・研磨剤を含むもの
- 爪や指輪などで傷を付けないように注意してください。
- 液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。破損するおそれがあります。

5 便利な機能のご紹介

このパソコンには、次の機能が搭載されています。
これらの機能を使うと、パソコンをもっと便利に活用することができます。

- ●「My Cloud」（→ P.59）
- ●「F-LINK（ケータイ連携機能）」（→ P.60）
- ●「Skype」（→ P.61）
- ●「搭載されているアプリを使う」（→ P.61）
- ●「Web かんたんログイン（OmniPass）」（→ P.62）

My Cloud

My Cloud とは

My Cloud［マイクラウド］は、パソコンを使って日常の生活をもっと楽しく便利にする、富士通の新しい機能とサービスのご提案です。
My Cloudで使える機能には次のようなものがあります。

●My Cloud スタート



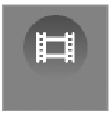
生活をアシストする情報をお知らせします。「カレンダー」に登録した予定や、最近のつぶやきを見ることができます。

●My Cloud フォト



パソコンに取り込んだ写真をカレンダー表示やスライドショーなどで見やすく閲覧することができます。
有線 LAN でネットワークにつなぐと、ネットワーク上にある機器の写真も見ることができます。

●My Cloud ビデオ



ホームビデオで撮影した動画やパソコンで録画した番組を再生することができます。有線 LAN でネットワークにつなぐと、ネットワーク上にある機器に入っているデータを再生することができます。

●My Cloud ミュージック



パソコンに取り込んだ音楽データを再生することができます。有線 LAN ネットワークにつなぐと、ネットワーク上にある機器の音楽データを再生したり、自分のパソコンに入っている音楽データを他の機器で再生させたりできます。

●My Cloud ノート



写真を登録してちょっとしたメモを書き込むことができます。
ご購入時では体験版となっています。

Point

- これらの機能は Windows ストアでアップデートすることで、さらに機能が追加され、より幅広く活用することができるようになります。
  スタート画面で「ストア」をタップし、表示される画面に従ってアップデートを行ってください。

詳しい使い方については…

サポートページからQ&Aナンバー「8309-7937」を検索してご覧ください。
サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.75）。

F-LINK （ケータイ連携機能）

F-LINK とは

F-LINK は、ネットワークを使ってパソコンやスマートフォン／タブレット端末／携帯電話間でデータのやり取りができる富士通独自の技術です。ケーブルを接続したり、媒体を用意したりする必要がなく、ワイヤレスで手軽にデータの転送ができます。

※ この機能で「ケータイ」と表記する場合、スマートフォン／タブレット端末を含みます。



F-LINK を使うと、次のようなことができます。

- 携帯機器内の写真、動画などのデータや、歩数・活動量を自分のパソコンに自動で取り込みます。
- 無線 LAN 搭載 SDHC メモリーカードから、写真、動画などのデータがワイヤレスで取り込めます。
- F-LINK 対応機器同士で個別にデータのやり取りをします。

詳しい使い方については…

サポートページから Q&A ナンバー「6009-8007」を検索してご覧ください。

サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.75)。

F-LINK をお使いになるうえでの注意

■携帯機器の対応機種について

F-LINK に対応した携帯機器については、ホームページ（http://azby.fmworld.net/support/soft/flink/）をご覧ください。

■注意事項

- このパソコンにあらかじめインストールされているもの以外のセキュリティ対策アプリをインストールしている場合、次のプログラムからネットワークの接続の要求があったときは、接続を許可するように設定してください。
  ・F-LINK.exe
- 送受信したデータを利用するには、送信側／受信側ともにデータを利用できる環境が必要です（例：受信側に送信側と同様のアプリが搭載されていない場合、データは閲覧できません)。
  なお、携帯機器によっては扱えるファイル形式やファイルサイズが異なります。携帯機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ルーターで機器間の通信を遮断する設定が行われていた場合、ルーター経由で F-LINK の機能が動作しません。ルーターを経由する場合は、機器間の通信を許可する設定をしてください。設定の方法は、ルーターのマニュアルをご覧ください。

Skype

Skype でできること

Skype［スカイプ］ではさまざまな方法で世界中のお友達、ご家族、同僚と連絡を取り合うことができます。Skype はスタート画面から起動します。

- ●ユーザー同士の通話
  Skype のユーザー同士なら無料で通話ができます。海外の友人と無料で通話したり、複数人で同時に通話したりできます。
- ●ビデオ通話
  お互いの顔を見ながら通話するなど、1 対 1 のビデオ通話を無料で楽しむことができます。HD Web カメラ搭載機種なら、高画質なビデオ通話が可能です。
  搭載されている Web カメラについてはホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。仕様一覧の表示方法は「仕様一覧」(→ P.114）の「仕様の調べ方」をご覧ください。
  なお、Web カメラを使用している間は、パソコンが一定時間後に自動的にスリープや休止状態になる機能はご使用になれません。
- ●インスタントメッセージやファイル送信
  リアルタイムにメッセージを送受信することで、複数人と文字で会話をすることができます。また、通話中やメッセージの送受信中に必要となったファイルを転送することができます。

詳しい使い方については…

サポートページからQ&Aナンバー「2009-7938」を検索してご覧ください。
サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.75)。

搭載されているアプリを使う

このパソコンには、搭載されているデスクトップアプリを簡単に探すための、「@メニュー」が搭載されています。
やりたいことがあるけれど、どのアプリを使えば良いかわからないときは、「@メニュー」で探すことができます。

「@メニュー」の使い方

1. スタート画面で「@メニュー」をタップします。
2. カテゴリを選択します。
3. ジャンルを選択します。
4. やりたいことを選択します。
5. 「実行する」をタップして、アプリを起動します。



（画面は機種や状況により異なります）

Point

- アプリを起動する方法は他にもあります。
  詳しくは、『Windows 8 基本操作クイックシート』をご覧ください。
- このパソコンに搭載されているアプリの一覧は、富士通製品情報ページ (http://www.fmworld.net/fmv/) に掲載されています。

詳しい使い方については…

サポートページからQ&Aナンバー「8107-4567」を検索してご覧ください。
サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.75)。

Web かんたんログイン（OmniPass）

Web かんたんログインとは

複数の Web サイトのログイン ID やパスワードを 1 つの暗証キーで管理できます。
暗証キーは「数字」、「色」、「動物」から 1 つを選んで、4つのキーの組み合わせで作成することができます。

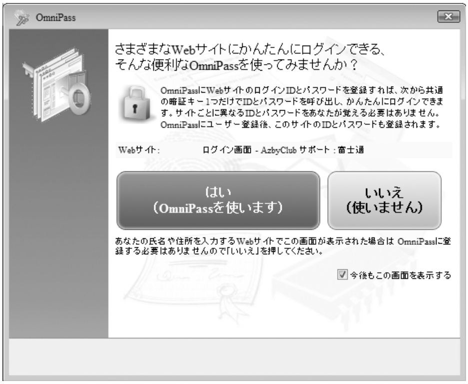


重要

- 銀行など重要な情報を扱うサイトでは本機能を使用しないでください。
- Web かんたんログインは、スタート画面から「Internet Explorer」を起動した場合はご利用になれません。
- 「Internet Explorer」をご利用時に、OmniPass のアドオン（「OmniPass Helper」）を有効にするかどうか選択するメッセージが表示された場合は、有効にするようにしてください。無効にすると、本機能を使えなくなります。
- サイトによっては、Web かんたんログインの登録画面が表示されない場合があります。

Web かんたんログインの使い方

インターネットに接続していて、特定のサイトにログインしようとすると、次のような画面が表示されます。



画面の指示に従って暗証キーを作成すると、次回以降そのサイトにログインするときに、ここで作成した暗証キーを使ってログインすることができるようになります。
次回以降はサイトを登録するだけで、同じ暗証キーを使ってログインできるようになります。

Point

- Web かんたんログインを使わない場合は、上記の画面右下に表示されている「今後もこの画面を表示する」の☑を□にして、「いいえ (使いません)」をタップしてください。

詳しい使い方については…

サポートページからQ&Aナンバー「0309-5656 」を検索してご覧ください。
サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.75）。

Memo

6 バックアップ

バックアップナビ

Windows が起動しなくなった場合や、データを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータのコピーを保存しておくことを「バックアップ」といいます。バックアップは大変重要ですので、忘れずに行うようにしてください。
このパソコンは「バックアップナビ」というバックアップツールを搭載しています。

バックアップナビの機能

2種類のバックアップ方法を組み合わせて効率的にバックアップをとりましょう。

■日々作成するデータをバックアップ
デジタルカメラで撮った写真や、作成した文書などは定期的にバックアップしましょう。
「バックアップナビ」では、マイドキュメントやマイピクチャなどのそれぞれのユーザーが持っているフォルダーのデータを「マイデータ」と呼んでいます。
「バックアップナビ」では「マイデータ」をまとめて簡単にバックアップできます。
詳しくは「マイデータ」（→ P.65）をご覧ください。

自動バックアップ

「マイデータ」を定期的にバックアップするよう設定できます。「毎日」または「週に 1 回」など設定しておくと、忘れずにバックアップできて便利です。

●ご利用になるうえでの注意

・STYLISTIC QHシリーズでドッキングステーションを使用する場合、開いた状態でお使いください。

このほかにも、いくつか注意していただきたい点があります。「自動バックアップの設定」のステップ 2 の画面に表示される「注意事項」の内容をよく読んでから設定してください。

■C ドライブをまるごとバックアップ
トラブルに備えて、パソコンが快適に使用できている状態をまるごとバックアップしましょう。
「バックアップナビ」では C ドライブをまるごとバックアップできます。パソコンのセットアップが完了した後、およびインターネットやメールなどパソコンの設定を変更した後にバックアップすることをお勧めします。
詳しくは「パソコンの状態」（→ P.66）をご覧ください。

バックアップナビをお使いになるうえでの注意事項

■すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません
すべてのデータの保存／復元を保証するものではありません。また著作権保護された映像（デジタル放送の録画番組など）や音楽などは保存／復元できない場合があります。

■管理者アカウントで Windows にサインインしていることを確認してください
セットアップ時に作成したアカウントは管理者アカウントです。
標準アカウントでサインインしている場合は、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウで管理者アカウントのパスワードを入力してバックアップしてください。

■「バックアップナビ」以外のアプリはすべて終了させてください

■STYLISTIC QH シリーズの場合、ドッキングステーションを接続したままでも、AC アダプタを接続し、バックアップできます。ドッキングステーションを使用しない場合は、本体に AC アダプタを接続してください。

■ARROWS Tab Wi-Fi QH シリーズの場合、必ず AC アダプタをクレードルに接続し、パソコン本体にクレードルを取り付けてください

■「トラブル解決ナビ」以外で領域を変更した場合は、「バックアップナビ」はお使いになれません
市販のアプリなどで SSD の領域設定を行った場合は「バックアップナビ」はお使いになれません。
「バックアップナビ」を使える状態にするには、Web『補足情報』をご覧になり、「ハードディスク全体をリカバリ」を実行してください。

■このパソコンにバックアップした場合、他のパソコンには復元できません

バックアップしたデータを復元できるのは、このパソコンの C ドライブのみです。

■スリープや休止状態にしないでください

バックアップ／復元や、バックアップデータをディスクにコピー中にスリープや休止状態などの省電力状態にすると、データが正常に書き込まれなくなります。パソコンを省電力状態にする操作はしないでください。

マイデータ

バックアップ／復元できる項目

●ユーザーのデータ
ライブラリに登録されているデータがバックアップされます。
・マイドキュメント
・マイビデオ
・マイピクチャ
・マイミュージック
●自分で指定したフォルダー

「マイデータ」の注意事項

■著作権保護された音楽データ、映像データは、バックアップできません

デジタル放送の録画番組、インターネット上の音楽配信サイトからダウンロードしたファイルなど、著作権保護された映像データや音楽データなどはバックアップ／復元できない場合があります。
著作権保護された音楽データ、映像データのバックアップ／復元については、お使いのアプリのマニュアルやヘルプをご覧ください。

「マイデータ」のバックアップ／コピー／復元方法

バックアップ／コピー／復元方法については、サポートページから次の Q&A ナンバーを検索してご覧ください。
サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.75）。
●マイデータをバックアップする方法「3309-7979」
●マイデータをコピーする方法「4309-7982」
●マイデータを復元する方法「0609-7981」

パソコンの状態

SSDのCドライブをまるごとバックアップします。パソコンにトラブルが発生した場合、Cドライブをまるごとバックアップしたときの状態に戻すことができます。

「パソコンの状態」の注意事項

■パソコンに不具合が起こっているときは、「パソコンの状態」をバックアップしないでください

「パソコンの状態」をバックアップすると、パソコンのCドライブをそのままの状態で保存するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。

■保存先の容量を確認してください

「パソコンの状態」のバックアップデータは、前回のバックアップデータを上書きすることなく、バックアップするごとに新規で作成されます。Cドライブで使用している容量より保存先の容量が少ない場合は、「パソコンの状態」のバックアップはできません。
不要になったバックアップデータは削除してください（→ P.69）。

重要

- 「パソコンの状態」をバックアップ、および復元する場合、「バックアップナビ」起動時に外付けハードディスクやUSBメモリを接続しないでください。
  - ・外付けハードディスクやUSBメモリを接続したまま「パソコンの状態」のバックアップ、および復元を開始すると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
  - ・外付けハードディスクにバックアップする場合は、「バックアップナビ」起動後に、画面の指示に従って接続してください。
- メモリーカードなどのその他の外部記憶装置は、必ずパソコンから取り外した状態で操作してください。

「パソコンの状態」をバックアップする場所

「パソコンの状態」をバックアップする場所を選択できます。また、作成した「パソコンの状態」のバックアップデータはコピーできます。

■外付けハードディスク

直接「パソコンの状態」をバックアップできます。
外付けハードディスクはUSB接続のものを用意してください。USB接続以外の接続方式では正常に動作しない場合があります。

■ネットワーク上のドライブ（STYLISTIC QHシリーズでドッキングステーションを使用する場合）

直接「パソコンの状態」をバックアップできます。
ネットワークの知識が必要です。別のパソコンの共有フォルダーに、「パソコンの状態」をバックアップしたり、そこから復元したりできます。
ネットワーク上のドライブを使う方法は、「AzbyClubサポート」（→ P.75）で紹介しています。「AzbyClubサポート」でQ&Aナンバー「7209-7934」を検索してご覧ください。

「パソコンの状態」をバックアップする

1 画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップします。
『Windows 8 基本操作クイックシート』

2 「バックアップナビ」をタップします。

3 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をタップします。

4 「バックアップナビ」の概要を説明するウィンドウが表示されたら、「次へ」をタップします。

5 次の画面の操作をします。



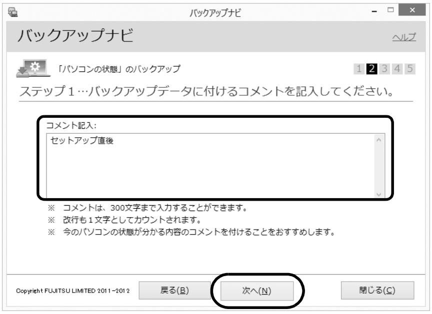
（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

①「バックアップする」タブをタップします。
②「パソコン状態のバックアップ」をタップします。

6 コメント入力域に、「パソコンの状態」のバックアップデータに付けるコメントを入力し、「次へ」をタップします。

いつの時点の「パソコンの状態」かがわかるように、コメントを入力してください。

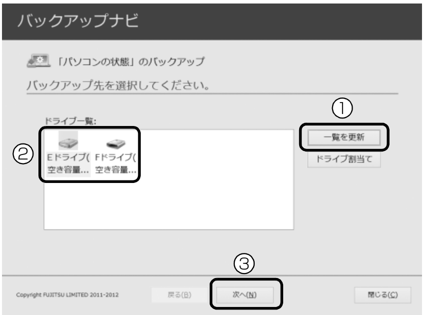
例）・セットアップ直後
　　・光ファイバーに設定変更



7 内容を確認して「次へ」をタップします。

8 「OK」をタップします。

9 「「パソコンの状態」のバックアップ」という画面が表示されたら、次の操作をします。



（画面は機種や状況により異なります）

① 外付けハードディスクを接続し、認識されるまで 10 秒ほど待ってから、「一覧を更新」をタップします。

②「ドライブ一覧」に接続したドライブが表示されたら、保存先のドライブを選択します。

③「次へ」をタップします。

10 内容を確認し、「開始する」をタップします。

「パソコンの状態」のバックアップが始まります。しばらくお待ちください。終了までの時間表示が増えることがあります。これは、途中で終了時間を計算し直しているためです。

完了すると「バックアップを終了しました。結果をご確認ください。」と表示されます。

11 「閉じる」をタップします。

パソコンが再起動します。

これで、指定したドライブに「パソコンの状態」がバックアップされました。

「パソコンの状態」のバックアップデータをコピーする

「パソコンの状態」のバックアップデータは他の外付けハードディスクなどにコピーできます。

コピー方法については、サポートページから Q&A ナンバー「6909-7980」を検索してご覧ください。

サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.75）。

「パソコンの状態」を復元する

C ドライブをまるごと、「パソコンの状態」のバックアップ時点に戻します。

C ドライブの現在のデータは失われてしまいます。DVD などのディスクや別の媒体などにバックアップしてください。

1 「トラブル解決ナビ」を起動します。

起動方法は「「トラブル解決ナビ」を起動する」（→ P.77）をご覧ください。

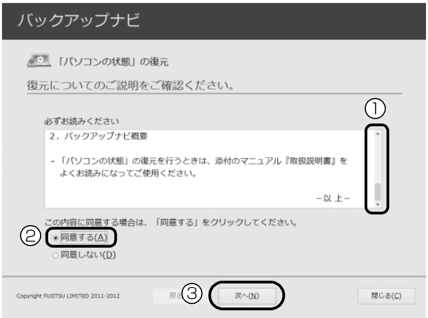
2 「リカバリ」をタップします。



3「「パソコンの状態」の復元」をタップします。



4 画面の内容を確認し、次の操作をします。

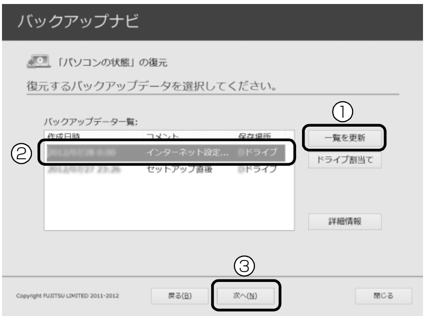


①「ご使用上の注意」を下までスクロールして確認します。
「同意する」が選択できるようになります。

②「同意する」をタップして◉にします。

③「次へ」をタップします。

5 復元したい「パソコンの状態」のバックアップデータを選択します。



① 外付けハードディスクを接続した後、「一覧を更新」をタップします。「作成されているバックアップデータの一覧」に「パソコンの状態」のバックアップデータが表示されます。

② 復元する「パソコンの状態」のバックアップデータをタップして選択します。

③「次へ」をタップします。

6「復元開始」をタップします。



「パソコンの状態」のバックアップデータを使ってCドライブの復元が始まり、復元の進行状況を示す画面が表示されます。

7 そのまましばらくお待ちください。

終了までの残り時間は正確に表示されない場合や増える場合があります。これは途中で終了時間を計算し直しているためです。
しばらくすると、「復元が正常に終了しました。」と表示されます。

8「閉じる」をタップします。

パソコンが再起動します。

これで、「パソコンの状態」のバックアップデータを使った復元が完了しました。

「パソコンの状態」のバックアップデータを削除する

「バックアップナビ」の「管理」タブで、保存した「パソコンの状態」のバックアップデータを削除できます。画面の指示に従って操作してください。

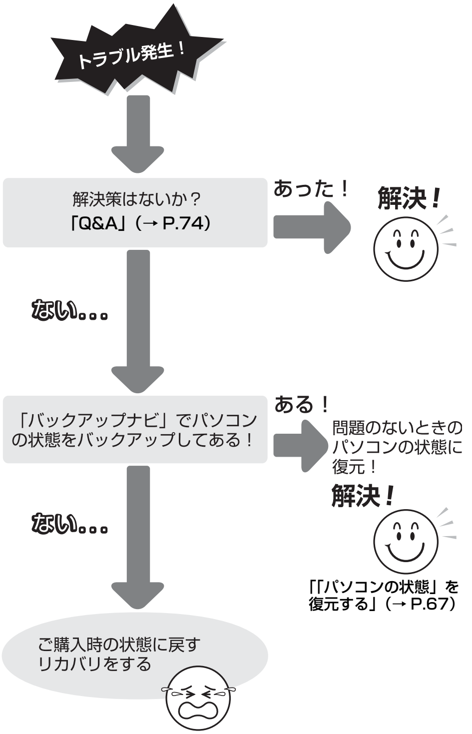
Point

- 外付けハードディスクに保存した「パソコンの状態」のバックアップデータを削除する場合は、「バックアップナビ」を起動する前に接続してください。

7 ご購入時の状態に戻す

ご購入時の状態に戻す必要があるか再確認

Cドライブをご購入時の状態に戻すリカバリをすると、今まで作成したCドライブ内のデータや設定がすべて削除されてしまいます。そのためリカバリ後には、セットアップを行ったり、必要に応じてアプリをインストールしたり、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。
通常はご購入時の状態に戻すリカバリを行う必要はほとんどありません。本当にご購入時の状態に戻す必要があるか、下の図でもう一度確認してください。



ご購入時の状態に戻すリカバリの準備

C ドライブをご購入時の状態に戻すリカバリは、SSD の「リカバリ領域」という場所に保存されているデータを使用します。

Point

- リカバリ領域を削除している場合やリカバリ領域が破損してしまった場合にのみ、「リカバリディスクセット」を使用してリカバリします。
- 「リカバリディスクセット」は SSD 全体をリカバリする場合などにも使用します。詳しくは Web『補足情報』の「ハードディスクの領域について」をご覧ください。

バックアップをする

リカバリを行うと、C ドライブのデータはすべて削除されます。
必要なデータはバックアップしてください。
バックアップ方法については、「バックアップ」（→ P.64）をご覧ください。

ご購入時の状態に戻すリカバリの注意

■機種名（品名）を確認してください
お使いのパソコンによって、作業などが異なります。まず、機種名（品名）などを確認してください。

■STYLISTIC QH シリーズの場合、ドッキングステーションを接続したままでも、AC アダプタを接続し、リカバリすることができます。ドッキングステーションを使用しない場合は、本体に AC アダプタを接続してください。

■ARROWS Tab Wi-Fi QH シリーズの場合、必ず AC アダプタをクレードルに接続し、パソコン本体にクレードルを取り付けてください

■外付けハードディスクや USB メモリは必ず取り外してください
リカバリを行う前に必ず取り外してください。接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

■周辺機器（プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなどの装置、HDMI 入力／出力端子、USB コネクタや、USB 変換ケーブルに接続しているすべての周辺機器）は取り外してください

LAN ケーブル、マウスなども取り外してください。接続したままだとマニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

■メモリーカードは取り出してください

メモリーカードをセットしていると、マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

むやみにタップせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、リカバリが正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

リカバリ実行からアプリのインストール終了まで、早く終了する機種でも２～３時間はかかります。

半日以上は時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法

■画面が真っ暗になった

パソコンが再起動して画面が暗くなる場合は、手順に記載しています。

手順に記載がないのに、画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。

画面をタッチするか、STYLISTIC QH シリーズでドッキングステーションを接続している場合はフラットポイントの操作面に触れるか、キーボードの【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】を押してください。

それでも復帰しない場合は、電源ボタンを押すか電源スイッチをスライドさせてください。

■電源が切れない

電源ボタンを４秒以上押すか電源スイッチを４秒以上スライドさせて電源を切ってください。

ディスクが必要な場合

- リカバリ領域を削除している場合、リカバリ領域が破損してしまった場合は、「リカバリディスクセット」が必要です
- ディスクがない場合や破損してしまった場合、弊社のホームページから購入できます
  「リカバリディスク有償サービス」
  http://azby.fmworld.net/support/attachdisk/
  ただし、Webカスタムメイドモデルの「リカバリディスクセット」は電話で申し込んで購入してください。
  「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
  0120-950-222（通話料無料）
- ポータブル CD/DVD ドライブを用意してください
  ・ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM53）」をお勧めします。
  ・リカバリを開始する前のパソコンの電源が切れた状態のときに、あらかじめ接続してください。

ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する

準備ができたらリカバリを実行します。SSD の C ドライブの内容がいったんすべて消去され、リカバリ領域（または「リカバリディスクセット」）から Windows やアプリがインストールされてご購入時の状態に戻ります。

C ドライブを初期状態に戻す

1「トラブル解決ナビ」を起動します。

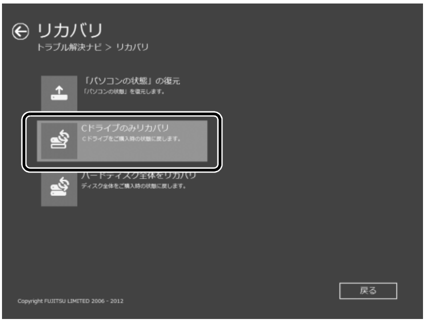
「「トラブル解決ナビ」を起動する」（→ P.77）をご覧ください。

2「リカバリ」をタップします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

3「C ドライブのみリカバリ」をタップします。



4「次へ」をタップします。



5「ご使用上の注意」の内容を確認し、次の画面の操作をします。

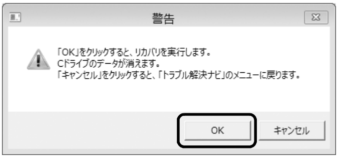


①「ご使用上の注意」を下までスクロールして確認します。
「同意する」が選択できるようになります。
②「同意する」をタップして ◉ します。
③「次へ」をタップします。

Point

- SSD にリカバリデータがない場合は、リカバリディスクセットを要求するメッセージが表示されます。ディスクを用意し、画面の指示に従って操作してください。

6 警告画面で、「OK」をタップします。



復元の進行状況を示す画面が表示され、ご購入時の状態に戻すリカバリが始まります。
リカバリ途中で計算しなおしているため、終了までのパーセンテージは正確に表示されない場合や増える場合があります。

7 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると、「ディスクの復元が完了しました。」と表示されます。

8「完了」をタップします。

パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。「ライセンス条項」画面が表示されるまで、電源を切らずに、そのままお待ちください。

Point

- 弊社ホームページから購入したリカバリディスクセットを使ってリカバリした場合は、「ライセンス条項」画面が表示されるまで 30 分以上かかることがあります。ご了承ください。

Windows のセットアップをする

これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れたときと同じように、Windows のセットアップが必要です。「セットアップする」（→ P.27）をご覧になり、セットアップしてください。

■セットアップ時の注意事項

- ●ユーザー登録は再度行う必要はありません。
- ●すでに Microsoft アカウントを取得されているため、「Windows のセットアップをする」（→ P.28）の手順 7 では「すでに Microsoft アカウントをお持ちの場合」に進んでください。

Point

- 「Office 2010」搭載機種で、ご購入時の状態に戻すリカバリを行った場合、「Office 2010」がインストールされた状態にリカバリされません。
セットアップ後に「Office 2010」のパッケージを使い、インストールしてください。
インストール方法についてはパッケージに同梱されている「お使いになる前に」をご覧ください。
また、「Office 2010」はマイクロソフト社のホームページからダウンロードしてインストールすることもできます。
http://www.office.com/downloadoffice/
画面の指示に従って操作してください。

8 Q&A

トラブル発生時の基本的な対処

トラブルを解決するにはいくつかのポイントがあります。トラブル発生時は次の手順に沿って、対応してください。

1 **落ち着いて状況を確認する（→ P.74）**
2 **マニュアルで調べる（→ P.75）**
3 **インターネットで調べる（→ P.75）**
4 **「富士通ハードウェア診断ツール」を使う（→ P.75）**
5 **サポートの窓口に相談する（→ P.76）**

落ち着いて状況を確認する

トラブルが発生したときは、落ち着いて、直前に行った操作や現在のパソコンの状況を確認しましょう。

■表示されたメッセージはメモをしておく
画面上にメッセージなどが表示されたら、メモしておいてください。マニュアルで該当するトラブルを検索する場合や、お問い合わせのときに役立ちます。

■パソコンや周辺機器の状況を確認する
電源が入らない、画面に何も表示されない、ネットワークに接続できない、などのトラブルが発生したら、まず次の点を確認してください。

- ●パソコンや周辺機器の電源など、使用する装置の電源はすべて入っていますか？
  ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（ハブなど）の接続や電源も確認してください。
- ●ケーブル類は正しいコネクタに接続されていますか？また、ゆるんだりしていませんか？
- ●電源コンセント自体に問題はありませんか？
  他の電器製品を接続して動作するか確認してください。

このほか、「起動・終了時」（→ P.78）の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」もあわせてご覧ください。

■直前の状態に戻す
周辺機器の取り付けやアプリのインストールの直後にトラブルが発生した場合は、いったん直前の状態に戻してください。

- ●周辺機器を取り付けた場合は、取り外します。
- ●アプリをインストールした場合は、アンインストールします。

その後、製品に添付されているマニュアル、「Readme.txt」などの補足説明書、インターネット上の情報を確認し、取り付けやインストールに関して何か問題がなかったか確認してください。
発生したトラブルに該当する記述があれば、指示に従ってください。

■BIOS の設定をご購入時の状態に戻す
Windows が起動しないときなど、BIOS セットアップを起動し、BIOS の設定を戻すと問題が解決できることがあります。

Point

- BIOS パスワードを設定していた場合、BIOS をご購入の状態に戻してもパスワードは解除されません。

1 **パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。**
2 **パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→ P.46）。**
3 **音量調節ボタン（－）を押しながら、パソコンの電源ボタンを押します。**
4 **BIOS の画面が表示されたら、ボタンから指を離します。**

Point

- Windows が起動してしまった場合は、パソコンの電源を切って、操作をやり直してください。
- BIOS の画面が表示されず、Windows も起動しない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、10 秒以上待ってから、再度電源を入れて操作をやり直してください。

5「終了」または「Exit」メニュー▶「標準設定値を読み込む」または「Load Setup Defaults」の順にタップします。

6「はい」または「Yes」をタップします。

7「変更を保存して終了する」または「Exit Saving Changes」をタップします。

8「はい」または「Yes」をタップします。

マニュアルで調べる

このマニュアルの「よくあるトラブルと解決方法」(→P.78)をご覧になり、発生したトラブルの解決方法がないかご確認ください。

インターネットで調べる

富士通のホームページ「サポートページ」では「Q&A」「ネットで故障診断」などのサポート情報や、「パソコン活用」「ビギナーガイド」などの活用情報、およびこのパソコンに関連したドライバーを提供しています。ドライバーをアップデートしたりインストールし直したりすることで、トラブルが解決できる場合がありますので、最新のドライバーについても、あわせてご確認ください。

■「サポートページ」

http://azby.fmworld.net/support/



「サポートページ」では、次のような情報を提供しています。

- Q&A、パソコン活用情報
  数多くのQ&A事例や、便利なパソコンの使い方を紹介しています。キーワードから検索したり、困っていることから調べたりすることができます。
- ウイルス・セキュリティ情報
- よくあるお問い合わせ
- 最新のドライバーやマニュアルのダウンロード

Point

- サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます。次のように操作します。
  1. を押して、スタート画面を表示します。
  2. 「富士通アドバイザー」をタップします。
  3. 「富士通アドバイザー」の「サポート&サービス情報」から「サポート情報を調べる」を選択します。
- 「Q&A」で解決しなかった場合は、専用の受付フォームからお問い合わせいただく、メールサポートもご利用いただけます。ご利用には、ユーザー登録が必要です(→P.86)。
- 「ネットで故障診断」で無料で故障診断や、修理の申し込みができます。詳しくは、「修理の申し込み」(→P.95)をご覧ください。

「富士通ハードウェア診断ツール」を使う

Windowsが起動しなくなったときに、このパソコンのハードウェア(CPU、メモリ、ディスプレイ、SSD、CD/DVDドライブ)に問題がないか診断します。

- 「トラブル解決ナビ」から起動できます。
- パソコン本体の電源を切り、あらかじめ周辺機器を取り外しておいてください。
- 診断したいハードウェアを選択できます。
- 診断時間は5〜20分程度です。

■「富士通ハードウェア診断ツール」で診断する

1「トラブル解決ナビ」を起動し(→P.77)、「診断ツール」タブ▶「富士通ハードウェア診断ツール」の順にタップし、「実行」をタップします。
「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「注意事項」ウィンドウが表示されます。

2 表示された注意事項をよく読み、「OK」をタップします。
「注意事項」ウィンドウが閉じます。

3 **診断したいアイコンにチェックが入っていることを確認し、「実行」をタップします。**

ハードウェア診断が始まります。

診断時間は通常５～20分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては、長時間かかる場合があります。

Point

- 診断を取りやめる場合は「スキップ」をタップしてください。

4 **「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。**

表示された内容に従って操作を行ってください。エラーコードが表示された場合には、メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。

5 **「診断結果」ウィンドウの「閉じる」をタップします。**

「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウに戻ります。

6 **「終了」をタップします。**

「終了」ウィンドウが表示されます。

7 **「はい」をタップします。**

「トラブル解決ナビ」ウィンドウに戻ります。

「診断プログラム」実行後に「富士通ハードウェア診断ツール」を使用した場合は、パソコンの電源が切れます。

Point

- Windowsが起動しなくなったときは、起動メニューから起動できる「診断プログラム」を使用してもハードウェアの障害箇所を診断できます。診断時間は通常５～20分程度ですが、診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。
  1. BIOSの設定をご購入時の状態に戻します（→P.74）。
  2. パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
  3. パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→P.46）。
  4. ローテーションロックボタンを押しながら、パソコンの電源ボタンを押します。
  5. 起動メニューが表示されたら、ボタンから指を離します。
  6. 「アプリケーションメニュー」または「ApplicationMenu」をタップし、画面を切り替えます。
  7. メニューが表示されたら、「診断プログラム」または「Diagnostic Program」をタップします。
  8. 「診断プログラムを実行しますか？」または「Do you want to run Diagnostic Program?」と表示されたら、「実行」または「Run」をタップしてハードウェア診断を開始します。
     ハードウェア診断が終了すると、診断結果が表示されます（お使いの機種によっては、いったんパソコンが再起動した後で診断結果が表示されます）。
  - 診断後にエラーコードが表示された場合は、メモしておき、サポートの窓口に伝えてください。
  - トラブルが検出されなかった場合
    「再起動」または「Reboot」をタップしてください。
  - トラブルが検出された場合
    画面に表示された内容をメモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。その後、「電源オフ」または「Power OFF」をタップしてパソコンの電源を切ってください。

サポートの窓口に相談する

「トラブル発生時の基本的な対処」（→P.74）手順１～４でトラブル解決のための対処をした後も回復しない場合には、サポートの窓口に相談してください。

■電話相談サポート

「お問い合わせ窓口のご紹介」（→P.93）をご覧ください。

■故障や修理に関する受付窓口

「修理の申し込み」（→P.95）をご覧ください。

■パソコン修理便

「お引き取りとお届け（パソコン修理便）」（→P.96）をご覧ください。

■アプリに関するお問い合わせ

本製品に添付されているアプリは、提供会社によってお問い合わせ先が異なります。お問い合わせについては、「アプリのお問い合わせ先」(→ P.89)をご覧ください。

「トラブル解決ナビ」を起動する

■SSD から起動する

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります(→ P.46)。

3 ローテーションロックボタンを押しながら、パソコンの電源ボタンを押します。

4 起動メニューが表示されたら、ボタンから指を離します。

Point

- Windowsが起動してしまった場合は、パソコンの電源を切って操作をやり直してください。

5 「アプリケーションメニュー」または「ApplicationMenu」をタップし、画面を切り替えます。

6 メニューが表示されたら、「トラブル解決ナビ」または「Recovery and Utility」をタップします。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

■「トラブル解決ナビディスク」から起動する

「トラブル解決ナビディスク」から「トラブル解決ナビ」を起動する方法です。パソコンを廃棄するときやリカバリ領域の削除/復元をするときなど、特別な操作をするときだけ行います。

重要

- この操作を行う場合は、ポータブルCD/DVDドライブを用意してください。
  - ・ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット(FMV-NSM53)」をお勧めします。
  - ・パソコンの電源を入れる前に、あらかじめ接続してください。

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります(→ P.46)。

3 ローテーションロックボタンを押しながら、パソコンの電源ボタンを押します。

4 起動メニューが表示されたら、ボタンから指を離します。

「アプリケーションメニュー」または「Application Menu」が表示された場合は、「起動メニュー」または「Boot Menu」をタップして切り替えます。

5 「トラブル解決ナビディスク」をセットします。

認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

6 「CD/DVD」や「CD/DVD Drive」などをタップします。

7 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

8 「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

■「トラブル解決ナビ」が起動しない場合の解決方法

「トラブル解決ナビ」が表示されない場合は、次のように対処してください。

- BIOS の設定をご購入時の状態に戻すと解決する場合があります(→ P.74)。
- 市販のアプリや、Windows の「ディスクの管理」で領域設定を変更している場合は、「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を実行してください。

Web『補足情報』

よくあるトラブルと解決方法

起動・終了時

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	電源ケーブルや AC アダプタが正しく接続されていない	電源ケーブルやACアダプタが正しく接続されているか確認してください（→ P.24）。
	バッテリ残量が少ない	ACアダプタを接続し、バッテリを充電してください。
	上記の対処で解決しない	AC アダプタをいったん取り外し、2 〜 3 分放置後、再び取り付けてください。
画面に何も表示されない	外部ディスプレイのみに表示する設定になっている	外部ディスプレイだけに表示する設定になっていると、液晶ディスプレイには表示されません。 設定を液晶ディスプレイ表示に切り替えてください。 Web『補足情報』
	画面が暗すぎる	画面の明るさを調節してください（→ P.51）。
	ディスプレイのバックライトが消灯している	画面をタップしてください。
	スリープや休止状態になっている	電源ボタンを押してください。
	上記の対処で解決しない	電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、10 秒以上待ってから電源を入れ直してください。 なお、SSD に保存されていない作業中のデータは失われます。
Windows が起動しない	周辺機器が正しく取り付けられていない	周辺機器のマニュアルをご覧になり、正しく取り付けられているか確認してください。
	上記の対処で解決しない	ハードウェアの診断を行ってください（→ P.75）。
電源が切れない	—	電源ボタンを 4 秒以上押して、電源を切ってください。 なお、SSD に保存されていない作業中のデータは失われます。

Windows・アプリ関連

症状	考えられる原因	対処方法
「Windows のライセンス認証」という青い画面が表示された	インターネットに接続されていないため、Windows のライセンス認証が行われていない	「PC の設定を開く」をタップし、インターネットまたは電話で、Windows のライセンス認証を行ってください。
アプリが見つからない	—	どのアプリを使えば良いかわからないときは、「@メニュー」で探すことができます（→ P.61）。
アプリが動かなくなった	—	次の手順でアプリを終了させてください。 なお、アプリを強制終了した場合、アプリの作業内容を保存することはできませんので、ご注意ください。 1. 画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップする。 『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. 「タスクマネージャー」をタップする。 3. 動かなくなったアプリを選択し、「タスクの終了」をタップする。
アプリのインストールが正常に行われない	セキュリティ対策アプリの影響を受けている	セキュリティ対策アプリをいったん終了してから、インストールしてください。
	上記の対処で解決しない	各アプリのサポート窓口にお問い合わせください（→ P.89）。
アプリがうまく動かない	同時に複数のアプリを起動している	使用していないアプリを終了させてください。 『Windows 8 基本操作クイックシート』
	SSD の空き容量が少ない	不要なファイルを削除したり、ごみ箱を空にしたりして、空き容量を増やしてください。
	アプリの設定が間違っている	アプリのマニュアルやヘルプをもう一度ご覧になり、正しく設定されているか、注意事項や制限事項はないか確認してください。
	アクセス許可が「オフ」になっている。	一部のアプリは、アクセス許可を「オン」にしないと正しく動作しない場合があります。次の手順で設定を変更してください。 1. 設定を変更したいアプリを起動した状態で、画面の右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示する。 『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. 「設定」をタップする。 3. 「アクセス許可」をタップする。 4. 設定を「オン」に変更する。
	ファイアウォール機能が動作を制限している	お使いの環境に応じてファイアウォール機能の設定を変更してください。
	上記の対処で解決しない	アプリを一度終了し、再度起動してください。 『Windows 8 基本操作クイックシート』

症状	考えられる原因	対処方法
ユーザーアカウント制御画面が表示される	–	サインインしているユーザーアカウントの種類によって、対処が異なります。 ■管理者の場合 「はい」をタップする。 ■標準ユーザーの場合 管理者アカウントのパスワードを入力する。
デスクトップ画面右下の通知領域にアプリのアイコンが表示されない	アプリが起動していない	1. 画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップする。 『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. 表示された画面から、起動するアプリを選択する。
	アイコンが隠れている	通知領域にある をタップしてください。
Windows Update についての通知が表示される	インストールが必要なWindowsの更新プログラムがある	「サポートページ」（→ P.75）で Q&A ナンバー「6109-7931」を検索してご覧ください。
「コンピューターの電源を切らないでください。」と表示される	Windows Update の更新プログラムをインストールしている	
「Adobe Flash Playerのアップデートを利用できます。」というメッセージが表示される	「Adobe Flash Player」のアップデートが提供されている	「サポートページ」（→ P.75）で Q&A ナンバー「8407-9633」を検索してご覧ください。

バッテリ

症状	考えられる原因	対処方法
バッテリ充電ランプが消灯している	AC アダプタが正しく接続されていない	ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。
バッテリ駆動時間が極端に短い	バッテリパックが寿命に達している	「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」に内蔵バッテリパックの交換を依頼してください（→ P.93）。
バッテリが充電されない	AC アダプタが正しく接続されていない	ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。

文字入力

症状	考えられる原因	対処方法
文字が正しく入力できない	入力モードが変更されている	言語バーの入力モードを変更してください。
旧字体など入力したい文字が変換候補に表示されない	文字が Microsoft IME の辞書に登録されていない	登録されていない文字を外字エディタで作成することができます。 「サポートページ」（→ P.75）で Q&A ナンバー「0909-7935」を検索してご覧ください。

サウンド

症状	考えられる原因	対処方法
スピーカーから音が出ない	消音（ミュート）になっている	「音量」（→ P.51）をご覧になり、スピーカーを ON にしてください。
	音量が小さい	音量調節ボタン（＋）を押して、適切な音量にしてください（→ P.51）。
	ヘッドホンを接続している	ヘッドホンを取り外すか、ヘッドホンを接続したときの設定を変更してください。 Web『補足情報』
音が割れる	音量が大きすぎる	音量調節ボタン（－）を押して、適切な音量にしてください（→ P.51）。
マイクからうまく録音ができない	録音の設定が適切でない	録音の設定を確認してください。 Web『補足情報』

ディスプレイ

症状	考えられる原因	対処方法
画面に何も表示されない	外部ディスプレイのみに表示する設定になっている	外部ディスプレイだけに表示する設定になっていると、液晶ディスプレイには表示されません。 設定を液晶ディスプレイ表示に切り替えてください。 Web『補足情報』
	画面が暗すぎる	画面の明るさを調節してください（→ P.51）。
	ディスプレイのバックライトが消灯している	画面をタップしてください。
	スリープや休止状態になっている	電源ボタンを押してください。
	上記の対処で解決しない	電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、10 秒以上待ってから電源を入れ直してください。 なお、SSD に保存されていない作業中のデータは失われます。
画面が急に表示されなくなった	パソコンが磁気に反応し、スリープや休止状態になった	磁気の発生するものを遠ざけ、電源ボタンを押してください。
画面の表示が見にくい	画面の明るさが合っていない	画面の明るさを調節してください（→ P.51）。
	画質が合っていない	次の手順で画質を調節してください。 1. 画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップする。 『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. 「コントロールパネル」をタップする。 3. 「ハードウェアとサウンド」▶「ディスプレイ」の順にタップする。 4. 「ディスプレイ」ウィンドウ左の「色の調整」をタップする。 5. 画面の指示に従って操作する。

症状	考えられる原因	対処方法
画面の明るさを調節できない	再起動、レジューム、AC アダプタの接続や取り外しを行った直後に明るさを調節した	しばらく待ってから調節してください。
画面の表示が乱れる	ゲームアプリなどをインストールしたときに、ディスプレイドライバーが置き換えられた	ディスプレイドライバーを再インストールしてください。 ディスプレイドライバーの再インストールについては、サポートページの「Q&A」をご覧ください（→ P.75）。
	解像度や発色数の設定が変更されている	解像度や発色数を変更してください。 Web『補足情報』
アイコンやウィンドウの一部が画面に残ってしまった	―	ウィンドウを一度最小化し、再度表示してください。
外部ディスプレイに画面が表示されない	外部ディスプレイケーブルが正しく接続されていない	ケーブルを接続し直してください。
	外部ディスプレイでサポートされていない解像度で表示しようとしている	お使いの外部ディスプレイのマニュアルで、サポートされている解像度を確認してください。

CD/DVD

症状	考えられる原因	対処方法
再生できない	ディスクが正しくセットされていない	ディスクのレーベル面を上、または、読み取り面を下にして、セットしてください。
	ディスクの表面が汚れている	指紋やほこりなどを拭き取ってください。
	対応していないディスクを再生しようとしている	ポータブル CD/DVD ドライブをお使いの場合は、ポータブルCD/DVDドライブのマニュアルをご覧になり、対応しているか確認してください。
取り出せない	電源が入っていない	電源を入れてから、CD/DVD 取り出しボタンを押してください。
	―	1. 画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップする。 『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. 「コンピューター」をタップする。 3. CD/DVD ドライブのアイコンを右タップし、表示されるメニューから「取り出し」をタップする。
	上記の対処で解決しない	1. パソコンの電源を切る（→ P.46）。 ポータブル CD/DVD ドライブをお使いの場合は、ポータブルCD/DVDドライブの電源も切る。 2. CD/DVD 取り出しボタンの横の穴に、クリップの先などを差し込む。 3. トレーを静かに引き出し、ディスクを取り出す。

無線 LAN

症状	考えられる原因	対処方法
ネットワークに接続できない	電波が発信されていない	次の手順で設定を変更してください。 1. 画面の右端の外から中へスワイプし、「チャーム」を表示する。 『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. 「設定」をタップする。 3. 「PC 設定の変更」▶「ワイヤレス」の順にタップする。 4. 「機内モード」を「オフ」、「ワイヤレスデバイス」を「オン」に設定する。
	ネットワーク機器の電源が入っていない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、電源を入れてください。
	ネットワーク機器が正常に動作していない	ネットワーク機器のマニュアルをご覧ください。
	パソコンとネットワーク機器の設置場所が適切でない	パソコンとネットワーク機器の距離が遠かったり、間に障害物があったりすると、電波が届きにくくなります。 設置場所を変えることで、改善できる場合があります。
	無線 LAN のプロファイルが正しくない	「インターネットの設定をする」（→ P.34）をご覧になり、設定を確認してください。
	スリープや休止状態からレジュームした	ネットワークに接続中は、スリープや休止状態にしないことをお勧めします。
	上記の対処で解決しない	次の手順でネットワークの状態を診断してください。 1. 画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップする。 『Windows 8 基本操作クイックシート』 2. 「Plugfree NETWORK」の「ネットワーク診断」をタップする。

USB 機器

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器が使えない	ケーブルが正しく接続されていない	ケーブルを正しく接続してください。
	ドライバーに問題がある	USB 機器のマニュアルをご覧になり、必要なドライバーをインストールしてください。
	USB 機器の消費電力が大きすぎる	次の手順で、USB コネクタの電力使用状況を確認し、必要に応じて使用しない USB 機器を取り外してください。 1. 画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップする。 『Windows 8 基本操作クイックシート』 2.「コントロールパネル」をタップする。 3.「システムとセキュリティ」▶「システム」の順にタップする。 4.「システム」ウィンドウ左の「デバイスマネージャー」をタップする。 5.「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」をダブルタップし、「USB Root Hub」をダブルタップする。 6.「電力」タブをタップし、接続されているデバイスが必要とする電力が、使用可能な電力の合計を超えていないか確認する。
	上記の対処で解決しない	パソコンを再起動して、USB 機器を接続し直してください。

SSD

症状	考えられる原因	対処方法
頻繁にフリーズするなど、動作が不安定になる	C ドライブの空き容量が少ない	不要なファイルを削除したり、ごみ箱を空にしたりして、空き容量を増やしてください。また、万が一に備えてバックアップをとっておくことをお勧めします（→ P.64）。

メール

症状	考えられる原因	対処方法
受信したメールが文字化けしている	機種依存文字が使用されている	送信者に機種依存文字を使わずにメールを送るよう依頼してください。
メールを送受信できない	インターネットに接続していない	「インターネットの設定をする」(→ P.34)をご覧になり、接続してください。
	メールアドレスが間違っている	メールアドレスを確認してください。
	メールアプリの設定が間違っている	プロバイダーのマニュアルをご覧になり、メールアプリの設定を確認してください。
	上記の対処で解決しない	時間をおいてから送受信してください。 それでも改善されない場合は、プロバイダーにお問い合わせください。

リカバリ

症状	考えられる原因	対処方法
ご購入時の状態に戻すリカバリができない	リカバリ領域を削除した、または破損している	「リカバリデータディスク」を使用してリカバリしてください(→ P.70)。 「リカバリデータディスク」がない、または破損している場合は、「ディスクが必要な場合」(→ P.71)をご覧になり、「リカバリデータディスク」をご購入ください。

その他

症状	考えられる原因	対処方法
「ジー」や「キーン」という音がする	—	静かな場所では、「ジー」や「キーン」という音が聞こえる場合があります。 パソコン本体内部の電子回路の動作音であり、故障ではありませんので、そのままお使いください。

9 サポートのご案内

ユーザー登録のご案内

ユーザー登録とは

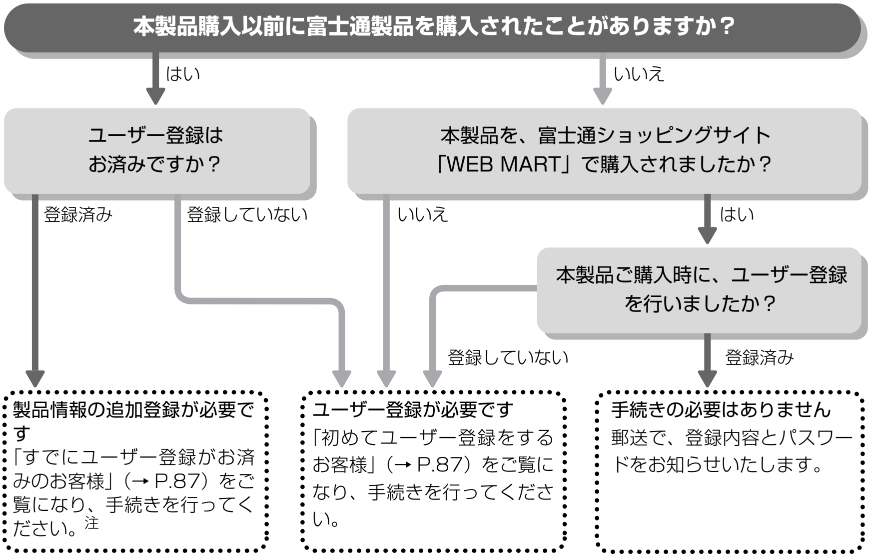
ご購入されたパソコンとお客様の情報を、富士通に登録していただくことです（入会費・年会費無料）。
ユーザー登録をすると、1 年間の無料電話相談などの手厚いサポートや専用の充実したサービスをご利用いただけます。詳しくは、「サポート＆サービス紹介」（→ P.88）をご覧ください。

重要

- ご登録いただける住所は、日本国内のみとなります。

ユーザー登録をする前に

次の図でユーザー登録が必要か、ご確認ください。



注：本製品を、富士通ショッピングサイト「WEB MART」でご購入のお客様は、製品情報の追加登録は不要です。

ユーザー登録をする

ここではインターネットでユーザー登録する方法を説明します。操作できない場合など、ユーザー登録に関するお問い合わせは、「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.93）の「電話で相談する」をご覧ください。

■必要なものを用意してください。

□保証書

製品の情報を確認するときに必要になります。
登録後も大切に保管してください。

品名



□筆記用具

ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号などを本マニュアルに控えていただくときに必要になります。

■初めてユーザー登録をするお客様

インターネットのユーザー登録専用ホームページからユーザー登録してください。インターネットに接続している場合のみ、専用ページに進むことができます。

1 スタート画面で「デスクトップ」をタップします。

『Windows 8 基本操作クイックシート』

2 （富士通パソコンユーザー登録）をダブルタップします。

Point

- ユーザー登録には、メールアドレスが必要です。
- デスクトップ画面に（富士通パソコンユーザー登録）がない場合は、タスクバーの（@メニュー）をタップしてください。
  「@メニュー」が起動したら、「パソコンの準備」▶「購入直後に必要な準備」▶「目的でさがす」▶「パソコンのユーザー登録をする」▶「実行する」の順にタップします。

3 画面上の説明をお読みになり、手続きを行ってください。

ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号などを、次の欄に記入して、大切に保管してください。記入後は第三者に漏れないよう注意してください。

ユーザー登録番号	
パスワード	

■すでにユーザー登録がお済みのお客様

ユーザー登録専用ホームページから、画面の表示に従って、今回ご購入いただいたパソコンの情報を追加登録してください。

■ユーザー登録番号やパスワードを忘れた場合

ユーザー登録専用ホームページから、手続きを行います。画面の表示に従って、ユーザー登録番号の確認やパスワードの再発行をしてください。

サポート＆サービス紹介

富士通のパソコンをより楽しく快適に利用いただくために、次のサポートやサービスをご用意しております。

サポートページ

http://azby.fmworld.net/support/

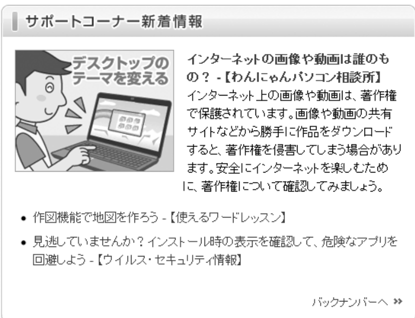


（画面は状況により異なります）

富士通パソコンユーザーのためのサポートページです。
過去に電話窓口などにお問い合わせいただいたときの履歴をご確認いただくことができます。
富士通からの重要なお知らせなど、役立つ内容があります。

■サポートコーナー新着

すぐに使えるパソコンテクニックや、富士通パソコンユーザー向けのサービス情報などが毎週更新されます。



会員専用サポート

マニュアルや、サポートページなどで確認しても、問題が解決できない場合、電話やメールで技術相談を受けられます。
詳しくは、「サポート窓口に相談する」（→ P.89）をご覧ください。

サポート窓口に相談する

マニュアルやインターネットで調べてもトラブルが解決しない場合は、サポート窓口にご相談ください。
ご相談内容によって、お問い合わせ先が異なります。次の内容をご覧になり、お問い合わせ窓口をご確認ください。

アプリのお問い合わせ先

「アプリ提供会社がサポートするアプリ」以外のアプリは、弊社がサポートいたします。
各アプリのサポート先をご確認ください。
搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

■アプリ提供会社がサポートするアプリ

お問い合わせ先についてお間違えのないよう、お確かめのうえお問い合わせください。

- 有料のサポートについて
  アプリのお問い合わせ先の中には、サポートを有料としている場合があります。
- ご使用にあたって
  本アプリ製品の中には第三者のアプリ製品が含まれています。お客様の本アプリ製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のアプリ製品についても同時に使用開始とさせていただきます。
  なお、第三者のアプリについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件に従い、取り扱われるものとします。

□セキュリティ対策アプリ

あ行	**ウイルスバスター クラウド**	**トレンドマイクロ株式会社**　ウイルスバスターサービスセンター 電話：0570-01-9610 ・「0570」から始まる電話番号はナビダイヤルと呼ばれる、NTT コミュニケーションズ（株）のサービス名称です。 ・上記ナビダイヤルは東京、大阪、九州に着信し、通話料はお客様のご負担となります。 ・PHS、海外からはご利用いただけません。 受付時間：9:30 ～ 17:30（土・日・祝祭日を含む） URL：http://www.trendmicro.co.jp/support/ メール・電話でサポートを受けるには？： http://tmqa.jp/contents/oem/fujitsu/vbfaq/Inqinformation.asp
な行	**ノートン TM インターネットセキュリティ (NortonTM Internet Security)**	**株式会社シマンテック**　シマンテック・テクニカル・サポートセンター （PC バンドル版窓口）ユーザー登録、製品のご購入、製品 CD-ROM の不良、製品のアクティブ化などのお問い合わせ窓口 URL：http://symss.jp/jpo-fujitsu-reg/ 電話：03-5642-2686 受付時間：月～金／ 10:00 ～ 19:00、土・日・祝祭日／ 10:00 ～ 16:00 ・このセンターは技術的なお問い合わせ用の窓口です。 ・ご利用期間は更新期間（90 日間）となります。（更新サービス延長を申し込みいただくと、引き続きこのサポートをご利用いただけます。詳しくは、製品別サポートページ（URL：http://symss.jp）をご覧ください。） ※ 更新サービス延長のお申し込みは、サポートセンターとは異なるお問い合わせ先になります。 シマンテック・ストア　URL：http://www.symantecstore.jp/users.asp 電話：0570-005557（ナビダイヤル） 営業時間：10:00 ～ 17:00 （土・日・祝祭日を除く）

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

ま 行	**マカフィー® サイトアドバイザーライブ 30 日期間限定版**	**マカフィー株式会社** URL：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/ ①マカフィー・テクニカルサポートセンター 電話：0570-060-033（携帯電話からの場合：03-5428-2279） 受付時間：9:00 ～ 21:00（年中無休） お問い合わせフォーム：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_tswebform.asp ②マカフィー・カスタマーサービスセンター 電話：0570-030-088（携帯電話からの場合：03-5428-1792） 受付時間：9:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く） お問い合わせフォーム：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportcenter_cswebform.asp 90 日間の試用期間中、サポートいたします。
	マカフィー® マルチアクセス	

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

□Office

M	**Microsoft（マイクロソフト）® Office（オフィス） Home（ホーム） and Business（ビジネス） 2010** ・ Microsoft（マイクロソフト）® Excel（エクセル）® 2010 ・ Microsoft（マイクロソフト）® OneNote（ワンノート）® 2010 ・ Microsoft（マイクロソフト）® Outlook（アウトルック）® 2010 ・ Microsoft（マイクロソフト）® PowerPoint（パワーポイント）® 2010 ・ Microsoft（マイクロソフト）® Word（ワード） 2010 ・ Microsoft（マイクロソフト）® PowerPoint（パワーポイント）® 2010 楽しもう フォト ウィザード	**日本マイクロソフト株式会社** 電話：0120-54-2244 セットアップ、インストールに関するお問い合わせ： 受付時間：月～金／ 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 19:00、 土・日／ 10:00 ～ 17:00（祝祭日・年末年始・指定休業日を除く） 基本操作に関するお問い合わせ： 受付時間：月～金／ 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 19:00、 土／ 10:00 ～ 17:00（日・祝祭日・年末年始・指定休業日を除く） ・基本操作に関するお問い合わせについては、お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して90日間が有効期間です（サポート ライフサイクル期間内）。 URL：http://support.microsoft.com/

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

□その他のアプリ

記 号	**@nifty（アットニフティ） でブロードバンド**	**ニフティ株式会社**　@nifty お申し込み受付デスク 電話：0120-50-2210　※携帯電話・PHS からもご利用可 受付時間：10:00 ～ 19:00（年中無休）
D	**DigiBook（デジブック）®Browser（ブラウザー） for FUJITSU**	**株式会社 DigiBook** 電話：03-6805-9240　FAX：03-5468-1250 受付時間：10:00 ～ 17:00 URL：https://secure.digibook.net/contact/ E メール：info@digibook.net
I	**i（アイ） - フィルター® 6.0**	**デジタルアーツ株式会社**　サポートセンター 電話：0570-00-1334 受付時間：10:00 ～ 18:00（指定休業日を除く） URL：http://www.daj.jp/faq/ お問い合わせフォーム：http://www.daj.jp/ask/ 90 日間の試用期間中、サポートいたします。
S	**Skype（スカイプ）**	**日本マイクロソフト株式会社** URL：https://support.skype.com/ja/

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

W	ウィンジップ **WinZip 16.5 日本語版（45 日体験版）**	**コーレル株式会社**　コーレルサポートセンター 電話：0570-003-002 （NTT ナビダイヤルサービス） ・PHS、海外、IP 電話などからはご利用いただけません。 受付時間：10:00 〜 12:00、13:30 〜 17:30（土・日・祝日・指定休業日を除く） URL：http://www.corel.jp/support/ 45 日間の試用期間中、サポートいたします。製品版を購入いただくと、引き続きサポートをご利用いただけます。
か行	**家庭医学館**	**株式会社小学館**　出版局生活編集部 電話：03-3230-5128（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：13:00 〜 17:00（土・日・祝祭日・年末年始を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.93）へお問い合わせください。
	角川類語新辞典	**株式会社角川学芸出版**　編集局辞書デジタル編集室 電話：03-5215-7825（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：13:00 〜 17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.93）へお問い合わせください。
	学研パーソナル英和辞典 **学研パーソナル和英辞典** **学研パーソナル現代国語辞典** **学研パーソナル版漢字辞典**	**株式会社学研教育出版**　デジタルコンテンツ事業室 電話：03-3493-3286（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00 〜 12:00、13:00 〜 17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.93）へお問い合わせください。
	現代用語の基礎知識 2012 年版	**株式会社自由国民社**　辞典編集部 電話：03-6233-0788（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：9:30 〜 12:00、13:30 〜 17:30（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.93）へお問い合わせください。
	広辞苑第六版	**株式会社岩波書店**　電子出版編集部 電話：03-5210-4082（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：13:00 〜 17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.93）へお問い合わせください。
さ行	**ジーニアス英和辞典 MX** **ジーニアス和英辞典 MX** **新漢語林 MX** **明鏡国語辞典 MX** **あふれる新語** **KY 式日本語** **問題な日本語** **築地魚河岸ことばの話**	**株式会社大修館書店**　電子出版開発室 電話：03-3868-2603（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00 〜 12:00、13:00 〜 16:00（土・日・祝祭日・年末年始を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.93）へお問い合わせください。
	新和英中辞典第 5 版 **リーダーズ英和辞典第 2 版**	**株式会社研究社**　電子出版室 電話：03-3288-7711（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00 〜 12:00、13:00 〜 17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.93）へお問い合わせください。

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

た行	**デイリー日中英・中日英辞典** **デイリー日中英３か国語会話辞典** **デイリー日韓英・韓日英辞典** **デイリー日韓英３か国語会話辞典** **デイリー日西英・西日英辞典** **デイリー日西英３か国語会話辞典** **デイリー日伊英・伊日英辞典** **デイリー日伊英３か国語会話辞典** **デイリー日独英・独日英辞典** **デイリー日独英３か国語会話辞典** **デイリー日仏英・仏日英辞典** **デイリー日仏英３か国語会話辞典**	**株式会社 三省堂**　CD-ROM 製品 ユーザーサポート係 電話：03-3230-9416（携帯電話からの場合：03-3230-9580） （辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（土･日･祝祭日･指定休業日を除く） E メール：e-info@sanseido-publ.co.jp 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.93）へお問い合わせください。

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

お問い合わせ窓口のご紹介

富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口

お客様に合わせた様々な方法でお問い合わせができます。

メール　Twitter　ネットで故障診断　電話予約　電 話　が、ご利用できます。

技術相談も、修理相談もワンストップで解決！ より便利に簡単にご利用できる窓口になりました。

富士通FMVサポートページ　http://azby.fmworld.net/support/　※最新の情報はホームページをご覧ください。

“メール”で相談する　メール

ホームページ上の専用の質問フォームから送信いただいたFMVに関するお問い合わせを受け付け、Eメールで回答いたします。
Q&A・パソコン活用情報を検索後にお問い合わせいただけます。

1. Q&Aで調べる
2. 質問フォームに入力する
3. メールで回答

各Q&Aページの下の方に質問フォームを表示するボタンがあります。



＊ユーザー登録が必要となります。

パソコン　スマートフォン

“Twitter”でアドバイスを受ける　Twitter

Twitter のFMV公式アカウントを、ぜひフォローしてください。お役立ちQ&Aをご紹介します。お困り内容をつぶやくと、担当者からアドバイスが届くことも！（「富士通」「FMV」「My Cloud」などの言葉を交えてツイートしてみましょう）

FMV公式アカウント：@Fujitsu_FMV_QA

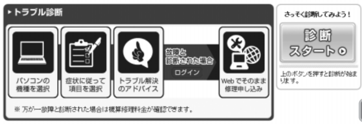
＊お問い合わせにはTwitterへのログインが必要となります。
＊お客様に沿った案内が必要な場合は、メールでの相談をご案内する場合がございます。
＊お問い合わせいただいたすべてのご質問にお答えできない場合もございます。
＊Twitterの特性を最大限に生かすため、お客様とのやりとりはみなさまに見える状態でツイートいたします。

パソコン　スマートフォン

“インターネットで故障を診断”する　ネットで故障診断

画面にしたがって状況を確認したり設定を変更したりするだけでトラブルを診断し、解決方法をアドバイスします。
故障と診断された場合は、その場で修理申し込みができます。

http://azby.fmworld.net/webpcrepair/



パソコン

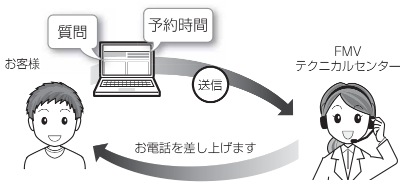
電話予約　電 話　“電話”で相談する

※ご利用料金に関しては、次ページの「ご利用料金とお支払いについて」をご覧ください。

電話相談の”予約”をする

お客様がホームページよりご予約された時間帯に、FMVテクニカルセンターのサポート担当者からお電話を差し上げ、ご予約の際に入力されたご質問にお答えします。

https://azby.fmworld.net/callback/



＊ユーザー登録が必要となります。
＊富士通からお電話をかける連絡先は、日本国内に限らせていただきます。
また日本語対応のみとなります。

パソコン　スマートフォン

お困りごとのご相談はこちら

通話料無料　**0120-950-222**　受付時間：9:00～19:00(注)

携帯電話、PHS、IP電話、海外からはこちら（通話料金お客様負担）　**045-514-2255**　受付時間：9:00～17:00

修理受付はこちら

通話料無料　**0120-926-220**　受付時間：9:00～19:00(注)

携帯電話、PHS、IP電話、海外からはこちら（通話料金お客様負担）　**045-514-2260**　受付時間：9:00～17:00

注：FAX情報サービスなど受付時間は窓口によって異なります。ガイダンスに従ってご利用ください。
※電話番号はお間違えのないように、十分ご確認のうえおかけください。
※システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
※音声ガイダンス内容・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。
※ユーザー登録されている電話番号をお客様の発信番号が一致した場合には、ユーザー登録番号の入力が省略できます。
非通知設定による発信や、ユーザー登録されている番号と異なる発信番号等、一部ユーザー登録情報の確認ができない場合は、音声ガイダンスの指示に従ってユーザー登録番号を入力してください。

■ご利用料金とお支払いについて

●ご利用料金

・パソコン本体に初めて電源を入れた日（保証開始日）から、**1 年間無料**でご利用いただけます。[注]

注： Refreshed PC に関する電話による技術サポートに関しては、1年目もお問い合わせ1件あたり2,000円（税込）となります。
また、受付時間は月～金曜日（祝日を除く）9 時～17 時となります。

・2 年目以降
お問い合わせ 1 件あたり 2,000 円（税込）

※ AzbyClub カードでお支払いの場合は、1,500 円 / 件（税込）でご利用いただけます。AzbyClub カードについて詳しくは、（http://azby.fmworld.net/azbycard/）をご覧ください。

※ プレミアムサービスに利用登録されているお客様のご利用料金につきましては、プレミアムサービスの専用ホームページにてご案内いたします。

Point

▶ お問い合わせ 1 件は、お電話の回数ではなく、技術相談1項目ごとに1件と扱います。同じご相談内容であれば次回お問い合わせいただく際、料金は加算いたしません。（ただし14日以内に限ります）

●お支払い方法
お支払い方法は、音声ガイダンスに従って、次のいずれかを選択してください。

クレジットカード支払い	音声ガイダンスで、クレジットカード番号、有効期限の入力をお願いします。
コンビニ振込	コンビニ振込をご利用の場合は、手数料が別途200円かかります。

■お問い合わせ前に確認してください

●「サポートページ」（http://azby.fmworld.net/support/）で解決方法を確認しましたか？
知りたい情報やトラブル解決方法をお調べいただけます。詳しくは「インターネットで調べる」（→ P.75）をご覧ください。

●ユーザー登録はしましたか？
電話サポートの利用にはユーザー登録が必要です。ユーザー登録方法は「ユーザー登録のご案内」（→ P.86）をご覧ください。

●アプリのお問い合わせ先を確認しましたか？
各アプリ提供会社のお問い合わせ先は「アプリのお問い合わせ先」（→ P.89）をご覧ください。

●お使いのパソコンをお手元に用意いただいていますか？
お電話中に操作を行っていただく場合がございますので、お手元にご用意ください。

●データのバックアップはしましたか？
大切なデータの予備を保存しておくと、安心です。バックアップ方法については「バックアップ」（→ P.64）をご覧ください。

■電話相談サポートの活用方法について

●電話窓口の混雑状況
http://azby.fmworld.net/konzatsu/
つながりやすさの状況をホームページで公開しています。「つながりやすい時間帯」を参考におかけください。

FAX 情報サービス

「パソコンが起動しない場合」、「画面がおかしい場合」などのトラブルの内容に応じた解決方法を、FAX で入手できます。
初めてご利用いただく際は、「0001（FAX 資料番号一覧）」をお取り出しいただき、ご希望の資料番号をご確認ください。
音声ガイダンスに従って、ご希望の資料番号と # を入力した後、FAX のスタートボタンを押して、受話器を戻してください。

FAX 情報サービス

キューゴーマル フジツー
0120-950-222

▶▶▶ダイヤル 9 をプッシュ

通話料無料 / 受付時間：24時間365日

※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

修理を申し込む前の準備

- 故障かどうかをもう一度ご確認ください
  パソコンのトラブルは、設定の誤りなど、故障以外が原因のこともあります。実際に「故障や修理に関する受付窓口」へのお電話の半数以上は、パソコンの故障ではなく、設定を変更することで問題が解決しています。
  「ネットで故障診断」(http://azby.fmworld.net/webpcrepair/)で、本当にパソコンが故障しているか確認してください。
- 修理規定をご確認ください
  お申し込み前に必ず「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」(→ P.100)を確認のうえ、同意をお願いします。
- 修理料金の目安を確認できます
  ホームページで概算修理料金をご覧ください。
  http://azby.fmworld.net/support/repair/syuribin/charge.html
  また、「FAX 情報サービス」(→ P.94)でも概算修理料金表を入手できます。(資料番号：6121)
- 保証書をお手元にご用意ください
  保証期間は、初めてパソコン本体の電源を入れた日(保証開始日)から 1 年間となります。保証期間内は無料で修理させていただきます。
  ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。

Point

- 保証開始日は「@メニュー」から確認できます(→ P.61)。
  「サポートをさがす」▶「お問い合わせをする」▶「目的でさがす」▶「パソコンの情報を表示する」の順にタップし、「パソコンの情報」が表示されたら「実行する」をタップしてください。

- 故障品をお手元にご用意ください
  お申し込み時に操作いただく場合があるため、お手元に故障品をご用意ください。
- データのバックアップをおとりください
  修理前の診断作業および修理の結果、記憶装置(SSD など)内に記録されたお客様データが消失する場合があります。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身で DVD などのディスクや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。
  バックアップの方法については「バックアップ」(→ P.64)をご覧ください。
  また、パソコンの故障などによりお客様がバックアップできない場合には、「PC データ復旧サービス」(有料)もご利用いただけます。

PCデータ復旧サービス(有料)

http://azby.fmworld.net/datarescue/

修理の申し込み

パソコンの修理は、ホームページまたは電話でお申し込みください。

■ホームページで申し込む(ネットで故障診断)

「ネットで故障診断」では、パソコンが故障しているかどうかを調べることができます。
故障と診断された場合は、ホームページから修理を申し込むことができます。

ネットで故障診断

http://azby.fmworld.net/webpcrepair/

■電話で申し込む

「お問い合わせ窓口のご紹介」(→ P.93)の「修理受付はこちら」をご覧ください。

重要

- 修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。
- 修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号をお伺いいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」(→ P.100)の第 13 条(個人情報の取り扱い)をご覧ください。

お引き取りとお届け（パソコン修理便）

弊社指定の宅配業者がご自宅へパソコンを引き取りに伺います。
引き取りから修理・お届けまで約 7 日間です（土・日・祝日を含む）。[注]

注：修理の内容によっては、日数を要する場合があります。また、離島の場合は船便のための日数がかかります。

■お引き取り日時について

お引き取りは、修理受付の翌日以降（9:00 ～ 21:00 [注]）で指定できます。

注：地域により異なります。お申し込み時にご確認ください。また、交通事情などにより指定日時にお伺いできない場合があります。

■お引き取りについて

宅配業者が指定日時にご自宅へ伺います。
梱包は宅配業者が行いますので、故障品は梱包せずに玄関先にご準備ください。

重要

- 次の各種パスワードは事前に解除してください。確認のために修理作業が中断し、修理に時間がかかる場合があります。
  - ・BIOS パスワード
  - ・ハードディスクパスワード（Arrows Tab Wi-Fi QH シリーズを除く）

- ●保証書を用意してください（保証期間中の場合）。宅配業者が故障品といっしょに梱包いたします。
- ●宅配業者がお渡しする「お預かり伝票」を大切に保管してください。
- ●引き取り後のキャンセルについては、診断料を申し受けます。あらかじめご了承ください。
- ●「修理状況確認サービス」（http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/）で携帯電話やパソコンのメールアドレスをご登録ください。故障品の当社への到着、お見積もり発行時の連絡、修理完了品の発送、お届け予定日などをメールでお知らせします。

■お届けとお支払いについて

修理完了品を玄関先までお届けします。有料の場合は代金引換払いとなりますので、宅配業者に現金でお支払いください。

- ●修理料金について
  - ・保証期間内（保証開始日より 1 年間）：無料（保証書記載の「無料修理規定」による）
  - ・保証期間外：有料（修理にかかる部品代、技術料等）

※ 交通事情などにより、ご指定の日時にお伺いできない場合があります。

修理状況の確認

ホームページや電話で、修理状況を確認できます。

■ホームページで確認する（修理状況確認サービス）

パソコン、スマートフォン、携帯電話（i モード、Ezweb、Yahoo! ケータイ）で「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8 桁の番号）を入力して、修理状況を確認できます。

修理状況確認サービス

パソコン・スマートフォン・携帯電話から
http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/

携帯電話から
バーコード読み取り機能付きの携帯電話では、右のバーコードからアクセスいただけます。

※ 携帯電話、スマートフォンの操作方法については、お使いの機種のメーカーにお問い合わせください。

■電話で確認する

音声ガイダンスに従ってダイヤルを押してください。「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8 桁の番号）と、修理お申し込み時にご登録されたお電話番号を入力してください。

富士通修理お問い合わせダイヤル

キューニーロク　ニーニーマル
0120-926-220
ダイヤル 3 をプッシュ
通話料無料 / 受付時間：24時間365日

携帯電話,PHS, 海外からはこちら
ゴーイチヨン　ニーニーロクマル
045-514-2260
（通話料金お客様負担）
受付時間：9：00～17：00

※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

訪問修理サービス（有料）

弊社指定の修理サービス会社がご自宅に伺い、その場で修理を行う有料サービスです。
ご利用料金は、修理作業完了後に、修理担当者に現金でお支払いください。

●訪問修理の料金体系

	訪問料金	修理料金
保証期間内 （保証開始日より1 年間）	有料	無料 （保証書記載の「無料修理規定」による）
保証期間外	有料	有料

※ 離島の場合は、訪問料金とは別に、訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をご負担いただく場合があります。
訪問修理サービスの詳細は、「富士通パーソナルエコーセンター」にお問い合わせください。

PC 引取点検サービス（有料）

パソコンを安心して長く使っていただくために、ハードウェア・アプリの点検や、パソコン内部の清掃を行う有料サービスです。

PC引取点検サービス

http://azby.fmworld.net/support/repair/tenken

海外でのノートパソコンの修理について

お客様が海外滞在中に、万が一富士通ノートパソコンが故障した場合、滞在先の国でもハードウェアの修理サービスを受けることができます。本サービスは、保証書に記載している保証期間にかかわらず、本体に最初に電源を入れた日から 1 年間は無料 [注] で修理を行います。2 年目以降は有料での修理となります。
本サービスをご利用いただける国・地域、サービス内容やご利用方法の詳細については、弊社のホームページ（http://azby.fmworld.net/support/globalrepair/）の「海外でのノートパソコンの修理について」をご覧ください。

注：・機器本体に同梱された保証書記載の「無料修理規定」に定める範囲内の修理に限り、修理料金は無料となります。
・保証開始日は「@メニュー」から確認できます（→ P.61）。
「サポートをさがす」▶「お問い合わせをする」▶「目的でさがす」▶「パソコンの情報を表示する」の順にタップし、「パソコンの情報」が表示されたら「実行する」をタップしてください。

■サービスのご利用方法

ご利用いただくにはユーザー登録が必要です（入会費・年会費無料）。ユーザー登録方法については、「ユーザー登録をする」（→ P.87）をご覧ください。修理サービスをご利用になる際は、滞在地域のヘルプデスクに電話でご依頼ください（英語および現地語での対応となります）。
なお、ご利用の前に必ず弊社のホームページ（http://azby.fmworld.net/support/globalrepair/）をご覧ください。

■サービス利用上の注意

- 修理にて SSD 交換を行う場合、本サービスでは何も格納していない状態の SSD の取り付けまでを実施します。リカバリやデータ復元はお客様ご自身で実施していただきます。あらかじめご了承ください。
- 海外に渡航する際は、リカバリディスクセットを作成して、お持ちくださいますようお願いいたします。作成方法は「リカバリディスクセットを作っておく」（→ P.107）をご覧ください。
サービス拠点では、リカバリディスクの販売および日本からの取り寄せなどのサービスは行っておりません。あらかじめご了承ください。
- 引取修理およびセンドバック修理の場合、パソコンの輸送に必要な梱包については、お客様ご自身で梱包箱を用意して行っていただきます。梱包箱の提供は有料となる場合があります。詳しくは窓口にご確認ください。

■海外でのご使用について

- 本サービスの対象機種を含む富士通パソコンおよび周辺機器は日本国内仕様です。
- 本サービスは、お客様個人の責任のもとで対象機種を一時的に海外（ただし対象地域に限る）に持ち出される場合に修理サービスをご提供するものであり、対象地域における動作保証をするものではございません。
- 内蔵の無線 LAN、モバイル WiMAX は日本以外の国または地域ではご使用になれません。
- 内蔵のテレビチューナーおよび添付のテレビチューナー・ユニットは日本国内専用ですので、アンテナ入力端子にアンテナを接続しないでください。
- 国・地域により電圧などが異なりますので、電源ケーブルなどは、ご使用になる国・地域の規格にあったものをご使用ください。
- 富士通パソコンを海外に持ち出す場合や、海外で使用する場合については、サポートページから Q&A ナンバー「9206-6259」や「4301-7762」を検索してご覧ください。サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.75）。

□各地域のヘルプデスク情報

地域	サービス拠点	ヘルプデスク情報
北米地域	Fujitsu America, Inc.	・電話番号 ：+1-901-259-5790 ・FAX 番号：+1-901-259-5700 ・営業時間 ：月曜日 ～ 金曜日 7時 ～ 19時（中部標準時 UTC-06:00） ・対応言語 ：英語
ヨーロッパ、中東、 アフリカ地域および インド	Fujitsu Technology Solutions	下記リンク先のリストにある滞在国・地域のヘルプデスクにご連絡ください。対応言語は英語および現地語となります。 （注：リンク先は英語です） http://support.ts.fujitsu.com/com/support/servicedesk.html または、国際修理の central number にご連絡ください。 ・電話番号 ：+49-89-356-480-226 ・FAX 番号：+49-821-804-7149471 ・営業時間 ：月曜日 ～ 金曜日 9 時 ～ 17 時 （中央ヨーロッパ標準時 UTC+01:00） ・対応言語 ：英語、ドイツ語
アジア・パシフィック・ オーストラリア地域 （インド、韓国、日本を除く）	Fujitsu PC Asia Pacific Ltd.	修理の問い合わせについては、直接サービスセンター、もしくはヘルプデスクにご連絡ください。詳細については以下のリンクをご確認ください。（注：リンク先は英語です） http://hk.fujitsu.com/pc/service_apac

各地域のヘルプデスク情報については、弊社のホームページ（http://azby.fmworld.net/support/globalrepair/list.html）の「海外でのノートパソコンの修理について」にて最新情報を確認ください。

富士通パーソナルコンピュータ修理規定

第 1 条（本規定の適用）

1. 富士通株式会社（以下「富士通」といいます）は、お客様が「富士通パーソナルエコーセンター」< 0120-926-220（通話料無料）>にて修理の依頼をされた場合、または富士通の専用ホームページ「http://azby.fmworld.net/support/repair/index.html」（以下「専用ホームページ」といいます）にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合ならびに販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されないものとします。
2. 前項に基づき富士通が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次条に定める対象機器に同梱されている保証書（以下「保証書」といいます）裏面の無料修理規定（以下「無料修理規定」といいます）の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が有効に適用されるものとします。

第 2 条（対象機器）

本規定に基づく修理の対象となる機器（以下「対象機器」といいます）は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ（詳細は本規定末尾記載、以下同じ）および当該日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ用の富士通製周辺機器（ただしプリンタは除きます）とします。

第 3 条（修理の形態）

1. 富士通は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等を伺いながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると富士通が判断した場合に、次のいずれかの形態により修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があるものとします。

(1) 引取修理（パソコン修理便）
お客様のご自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。

(2) 訪問修理
訪問修理が可能な製品について、お客様が訪問修理を希望された場合は、富士通指定の修理サービス会社の担当者がお客様のご自宅を訪問し、修理作業を行います。なお、訪問料は、保証書で特に無料と定められている場合を除き、保証期間の内外を問わず、別途有料となります。また、離島の一部地域では、訪問料とは別に訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をお客様にご負担いただく場合があります。

2. 前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が外付けキーボード、マウス、AC アダプタにあると富士通が判断した場合は、富士通は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から富士通に送付していただきます。

第 4 条（保証期間内の修理）

1. 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、富士通は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。
2. 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

(1) 保証書が対象機器に添付されていない場合
(2) 保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合
(3) ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、落下、水没等）、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合
(4) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
(5) 寿命部品や消耗品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合
(6) 接続している他の機器、または不適当な消耗品やメディアの使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合
(7) お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合
(8) お客様が設定したパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、マザーボード、本体カバーその他の部品の交換が必要になった場合
(9) お客様のご使用環境や対象機器の維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合
（例：埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等）

3. 第 1 項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても、別途それぞれの料金が発生するものとします。

(1) 第 3 条第 1 項第 (2) 号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
(2) ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料

第 5 条（保証期間外の修理）

1. お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、富士通は、有料で修理を行います。
2. 次の各号のいずれかに該当する場合は、修理料金の他にそれぞれの料金が発生するものとします。

(1) 第 3 条第 1 項第 (2) 号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
(2) ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合で、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料

3. お客様による修理のご依頼が保証期間外の引取修理の場合であって、お客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと富士通が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合（第 6 条第 2 項および第 3 項に定める場合を含みます）であっても、診断料が発生するものとします。
4. お客様による修理のご依頼が保証期間外の訪問修理の場合であって、富士通指定の修理サービス会社の担当者が、訪問先でお客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと判断した場合は、当該診断作業に対して訪問料と診断料が発生するものとします。また、担当者がお客様ご指定の場所に訪問し、修理作業に入る前に修理のご依頼をキャンセルされた場合は、訪問料が発生するものとします。

第 6 条（修理料金の見積もり）

1. 修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、富士通は、引取修理の場合は対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとし、訪問修理の場合は訪問前にお客様から現象や使用環境等お伺いした内容に基づき診断を行い、概算の見積金額をお知らせするものとします。富士通もしくは富士通指定の修理サービス会社の担当者は、当該見積金額での修理について、お客様にご了承いただいたうえで、修理を行います。ただ

し、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。

2. 前項のうち引取修理の場合であって、お客様に見積金額をお知らせした日から 1 か月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

3. 第 1 項のうち引取修理の場合であって、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要が生じた場合には、富士通は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただいたうえで、修理を継続いたします。なお、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただけなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第 7 条（修理料金等の支払い方法）

第 4 条または第 5 条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただきます。

第 8 条（修理期間）

引取修理の場合、富士通は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として 7 日間で対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7 日間を超える場合があるものとします。

(1) お客様から伺った故障の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合
(2) 引取修理の場合であって、引き取り先が離島の場合
(3) 有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合
(4) お客様のご都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合
(5) 天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合
(6) 補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品をいい、以下同じとします）が在庫切れの場合

第 9 条（修理品の保管期間）

引取修理の場合であって、修理完了後にお客様に修理の完了ならびに返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、富士通は、対象機器をお預かりした日から 6 か月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、富士通はお客様に対し、当該保管に要した費用ならびに当該処分に要する費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

第 10 条（故障部品の取り扱い）

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、富士通は、当該故障部品をお客様に返却しないものとします。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、富士通の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

第 11 条（修理ご依頼時の注意事項）

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただくものとします。

(1) お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器に同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。
(2) お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置（ハードディスク等）に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容（以下総称して「データ等」といいます）につきましては、富士通では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとっていただくものとします。（日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。）なお、修理ならびに修理前の診断作業の過程で、データ等が変化・消去される場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合（第 6 条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が変化・消去されている場合があります。
(3) 修理完了後のオペレーティングシステム（OS）ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセットアップ等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。
(4) お客様ご自身で貼り付けられたシール等につきましては、取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。
(5) 富士通は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き富士通では一切責任を負わないものとします。
(6) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除したうえで修理をご依頼いただくものとします。
(7) 対象機器の修理とは関係のない記録媒体（CD、DVD、メモリーカード、フロッピィディスク、MO 等）、他の機器との接続ケーブル、ならびに添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、富士通ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。
(8) 修理のご依頼時に、当該修理にリカバリディスクが必要である旨富士通からお客様にお知らせした場合は、お客様は必ず対象機器に同梱されているリカバリディスクを添付いただくものとします。
(9) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。

a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理
b. ウイルスの除去
c. 液晶ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換
d. データ等のバックアップおよび復旧作業

(10) 訪問修理の場合であって、富士通または富士通指定の修理サービス会社がお客様への訪問日程調整のご連絡に努めたにもかかわらず、ご連絡がつかない状態が 2 週間以上継続した場合は、修理をキャンセルされたものとみなすことがあります。

第 12 条（補修用性能部品）

1. 補修用性能部品は、故障部品と機能、性能が同等な部品（再利用品および第 10 条に定める故障部品の再利用も含む）とします。

2.　富士通における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第 13 条（個人情報の取り扱い）

1.　富士通は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報（以下「お客様の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。

(1)　修理を実施すること。

(2)　修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。

(3)　お客様に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。

(4)　お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、ならびに、当該同意を得た利用目的に利用すること。

2.　富士通は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。

3.　富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第 1 項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第 14 条（責任の限定）

1.　富士通が実施した修理に富士通の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より 3 か月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より富士通にご連絡いただいた場合、富士通は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、ここでいう瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。

2.　合理的な範囲で富士通が前項の修理を繰り返し実施したにもかかわらず、前項の瑕疵が修理されなかった場合には、富士通は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとします。

3.　対象機器の修理に関連して富士通がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。
　　また、富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、責任を負わないものとします。

4.　対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

第 15 条（変更）

富士通は、本規定の内容を変更する必要が生じた場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第 16 条（専属的合意管轄裁判所）

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

付　則

本規定は、2012 年 10 月 18 日から実施します。

■対象機器

- Arrows Tab Wi-Fi QH シリーズ
- FMV シリーズ
- FMV STYLISTIC QH シリーズ
- ESPRIMO ／ LIFEBOOK（品名が以下のように表記される製品）

品名：＊ H ＊＊＊ ／ ＊＊＊
（＊：ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ　＊＊＊：数字（2 ～ 3 桁）　／ ＊＊＊：数字またはｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ（1 ～ 3 桁））

品名：W ＊ ＊ ／ ＊
（＊：ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ　＊：数字　／ ＊：ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ）

品名：＊ H ／ R ＊＊
（＊：ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ　＊＊：数字またはｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ（1 ～ 2 桁））

My Cloud FMV サポート会員規約（旧 AzbyClub 会員規約）

この規約は、電話お問い合わせ窓口でユーザー登録をご相談いただく際に対象になる規約です。
「ユーザー登録をする」（→P.87）の手順でユーザー登録される場合、またはMy Cloudホームページでユーザー登録される場合の規約については、My Cloud ホームページに掲載している「My Cloudアカウント利用規約」および「My Cloud FMVサポート規約」をご覧ください。

My Cloud ホームページ 会員 / 利用規約
http://azby.fmworld.net/rules/

個人情報の取扱いについては、第 8 条に記載しています。

第 1 条（適用範囲）

1. 本会員規約は、富士通株式会社（以下「富士通」といいます）が提供する「旧 AzbyClub」（アズビィクラブ）の各サービス（以下「本サービス」といいます）を、次条に定める My Cloud FMV サポート会員（旧 AzbyClub 会員）（以下「会員」といいます）が利用する場合に適用されます。
2. 本会員規約とは別に、富士通が本サービス毎に利用規約または利用条件（以下あわせて「利用規約等」といいます）を定めた場合には、会員は、当該利用規約等に従って本サービスを利用するものとします。なお、本会員規約と利用規約等の定めが異なる場合は、当該利用規約等の定めが優先して適用されるものとします。

第 2 条（会員）

1. 会員とは、本会員規約末尾記載の本サービスの対象製品（以下「サービス対象製品」といいます）を購入し、富士通に対しユーザー登録をしていただいた方で、これに対し富士通が本サービスの利用に必要なユーザー登録番号およびパスワードを発行した方をいいます。
2. ユーザー登録の登録料ならびに旧 AzbyClub の入会金および年会費は無料です。ただし、ユーザー登録の際にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。

第 3 条（本サービス）

1. 富士通は、会員に対し、日本国内において日本語にて以下のサービスを提供します。
   (1) 会員専用ホームページにおけるサービス
      (a) サービス対象製品に関する最新情報およびQ&A情報の提供
      (b) ソフトウェアのダウンロードサービス
      (c) その他の富士通が別途定めるサービス
   (2) サービス対象製品に関する、富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口によるサポート
      (a) 電話サポート
      (b) Eメールサポート
   (3) AzbyClub ポイントサービス
2. 富士通は、本サービスに係る業務の一部または全部を第三者に委託できるものとします。

第4条（会員専用ホームページにおけるサービス）

1. 富士通は、会員に対し、インターネット上に開設した会員専用ホームページを通じてサービス対象製品に関する最新情報およびQ&A情報を提供します。
2. 前項におけるサービスの他、富士通は、ソフトウェアのダウンロードサービスなど別途富士通が定めるサービスを会員に対して実施します。なお、当該サービスの詳細内容、および必要な場合はその利用規約等については、別途富士通から通知するものとします。
3. 当該サービスには有料サービスと無料サービスがあり、有料サービスの利用料金については、会員専用ホームページに掲載するとおりとします。なお、会員が当該サービスを利用する際にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。

第5条（富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口によるサポート）

1. 富士通は、会員に対し、電話またはEメールにて、以下のサポート（以下「技術サポート」といいます）を提供します。
   (1) サービス対象製品の仕様、利用方法、動作環境に関する質問・相談への対応。
   (2) サービス対象製品の導入支援。
   (3) サービス対象製品が正常に動作しない場合の問題解決のための支援。
2. 技術サポートにおける会員からの問い合わせの受付方法および受付時間については、本会員規約末尾記載のとおりとします。
3. 会員は、技術サポートを利用する場合、サービス対象製品の記憶装置（ハードディスク等）に記憶されたデータ、プログラムならびに設定内容等については、事前に会員の責任においてバックアップをとるものとします。
4. 以下の作業は、技術サポートの対象とならない場合があることを、会員はあらかじめ了承するものとします。
   (1) サービス対象製品以外のハードウェアおよびソフトウェアに対するサポート作業
   (2) サービス対象製品にインストールされているソフトウェアについて、会員が別途バージョンアップ版やアップグレード版等を購入し、バージョンアップやアップグレードを行ったソフトウェアのサポート作業
   (3) 質問に対する作業が、連続的かつ長時間にわたる作業
   (4) 電話またはEメールによるサポートが、不可能または不適切と富士通が判断した場合におけるサポート作業
   (5) マニュアルに記載されていないような、通常想定できない使用方法に対するサポート作業
   (6) ハードウェアの故障・修理に関するお問い合わせ
   (7) その他富士通がサポート対象にならないと判断した作業
5. 技術サポートの利用料金（以下「技術サポート料」といいます）については、本会員規約末尾記載のとおりとします。なお、会員が会員専用ホームページおよびEメールにより技術サポートを利用する際にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。
6. 前項において技術サポート料が有料となる場合、その支払方法は、原則としてクレジットカード（MASTER/VISA/JCB）での支払いとします。ただし、例外として富士通が認めた場合、別途富士通が指定するコンビニエンスストアでの支払いも可能とします。なお、支払方法は一括払いとします。
7. 前項におけるクレジットカードでの支払いの場合、技術サポート料は当該クレジット会社の会員規約において定められている振替日に会員指定の銀行から引き落とされるものとします。また、コンビニエンスストアでの支払いが認められた場合は、会員は、技術サポート料を別途富士通が定める期日までに支払うものとします。なお、当該支払に要する手数料は、会員の負担とします。

第6条（AzbyClub ポイントサービス）

1. 富士通は、以下に定める会員に対し、AzbyClub ポイントサービス（以下「ポイントサービス」といいます）を提供します。
   (a) ポイントサービス開始後、富士通が提供するショッピングサイト WEB MART（以下「WEB MART」といいます）で商品を購入した会員
   (b) AzbyClub カードを所有している会員
   (c) その他、富士通が別途通知した会員
2. 会員は、発行された AzbyClub ポイント（以下「ポイント」といいます）を蓄積、消費することにより、WEB MART での商品購入時における割引の適用、旧 AzbyClub で実施する懸賞への応募、景品との交換その他のサービスを利用できます。なお、各サービスの具体的な内容およびポイント消費数等の詳細については、別途定めるものとします。
3. ポイントには、旧 AzbyClub や WEB MART 等での商品購入に伴い発行されるポイント（以下「ショッピングポイント」といいます）と、富士通が提供する各種サービスの利用に伴い発行されるポイント（以下「キャンペーンポイント」といいます）の2種類があります。なお、ポイント発行数については、別途各サービス毎に定めるものとします。
4. キャンペーンポイントは、別途定める上限数を超えて蓄積することはできません。
5. ショッピングポイントは、会員が購入した商品が出荷された時点で発行されます。なお、WEB MART において富士通が定める「販売条件」（以下「販売条件」といいます）に基づき会員が当該商品を返品した場合は、当該ポイントは無効となります。
6. 会員が WEB MART での商品購入時に割引の適用を目的としてポイントを消費する場合、当該ポイントの消費は、商品の代金決済が完了した時点で確定するものとします。なお、販売条件に基づき会員が商品を返品した場合は、当該ポイントの消費はなかったものとして扱われます。
7. ポイントの有効期間は、発行から1年目の日の属する月の末日までとします。ただし、当該有効期間内にポイントの発行または消費があった場合、会員が保有するすべてのポイントの有効期間は、当該発行または消費のあった日から1年目の日の属する月の末日まで、自動的に延長されるものとします。
8. 会員は、ポイントの第三者への譲渡、売買、現金との交換等は一切できないものとします。
9. ポイントの発行および消費は、本会員規約の第2条第1項に定めるユーザー登録番号およびパスワードにより管理されるものとし、ポイントサービスの利用時に会員がこれらを入力しなかったことにより、ポイントの発行が受けられない、もしくはポイントを消費できずに商品購入時の割引が受けられない等の不利益を被ったとしても、富士通は一切責任を負わないものとします。

10. 会員が、本会員規約の第 11 条（退会）または第 12 条（会員資格の取消等）に基づき、旧 AzbyClub を退会し、または会員資格を取り消された場合、ユーザー登録が抹消された時点で当該会員の保有するすべてのポイントは無効となります。
11. 富士通は、事前に会員に通知することにより、ポイントサービスを終了することがあります。この場合、会員の保有するポイントは、第 7 項にかかわらず、当該ポイントサービスの終了日をもってすべて無効となります。

第 7 条（会員の遵守事項）

1. 会員は、富士通が本サービスを提供するにあたり必要と判断したデータおよび情報等を、富士通に提供するものとします。
2. 会員は、富士通が依頼する問題解決に必要と判断した予防または修正のための作業をすみやかに実施するものとします。
3. 会員は、本会員規約に基づき本サービスを受ける権利につき、第三者に譲渡、再許諾等できないものとします。また、本サービスにより富士通が会員に提供した情報その他著作物は、その会員のみ利用することができるものであり、会員は富士通の書面による事前の承諾なくして、当該情報その他著作物を第三者に利用させないものとします。
4. 会員は、氏名、住所等、富士通への届出内容に変更があった場合は、すみやかにその旨富士通へ届け出るものとします。会員が当該届出を怠った場合、富士通は当該会員に対して本サービスを提供しないことがあります。
5. 会員は、サービス対象製品に関する所有権、使用権等を保有する等、サービス対象製品を適法に利用していることを富士通に対し保証するものとします。万が一適法に利用していないことが判明した場合には、富士通は当該会員に対して本サービスを提供しないことができるものとします。
6. 会員は、富士通より通知されたユーザー登録番号、パスワードを自己の責任をもって管理するものとし、それらが不正使用された場合であっても、富士通は一切責任を負わないものとします。

第 8 条（個人情報の取り扱い

1. 富士通は、本サービスの利用にあたり会員が富士通に登録した情報のうち、当該会員個人を識別できる情報（以下「会員の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。
   (1) 本サービスを提供すること。
   (2) 本サービスの向上を目的として、E メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。
   (3) 本サービスの向上を目的として、会員における E メールの開封状況、富士通の Web ページの閲覧状況、その他会員における本サービスの利用に関する情報を収集、および分析すること。
   (4) 会員に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、E メール、郵便、電話等により会員へ提供すること。
   (5) 会員の個人情報の取り扱いにつき、個別に会員の同意を得るために、当該会員に対し E メール、郵便、電話等により連絡すること、ならびに当該同意を得た利用目的に利用すること。
   (6) キャンペーン品・モニター品・当選賞品などを会員へ発送すること。
2. 富士通は、会員から AzbyClub ユーザー名の利用申込みがあった場合に限り、ニフティ株式会社の提供するサービスを利用するために、会員の個人情報のうち AzbyClub ユーザー名発行に必要な情報（氏名、住所、電話番号など）を契約に基づきニフティ株式会社に提供します。AzbyClub ユーザー名については、付則に記載します。
3. 富士通は、前各項に定める利用目的のために必要な範囲で、会員の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。
4. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、会員の個人情報につき、本条に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第 9 条（サービスの打ち切り）

富士通は、会員への事前の通知により、本サービスの提供の全部または一部を打ち切る場合があることを会員は了承するものとします。

第 10 条（責任の限定）

1. 富士通は、会員が本サービスを利用することにより得た情報等について何らの保証をするものではありません。
2. 本サービスのうち有料サービスの利用または利用不能により会員が損害を被った場合には、当該本サービスの利用料金相当額を限度として富士通は賠償責任を負うものとします。ただし、本サービスのうち無料サービスの利用または利用不能により会員が損害を被った場合には、富士通は賠償責任を負わないものとします。
3. いかなる場合においても富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益ならびに第三者からの損害賠償請求に基づく損害については、責任を負わないものとします。
4. 本サービスの利用または利用不能により会員が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、第 2 項および前項の規定は適用されないものとします。

第 11 条（退会）

1. 会員が旧 AzbyClub からの退会を希望する場合は、事前に富士通に届け出るものとします。なお、旧 AzbyClub から退会すると、同時にユーザー登録も抹消されます。

第 12 条（会員資格の取消等）

1. 会員が次のいずれかに該当する場合、富士通はその会員資格を取り消し、同時にユーザー登録のすべてを抹消することがあります。
   (1) ユーザー登録時に虚偽の事項が記載されていたことが判明した場合
   (2) 本サービスのうち有料サービスを利用した際に、利用料金の支払を遅滞もしくは拒否した場合
   (3) 本会員規約に違反した場合
   (4) 本サービスの運営を妨げる行為を行った場合
   (5) 他者になりすまして本サービスを利用した場合
   (6) 他者を誹謗中傷したり公序良俗に反する行為をした場合
   (7) 富士通が事前に承認した場合を除き、本サービスを使用して、営業活動、営利を目的とした利用およびその準備を目的とした利用を行った場合
   (8) その他富士通が不適切と判断した行為を行った場合
2. 前項のいずれかの行為を会員が行ったことにより、富士通が損害を被った場合、富士通は会員に対し当該損害の賠償を請求することがあります。

第 13 条（本サービスの中断）

富士通は、天災地変、労働争議等の不可抗力により本サービスの提供ができない場合、本サービス提供用の設備の保守上または工事上やむをえない場合、その他富士通がその運用上または技術上、本サービスの一時的な中断を必要とした場合には、本サービスの提供を中断することがあることを、会員は了承するものとします。

第 14 条（変更）

富士通は、以下の事項を変更する必要が生じた場合は、会員に対する通知をもって変更できるものとします。

(1) 本会員規約ならびに利用規約等の内容
(2) 本サービスの利用料金

(3) サービス対象製品
(4) 本サービスの内容

第 15 条（通知）

本サービスならびに本会員規約における富士通から会員への通知は、会員専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第 16 条（専属的合意管轄裁判所）

会員と富士通の間で、本サービスにつき訴訟を提起する場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

付則

本会員規約は、2013 年 1 月 4 日から改定実施します。

■サービス対象製品（※ 1）

・ESPRIMO（※ 2）
・LIFEBOOK（※ 2）
・Arrows Tab Wi-Fi QH シリーズ
・FMV STYLISTIC QH シリーズ
・FMV-DESKPOWER（※ 3）
・FMV-TEO
・FMV-BIBLO（※ 3）
・FMV-STYLISTIC（※ 4）
・Pocket LOOX（※ 4）
・INTERTOP（※ 4）
・FMV-TOWNS（※ 4）
・ファミリーネットワークステーション（※ 4）
・FMV ステーション（※ 4）
・メディアタンク（※ 4）
・Refreshed PC（※ 4）
・その他、富士通が別途「サービス対象製品」と定める富士通製品

※ 1： ソフトウェアについては、上記製品にあらかじめインストールされているもののうち、富士通がサポートするもののみが対象となります。その他のソフトウェアのサポート窓口については、製品添付のマニュアルをご確認ください。

※ 2： 以下の条件を満たす製品が対象です。
（1）日本国内において購入された日本国内向け製品
（2）品名が以下のように表記される製品

品名： * H *** ／ ***
（* ↑ アルファベット、*** ↑ 数字（2 ～ 3 桁）、*** ↑ 数字またはアルファベット（1 ～ 3 桁））

品名： W * * ／ *
（* ↑ アルファベット、* ↑ 数字、* ↑ アルファベット）

品名： * H ／ R **
（* ↑ アルファベット、** ↑ 数字またはアルファベット（1 ～ 2 桁））

※ 3： 以下 OS がプレインストールされた FMV を除きます。
・Microsoft® Windows® 3.1 Operating System
・Microsoft® Windows® 95 Operating System
・Microsoft® Windows® 98 operating system
・Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION
・Microsoft® Windows® Millennium Edition

※ 4： 本サービスはESPRIMO/LIFEBOOK、FMV-DESKPOWER/TEO/BIBLO シリーズでの利用を基本とさせていただいております。その他の機器での利用に際しては、会員専用ホームページにおけるサービスの利用が一部制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■技術サポートの受付方法、受付時間ならびに利用料

※最新の情報につきましては、会員専用ホームページでご確認ください。

（1）受付方法および受付時間

	受付方法	受付時間
電話による技術サポート	電話での受付	9 時～ 19 時（システムメンテナンス日を除く）
	会員専用ホームページによる予約受付	24 時間（システムメンテナンス日を除く）
メールによる技術サポート	会員専用ホームページによるお問い合わせ受付	

注・受付時間は、サービス対象製品および受付方法により異なる場合があります。詳細につきましては、会員専用ホームページでご確認ください。また、受付時間内であっても、時間帯により電話がつながりにくい場合がございますので、あらかじめご了承ください。

（2）利用料

次の料金表のとおりとします。

① 電話による技術サポートの場合：以下のとおりとします。

期間	技術サポート料
無料期間中（無料期間は下表をご参照ください）	何度でも無料
無料期間終了後	2,000 円／件（税込） ただし、AzbyClub カードでのお支払の場合：1,500 円／件（税込）

<無料期間>

サービス対象製品のモデル [* 1]	無料期間
2009 年冬モデル（2009 年 10 月発表）以降のモデル	初めてパソコンに電源をいれた日（以下「保証開始日」といいます）から 1 年間
2009 年夏モデル（2009 年 4・6 月発表）2009 年春モデル（2008 年 12 月発表）	2011 年 3 月 31 日まで [* 2]
2008 年秋冬モデル（2008年8・11月発表）以前のモデル	2010 年 5 月 31 日まで [* 2]

＊ 1： ご使用になっているパソコンのモデルが分からない方は、以下ホームページをご確認ください。
http://azby.fmworld.net/machineselect/seasoncheck/

＊ 2： 無料期間が「保証開始日から 1 年間」よりも短い場合、無料期間を「保証開始日から 1 年間」まで延長いたします。

② E メールによる技術サポートの場合：無料

注・技術サポートの中断（会員規約第 13 条）が生じた場合でも、無料期間は延長されません。

・お問い合わせ件数につきましては、電話された回数とは関係なく、会員からお問い合わせいただいた技術相談 1 項目に対し、富士通が回答したことをもって 1 件とします。なお、富士通は、当該回答後 14 日以内に限り、当該回答の内容に関する会員からのお問い合わせを受け付けます。この場合、件数は加算

されません。1 件のお問い合わせの中に複数の技術相談項目が含まれていた場合は、複数件として扱います。

・サービス対象製品を複数台所有しておられる場合、1 台でも無料期間内であれば、他のサービス対象製品（Refreshed PC、FMV らくらくパック利用規約に定めるサービス対象製品および FMV らくらくパソコン利用規約に定めるサービス対象製品は除く）についても無料で技術サポートをご利用いただけます。

・富士通 WEB MART、購入相談窓口にて、電話サポートにつき「お問い合わせ初回より有料」を選択してご購入いただいた富士通製品の扱いについて
当該富士通製品に関しましては、サービス対象製品であっても、上記の料金表の電話サポートに関する無料期間は適用されず、お問い合わせ 1 件目より有料（通常 2,000 円／件（税込)、AzbyClub カードでのお支払の場合 1,500 円／件（税込)）とさせていただきます。

○ Refreshed PC の扱いについて
Refreshed PC に関する電話による技術サポートに関しましては、電話での受付時間は月～金曜日（祝日を除く）の 9:00 ～ 17:00 とします。また、技術サポートの利用料については、上記料金表の定めは適用されず、電話および E メールいずれもお問い合わせ 1 件目より有料（通常 2,000 円／件（税込)、AzbyClub カードでのお支払の場合 1,500 円／件（税込)）とさせていただきます。

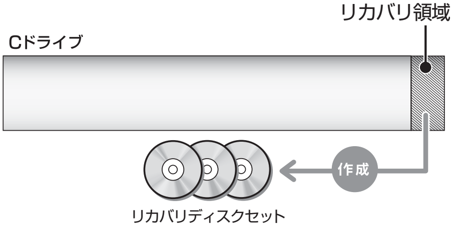
○ FMV らくらくパックおよびFMVらくらくパソコンの扱いについて
FMV らくらくパックおよび FMV らくらくパソコンに関する技術サポートの利用料については、上記料金表の定めは適用されず、電話および E メールいずれもお問い合わせ 1 件目より有料（通常 2,000 円／件（税込)、AzbyClub カードでのお支払の場合 1,500 円／件（税込)）とさせていただきます。

■ AzbyClub ユーザー名について

1. 富士通は、会員が希望する場合、会員に対し、ユーザー登録番号とは別に、AzbyClub ユーザー名およびパスワード（以下あわせて「AzbyClub ユーザー名等」といいます）を無料で発行します。ただし、AzbyClub ユーザー名等の発行にかかる通信費等は、別途会員が負担するものとします。なお、AzbyClub ユーザー名等の発行を受けるためには、会員は、ニフティ株式会社が定める @nifty会員規約および個人情報保護ポリシーに同意する必要があります。
2. 会員は、富士通により発行された AzbyClub ユーザー名等を自己の責任をもって管理するものとし、AzbyClub ユーザー名等が不正使用された場合であっても、富士通は一切責任を負わないものとします。
3. 会員は、AzbyClub ユーザー名等を使用して、本サービスの他、ニフティ株式会社および富士通が指定するその他の第三者（以下「提携先」といいます）の提供するサービス（以下「提携サービス」といいます）を利用することができます。会員は、提携サービスに関して問い合わせがある場合、当該提携サービスの提供元に対して直接問い合わせるものとします。
4. 会員が AzbyClub ユーザー名等を使用して提携サービスを利用する場合、会員は、提携先の定める利用規約等に従うものとします。なお、ニフティ株式会社以外が提供する提携サービスの利用に際しては、当該提携サービス提供元の会員規約および個人情報保護ポリシーへの同意が別途必要になる場合があります。
5. 会員が有償の提携サービスを利用した場合、当該有償提携サービスの利用料金は、富士通からではなく、当該有償提携サービスの提供元から請求される場合があります。
6. 提携サービスについて、富士通は、何らの保証も行わないものとします。本サービスの利用を除き、AzbyClub ユーザー名等の利用に関して、富士通は一切の責任を免れるものとし、会員は、提携サービスに起因して損害を被った場合であっても、富士通に対し、一切の請求を行わないものとします。
7. 会員は、富士通所定の方法により届け出ることにより、AzbyClub ユーザー名等を使用して本サービスを利用することを一時停止し、または AzbyClub ユーザー名等を削除することができます。なお、AzbyClub ユーザー名等を使用して本サービスを利用することを一時停止し、または AzbyClub ユーザー名等を削除した場合であっても、会員は、本会員規約に基づく会員資格を失わないものとします。
8. 富士通は、以下の場合に、本会員規約に基づく会員資格を失わせることなく、会員が AzbyClub ユーザー名等を使用して本サービスを利用することを、一時停止または削除することができるものとします。
   (1) 会員が提携サービスの利用規約等に基づき当該提携サービスの利用資格を一時停止または取り消された場合。
   (2) 会員が提携サービスの利用資格を自ら一時停止し、もしくは取り消した場合。
   (3) その他の理由により富士通が必要と認めた場合。

リカバリディスクセットを作っておく

このパソコンには、トラブルに備えて、SSD の「リカバリ領域」という場所に、ご購入時の C ドライブの中身が保存されています。パソコンにトラブルが起こったときは、このリカバリ領域から C ドライブをご購入時の状態に復元できます。
リカバリ領域のデータを利用できなくなる場合に備え、パソコンご購入後はできるだけ早く、リカバリ領域のデータをディスクにバックアップしてください。



■リカバリディスクセットとは

「バックアップナビ」を使って作成する次のディスクです。

- ●トラブル解決ナビディスク
- ●リカバリデータディスク 1
- ●リカバリデータディスク 2
- ●ソフトウェアディスク 1
- ●ソフトウェアディスク 2

Point

- ▶ リカバリディスクセットの作成には長時間かかります。時間に余裕をもって作業をしてください。
またリカバリディスクセットは購入できます。購入方法については「ディスクが必要な場合」(→ P.71)をご覧ください。
- ▶「リカバリディスクセット」は、次の場合に使用します。
  - ・リカバリ領域を削除しているときに C ドライブをリカバリする
  - ・リカバリ領域が破損してしまったときに C ドライブをリカバリする
  - ・SSD 全体をリカバリする
SSD 全体をリカバリする操作に関しては、Web『補足情報』の「ハードディスクの領域について」▶「リカバリ領域の復元手順」をご覧ください。

リカバリディスクセットを作るうえでの注意

■STYLISTIC QH シリーズの場合、ドッキングステーションを接続したままでも、AC アダプタを接続し、リカバリディスクセットを作成できます。ドッキングステーションを使用しない場合は、本体に AC アダプタを接続してください。

■ARROWS Tab Wi-Fi QH シリーズの場合、必ず AC アダプタをクレードルに接続し、パソコン本体にクレードルを取り付けてください

■ディスクを用意してください

- ●お使いになれるディスク
DVD-R、DVD+R DL
- ●DVD-R 、DVD+R DL、どちらのディスクを使用しても、作成枚数は同じになります。
- ●画面の指示に従ってディスクのレーベル面にディスクの内容を記入してからセットします。

■「Roxio Creator」が必要です

「Roxio Creator」はこのパソコンに用意されています。「Roxio Creator」を削除すると、リカバリ領域のデータをディスクに書き込むことができなくなります。

■ポータブル CD/DVD ドライブを用意してください

ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット(FMV-NSM53)」をお勧めします。作成を始める前に接続してください。
ポータブル CD/DVD ドライブでお使いになれるのは DVD-R のみです。

■リカバリデータディスクおよびソフトウェアディスクではパソコンは起動できません

リカバリディスクセットの作成手順

1 画面の下端の外から中へスワイプし、画面右下の「すべてのアプリ」をタップします。

『Windows 8 基本操作クイックシート』

2 「バックアップナビ」をタップします。

3 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をタップします。

4 「バックアップナビ」の概要をウィンドウが表示されたら、「次へ」をタップします。

5 次の画面の操作をします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

① 「管理」タブをタップします。

② 「リカバリディスクセットの作成」をタップします。

6 次の画面の操作をします。



① ディスクの種類をタップして選択してください。

② 必要なディスクの枚数を確認します。

③ 「次へ」をタップします。

7 作成するディスクを選択します。



① すべてのディスクにチェックが入っていることを確認してください。

② 「次へ」をタップします。

重要

- すべてのディスクの作成が完了するまで作業を中断しないでください。ご購入時の状態に戻すリカバリには中断せずに作成したすべてのディスクが必要です。

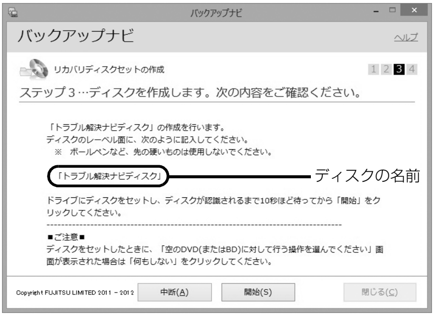
8 内容を確認して「OK」をタップします。



9 「「○○○」の作成を行います。」というメッセージが表示されたら、用意したディスクのレーベル面に○○○と記入します。

○○○は作成するディスクの名前が表示されます。

レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆などの先の硬いものは使わないでください。ディスクに傷が付くおそれがあります。



10 記入したディスクをセットします。

Point

- ディスクをセットしたとき、「空の DVD に対して行う操作を選んでください。」というメッセージが表示されることがあります。「何もしない」をタップすると、そのまま操作を続けることができます。

11 ディスクが認識されるまで30秒ほど待ってから、「開始」をタップします。

ディスクへの書き込みが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。書き込みが完了すると CD/DVD ドライブが開き、メッセージが表示されます。

■「「○○○」の作成を行います。」というメッセージが表示された場合

手順 12 に進んでください。

■「リカバリディスクセットの作成に成功しました。」というメッセージが表示された場合

手順 13 に進んでください。

12 ディスクを取り出して、次に作成するディスクのレーベル面に○○○と記入し、手順 10 に戻ります。

13 ディスクを取り出して、「完了」をタップします。

手順 5 の画面に戻ります。

これでリカバリディスクセットの作成は完了です。

インターネットを安心してお使いいただくために

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットの発展によって、世界中の人とメールのやりとりをしたり、個人や企業が提供しているインターネット上のサイトを活用したりすることが容易になっており、それに伴い、青少年の教育にもインターネットの利用は欠かせなくなっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害な情報などを掲載した好ましくないサイトも存在しています。特に、下記のようなインターネット上のサイトでは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると見られています。

- ●アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- ●他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- ●出会い系サイト・犯罪を助長するようなサイト
- ●暴力残虐画像を集めたサイト
- ●毒物や麻薬情報を載せたサイト

サイトの内容が青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。

有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信側で有害サイトの閲覧を制御する技術です。100% 万全ではありませんが、多くの有害サイトへのアクセスを自動的に制限できる有効な手段です。特に青少年のお子様がいらっしゃるご家庭では、「フィルタリング」を活用されることをお勧めします。

「フィルタリング」を利用するためには、一般に下記の 2 つの方法があります。

「フィルタリング」はお客様個人の責任でご利用ください。

- ●パソコンにフィルタリングの機能をもつアプリをインストールする
- ●インターネット事業者のフィルタリングサービスを利用する

これらのアプリのインストール方法やご利用方法については、それぞれのアプリの説明書またはヘルプをご確認ください。

なお、アプリやサービスによっては、「フィルタリング」機能を「有害サイトブロック」、「有害サイト遮断」、「Web フィルタ」、「インターネット利用管理」などと表現している場合があります。あらかじめ機能をご確認のうえ、ご利用されることをお勧めします。

■「i - フィルター® 6.0」を使う

このパソコンには、「i-フィルター® 6.0」が用意されています。

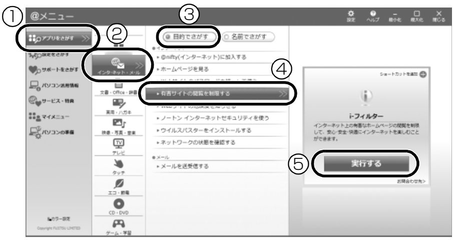
ご利用期間 90 日間のお試し版となっていますので、ぜひお試しください。初めてお使いになるときは、次の手順で初期設定を行ってください。

なお、お試し版を登録するにはメールアドレスが必要です。

1 インターネットに接続します。

2 スタート画面で「@メニュー」をタップします。

3 次の画面の操作をします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

①「アプリをさがす」をタップします。
②「インターネット・メール」をタップします。
③「目的でさがす」をタップします。
④「有害サイトの閲覧を制限する」をタップします。
⑤「実行する」をタップします。

4 **「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をタップします。**

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をタップします。

「有害サイトフィルタリングソフト「i - フィルター 6.0」のご紹介」の画面が表示されます。

5 **「「i - フィルター 6.0」お試し版をインストールする」をタップします。**

「i - フィルター® 6.0」の使用許諾の画面が表示されます。

この後は画面の指示に従ってインストールを進めてください。

Point

- 次のような画面が表示された場合は、「i - フィルター® 6.0」はインストール済みです。
  「OK」▶「完了」の順にタップして、画面を閉じてください。



6 **「i - フィルター 6.0」の画面が表示されたら、インターネットに接続していることを確認して、「「i - フィルター 6.0」お試し版を登録する」をタップします。**

この後は画面の指示に従って登録を進めてください。

登録が完了すると「i - フィルター® 6.0」が利用できるようになります。

次回使うときは、デスクトップ画面右下の通知領域に表示された アイコンから、設定を行うことができます。



利用開始から 90 日間を超えてご利用になる場合は、継続利用の登録（有償）を行うか、市販のフィルタリングアプリをご購入のうえ、ご利用ください。

[参考情報]

●社団法人電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」

●デジタルアーツ株式会社（i -フィルター® 6.0 提供会社）
「フィルタリングとは - 家庭向けケーススタディー」

廃棄・リサイクルのご案内

■個人のお客様へ

PC リサイクル対象外であり、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

■法人・企業のお客様へ

弊社ではお客様から排出される機器を回収リサイクル（有償）し、リチウムイオン電池など資源の有効活用に積極的に取り組んでいます。詳細は当社ホームページ「事業系 IT 製品リサイクルサービス」（http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/lcm/recycle/）をご覧ください。

パソコンの廃棄・譲渡時の SSD 上のデータ消去に関するご注意

パソコンを廃棄あるいは譲渡する際、SSD に記録されたお客様のデータが流出して、再利用される可能性があり、結果的にデータが流出してしまうことがあります。
原因として、パソコンのSSDに記録されたデータは、削除したり、SSD を再フォーマットしたりしても、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアを利用することで、読み取ることができるからです。
また、SSD 上のソフトウェアを削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合もあります。
そのため、パソコンを廃棄あるいは譲渡する際は、SSD 上のデータが第三者に流出することがないよう全データの消去の対策をお願いいたします。対策として、専用ソフトウェアやサービス（有償）のご利用をお勧めいたします。
詳しくは、サポートページの「パソコン廃棄、譲渡前の常識！データを消去しよう」（http://azby.fmworld.net/usage/special/erasedata/）をご覧ください。

■データ消去専用ソフトウェア

パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の 1 つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。
「ハードディスクデータ消去」は、Windows などの OS によるファイル削除やフォーマットと違い、SSD の全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。
「ハードディスクデータ消去」の使用方法については、サポートページから Q&A ナンバー「6604-6237」を検索してご覧ください。
サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.75）。

認定および準拠について

このパソコンに固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、次の手順で表示される画面で確認できます。

1. BIOS セットアップを起動します。
2. 「情報」（「Info」）メニューから「認証表示」（「Display Regulatory Compliance」）を選択します。
   BIOS セットアップについて、詳しくは次のマニュアルをご覧ください。
   Web『補足情報』

11 仕様一覧

パソコン本体の主な仕様

ここでは、パソコン本体の主な仕様を紹介しています。

■仕様の調べ方

仕様の詳細については「富士通アドバイザー」（→ P.75）の「サポート & サービス情報」から「パソコンの仕様を調べる」を選択して表示されるホームページの内容をご覧ください。なお、仕様の詳細を調べるときに、お使いのパソコンの型名が必要になることがあります。型名は次の場所に記載されています。

- ●保証書
- ●パソコン本体の裏面に貼付されたラベル
- ●「@ メニュー」を起動し、「サポートをさがす」▶「お問い合わせする」▶「パソコンの情報を表示する」を選択すると表示される画面

Point

- 型名の確認方法の詳細は、サポートページから Q&A ナンバー「3702-5873」を検索して参照できます。サポートページは「富士通アドバイザー」から簡単に表示できます（→ P.75）。

■ARROWS Tab Wi-Fi QH55/J、WQ1/J

ARROWS Tab Wi-Fi WQ1/J は、インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。
注記については、「仕様一覧の注記について」（→ P.115）をご覧ください。

品　名		ARROWS Tab Wi-Fi QH55/J	ARROWS Tab Wi-Fi WQ1/J
CPU 注1		インテル® Atom™ プロセッサー Z2760（HT テクノロジー対応）	
メインメモリ 注2		PC2-8500 LPDDR2 SDRAM、ECC なし	
	標準容量	2GB（2GB × 1）	
	最大容量	2GB	
無線 LAN 注3	規格	IEEE802.11a 準拠、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠、IEEE 802.11n 準拠（5GHz 帯チャンネル：W52/W53/W56）（Wi-Fi® 準拠）注4	
	内蔵アンテナ	−	
電源供給方式	AC アダプタ 注5	入力 AC100V ～ 240V、出力 DC12V（3A）	
	バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン　29Wh	
外形寸法（幅×奥行×高さ）（突起部含まず）		W264.4 × D169.4 × H9.9mm	
本体質量（バッテリパック含む）注6		約 574g	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

仕様一覧の注記について

注１　ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。
注２　メモリの交換、増設はできません。
注３　無線 LAN の仕様については、次のマニュアルをご覧ください。
　　　Web『補足情報』
注４　Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。
注５　標準添付されている電源ケーブルは AC100V（国内専用品）用です。また、矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続されると、故障する場合があります。
注６　各製品で質量が異なる場合があります。

Memo

Memo

Memo

ARROWS Tab Wi-Fi QH シリーズ

取扱説明書

B5FK-0331-02-01

発 行 日　　2013 年 3 月
発行責任　　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

㋐1305-1

■ 富士通の有料サービスのご案内



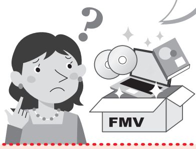
パソコン操作に困ったら、**お電話**ください。
プロがご自宅にお伺いし、解決します！

富士通パソコン出張サービス

PC家庭教師

（有料）

セットアップってむずかしそう…やってくれないかな。



ウイルス感染!? うちに来て、みてほしい。



デジカメの写真、どうやってプリントするの？



パソコンはじめてパック

めんどうなパソコンのセットアップは、お任せください！

13,900円（税込）～

かけつけ診断

原因がわからないトラブルもプロが解決に導きます！

9,800円（税込）～※

教えてパソコンレッスン

お客様の「したい」ことを丁寧にご説明します！

17,800円（税込）～

※診断の結果、必要なリカバリ等の作業が発生した場合、別途費用が発生します。

通話料無料

0120-37-2794（みんな つなぐよ）

■ 受付時間：10時～19時　■ 訪問時間：10時～20時　（有料サービス）

※携帯電話、PHSからも通話可能です。システムメンテナンスのため、休止させていただく場合がございます。

「PC家庭教師」は有料の出張サービスです。電話での技術相談をご希望の場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（本書の「付録」を参照）へお問い合わせください。

「PC家庭教師」の他にも、富士通では多彩な有料サポートサービスをご用意しております。
詳しくはホームページをご覧ください。 http://azby.fmworld.net/valueplus/

例 ●24時間営業の電話相談サービス ●3年間メーカー延長保証サービス　など

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。

B5FK-0331-02